令和７年度　県民意識調査報告書

令和７年８月

秋　　田　　県

目　　次

第１部　調査の概要

１　調査の目的 3
２　調査の内容 3
３　調査の設計 3
４　回収結果 3
５　集計・分析に当たって 3
６　統計表 3
７　有効回答者の属性 4
８　標本抽出方法 6

第２部　調査結果の概要

１　第１章　「～大変革の時代～ 新秋田元気創造プラン」について 11
２　第２章　県の特定課題について 13
３　第３章　県政の重要課題について 13
４　第４章　県政への自由意見について 14

第３部　調査結果の詳細

第１章　「～大変革の時代～ 新秋田元気創造プラン」について
１　各戦略の施策に関連する項目についての満足度
（１）戦略１　産業・雇用戦略について
ア　産業構造の変化に対応した県内産業の競争力の強化 17
イ　地域資源を生かした成長産業の発展 18
ウ　歴史と風土に培われた地域産業の活性化 19
エ　産業振興を支える投資の拡大 20
（２）戦略２　農林水産戦略について
ア　農業の食料供給力の強化 21
イ　林業・木材産業の成長産業化 22
ウ　水産業の持続的な発展 23
エ　農山漁村の活性化 24
（３）戦略３　観光・交流戦略について
ア　「何度でも訪れたくなるあきた」の創出 25
イ　「美酒・美食のあきた」の創造 26
ウ　文化芸術の力による魅力ある地域の創生 27
エ　活気あふれる「スポーツ立県あきた」の実現 28
オ　国内外との交流と住民の暮らしを支える交通ネットワークの構築 29

（４）戦略４　未来創造・地域社会戦略について
ア　新たな人の流れの創出 30
イ　結婚・出産・子育ての希望がかなう社会の実現 31
ウ　女性・若者が活躍できる社会の実現 32
エ　変革する時代に対応した地域社会の構築 33
オ　脱炭素の実現を目指す地域社会の形成 34
カ　行政サービスの向上 35
（５）戦略５　健康・医療・福祉戦略について
ア　健康寿命日本一の実現 36
イ　安心で質の高い医療の提供 37
ウ　高齢者と障害者の暮らしを支える体制の強化 38
エ　誰もが安全・安心を実感できる地域共生社会の実現 39
（６）戦略６　教育・人づくり戦略について
ア　秋田の将来を支える高い志にあふれる人材の育成 40
イ　確かな学力の育成 41
ウ　グローバル社会で活躍できる人材の育成 42
エ　豊かな心と健やかな体の育成 43
オ　地域社会の活性化と産業振興に資する高等教育機関の機能の強化 44
カ　生涯にわたり学び続けられる環境の構築 45
（７）選択・集中プロジェクトなどの重点施策について
ア　賃金水準の向上 46
イ　カーボンニュートラルへの挑戦 47
ウ　デジタル化の推進 48
エ　若者・女性の県内定着・回帰 49
オ　魅力的な働く場の確保 50

２　（参考）各戦略の施策に関連する項目についての満足度の平均値 51

第２章　県の特定課題について
１　県の広報活動について
（１）県が発信する情報の取得方法 54
（２）広報活動の現状評価 56
２　家庭での防災活動について
（１）家庭での災害時に備えた備蓄状況 57
（２）災害に備えた家庭での防災活動の状況 58
３　差別等について
（１）差別等を感じる機会の有無 59
（２）感じる差別等の種類 60

４　男女共同参画について
「男は仕事、女は家庭」の考え方 63
５　文化芸術の鑑賞・活動について
（１）文化芸術の鑑賞の頻度 64
（２）文化芸術の活動の頻度 65
６　読書活動について
（１）読書への興味 66
（２）１日の平均読書時間 67
７　環境保全活動について
環境保全活動への参加状況 68
８　社会活動・地域活動について
社会活動・地域活動への取組の頻度 70
９　高齢者の社会参加について
60 歳以上の方の仕事や社会活動等への参加状況（令和６年度） 71

第３章　　県政の重要課題について 72

第４章　　県政への自由意見について 77

付属資料：調査票 89
参考資料 107

第１部　調査の概要

１　調査の目的

（１） 県政に対する県民意識を把握し、新秋田元気創造プランの進行管理に活用する。
（２） 政策等の評価において、県民意識を取り入れる手法の一つとして活用する。
（３） 県民の提案や要望を把握し、政策立案や問題解決、計画の策定に反映させる。
（４） 特定課題に関する県民意識を把握し、取組の推進に活用する。

２　調査の内容

（１） プランに掲げた戦略の施策に関する項目についての満足度（選択式）
（２） 選択・集中プロジェクトなど重点的に取り組む施策に関する項目についての満足度（選択式）
（３） 県の特定課題について（選択式）
① 県の広報活動について
② 家庭での防災活動について
③ 差別等について
④ 男女共同参画について
⑤ 文化芸術の鑑賞・活動について
⑥ 読書活動について
⑦ 環境保全活動について
⑧ 社会活動・地域活動について
⑨ 高齢者の社会参加について
（４） 県政の重要課題について（選択式）
（５） 県に力を入れてほしいことなどについて（自由記述式）
（６） 回答者の属性について（選択式）

３　調査の設計

（１） 調 査 対 象：秋田県に居住する満 18 歳以上の男女
（２） 標　 本　 数：5,000 人
（３） 標本抽出方法：全県 25 市町村の選挙人名簿を基にした層化抽出法
（４） 調 査 手 法：ア　郵送による調査票の配付
イ　郵送回答とインターネット回答の併用
（５） 調 査 期 間：令和７年５月 14 日(水)～６月２日(月)
（６） 調 査 機 関：株式会社フィデア情報総研

４　回収結果

（１） 調査票回収数　　2,126 人（回　収　率　42.5%）
（２） 有効回答数　　2,120 人（有効回答率　42.4%）

５　集計・分析に当たって

（１） 比率（%）は、小数点以下第２位を四捨五入して表示する。このため、各回答の比率の合計が 100%にならないこと（99.9%、100.1%など）がある。満足度の平均点は、小数点以下第３位を四捨五入して算出する。
（２） 18～19 歳を 10 歳代として集計する。

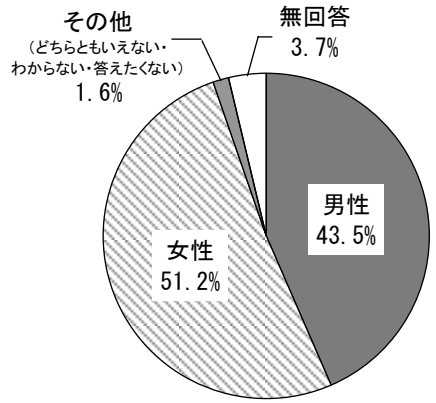
６　統計表

各設問の回答に関する統計データは、県の公式ウェブサイト「美の国あきたネット」（https://www.pref.akita.lg.jp）に掲載している。

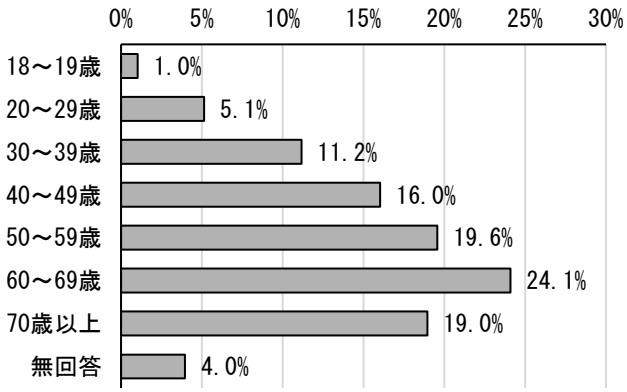
7　有効回答者の属性

属　性		有効回答者数		推計人口（R6.10.1 現在）	
		客体数	構成比	18 歳以上人口	構成比
合　計		2,120	100.0%	795,335	100.0%
①性別	男性	922	43.5%	372,334	46.8%
	女性	1,086	51.2%	423,001	53.2%
	その他（どちらともいえない・わからない・答えたくない）	33	1.6%	―	―
	無回答	79	3.7%	―	―
②年齢	18～19 歳	22	1.0%	13,429	1.7%
	20～29 歳	109	5.1%	56,802	7.1%
	30～39 歳	237	11.2%	74,158	9.3%
	40～49 歳	340	16.0%	110,528	13.9%
	50～59 歳	415	19.6%	120,374	15.1%
	60～69 歳	511	24.1%	138,927	17.5%
	70 歳以上	402	19.0%	281,117	35.3%
	無回答	84	4.0%	―	―
③18 歳未満の子の有無	養育している	416	19.6%	―	―
	養育していない	1,552	73.2%	―	―
	無回答	152	7.2%	―	―
④出身	秋田県の出身	1,886	89.0%	―	―
	秋田県以外の出身	142	6.7%	―	―
	無回答	92	4.3%	―	―
⑤居住地域	鹿角地域	73	3.4%	27,346	3.4%
	北秋田地域	189	8.9%	83,618	10.5%
	山本地域	156	7.4%	61,468	7.7%
	秋田地域	824	38.9%	324,862	40.8%
	由利地域	204	9.6%	81,309	10.2%
	仙北地域	289	13.6%	98,969	12.4%
	平鹿地域	176	8.3%	69,844	8.8%
	雄勝地域	112	5.3%	47,919	6.0%
	無回答	97	4.6%	―	―
⑥職業	農業	137	6.5%	―	―
	林業	6	0.3%	―	―
	漁業	1	0.0%	―	―
	建設業	123	5.8%	―	―
	製造業	198	9.3%	―	―
	情報通信業	17	0.8%	―	―
	運輸業・郵便業	64	3.0%	―	―
	卸売業・小売業（観光関連）	19	0.9%	―	―
	卸売業・小売業（観光関連以外）	113	5.3%	―	―
	宿泊業	6	0.3%	―	―
	飲食サービス業	66	3.1%	―	―
	学術研究・学校教育・学習支援	69	3.3%	―	―
	医療・保健	123	5.8%	―	―
	福祉	116	5.5%	―	―
	公務（上記以外）	103	4.9%	―	―
	その他の業種	298	14.1%	―	―
	学生	40	1.9%	―	―
	無職	493	23.3%	―	―
	無回答	128	6.0%	―	―

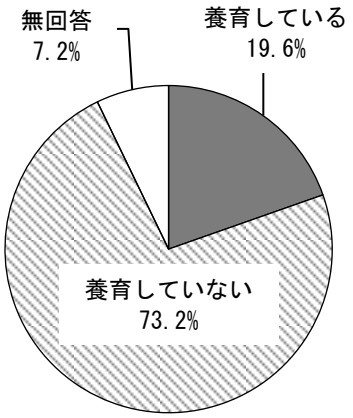
①性別



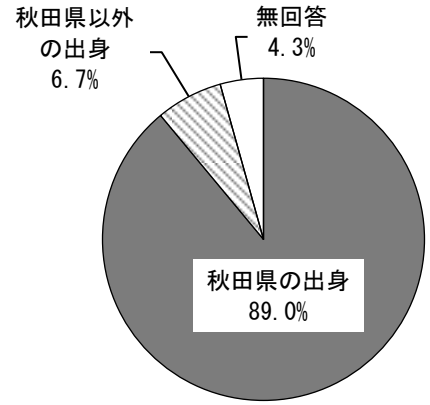
②年齢



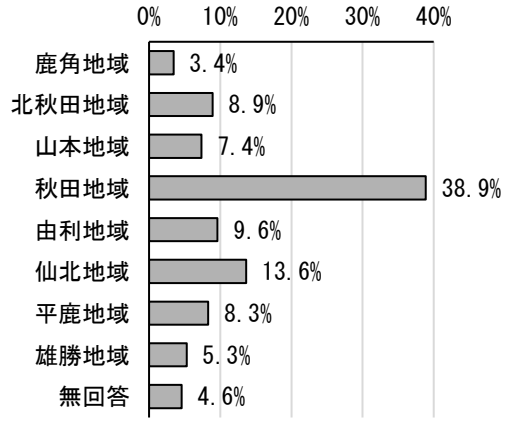
③18 歳未満の子の有無



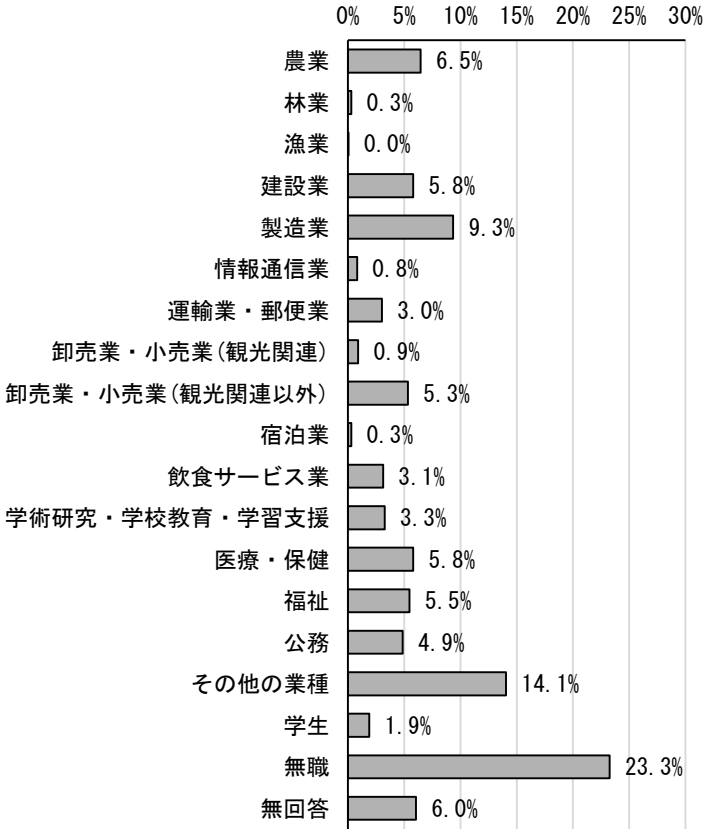
④出身



⑤居住地域



⑥職業



８　標本抽出方法

（１）層化及び標本数の配分

調査対象を県内 25 市町村で層化し、各市町村の満 18 歳以上の人口（令和６年 10 月 1 日現在）の構成比に応じて 5,000 の標本を比例分配した。

地域名	NO	市町村名	18 歳以上人口 (R6.10.1 現在)	18 歳以上人口 構成比	調査地点 人口按分
		県　　計	795,335	100.0%	5,000
鹿角地域	1	鹿角市	23,392	2.9%	147
	2	小坂町	3,954	0.5%	25
北秋田地域	3	大館市	57,352	7.2%	361
	4	北秋田市	24,621	3.1%	155
	5	上小阿仁村	1,645	0.2%	10
山本地域	6	能代市	41,346	5.2%	260
	7	藤里町	2,335	0.3%	15
	8	三種町	12,410	1.6%	78
	9	八峰町	5,377	0.7%	34
秋田地域	10	秋田市	259,585	32.6%	1,632
	11	男鹿市	20,561	2.6%	129
	12	潟上市	26,862	3.4%	169
	13	五城目町	6,938	0.9%	44
	14	八郎潟町	4,677	0.6%	29
	15	井川町	3,788	0.5%	24
	16	大潟村	2,451	0.3%	15
由利地域	17	由利本荘市	62,052	7.8%	390
	18	にかほ市	19,257	2.4%	121
仙北地域	19	大仙市	63,870	8.0%	402
	20	仙北市	19,942	2.5%	125
	21	美郷町	15,157	1.9%	95
平鹿地域	22	横手市	69,844	8.8%	439
雄勝地域	23	湯沢市	34,470	4.3%	217
	24	羽後町	11,146	1.4%	70
	25	東成瀬村	2,303	0.3%	14

（2） 報告書の見方

母集団全体の中から一部を抽出する標本調査では、母集団全体を対象に行った調査と比べ、何らかの誤差が生ずる。本調査では信頼係数を 95%と設定しており、誤差は以下の式で得られる。第３部では点推定値を掲載しているが、以上のような誤差をもっている。

①回答割合の誤差
標本誤差＝$1.96 \times \sqrt{p(1-p)/n}$
②回答結果の平均値の誤差
標本誤差＝$1.96 \times s\sqrt{n}$

N=母集団数
n=標本数
s=標本標準偏差
p=回答比率

①の回答割合に関しては、本調査における誤差の早見表を以下に記載する。この表では、例えば、「全体」の 50%から「十分」という回答比率が得られた問について、繰り返し標本を抽出し推定を何度も行った場合、95%の確率で母割合（全県民が「十分」と考える割合）を 50%±2.1%の範囲内に含むことを表している。また、100 回中 95 回は誤差を含めた範囲内に母割合を含むが、５回は含まないときがある。

回答割合の誤差の早見表

項目名	N：母集団数（人）	n：回答者数（人）	p：回答比率（%）				
			10%または90%前後	20%または80%前後	30%または70%前後	40%または60%前後	50%前後
全体	795,335	2,120	1.3	1.7	2.0	2.1	2.1
年代別							
18～39歳	144,389	368	3.1	4.1	4.7	5.0	5.1
40～59歳	230,902	755	2.1	2.9	3.3	3.5	3.6
60歳以上	420,044	913	1.9	2.6	3.0	3.2	3.2

※無回答の84人を含むため、年代別の計と一致しない。

②の回答結果の平均値に関し、誤差を考慮した区間推定結果を以下に掲載する。この推定の精度は、繰り返し標本を抽出し推定を何度も行った場合に 95%の確率で母平均（母集団である全県民の回答の平均値）をその範囲内に含む程度であり、100 回中 95 回は信頼区間の中に母平均を含むが、５回は含まないときがある。

回答結果の平均値の区間推定

質問No.	全体		年代別					
			18～39歳		40～59歳		60歳以上	
	標本平均値	信頼区間	標本平均値	信頼区間	標本平均値	信頼区間	標本平均値	信頼区間
1-1	2.24	2.21 ～ 2.28	2.36	1.75 ～ 2.97	2.20	1.79 ～ 2.60	2.25	2.20 ～ 2.30
1-2	2.49	2.46 ～ 2.52	2.64	2.05 ～ 3.22	2.46	2.07 ～ 2.85	2.48	2.43 ～ 2.53
1-3	2.17	2.14 ～ 2.20	2.26	1.70 ～ 2.82	2.10	1.72 ～ 2.48	2.21	2.16 ～ 2.26
1-4	2.22	2.19 ～ 2.25	2.36	1.80 ～ 2.93	2.19	1.81 ～ 2.57	2.20	2.15 ～ 2.25
1-5	2.48	2.45 ～ 2.51	2.65	2.09 ～ 3.21	2.51	2.13 ～ 2.89	2.38	2.33 ～ 2.42
1-6	2.65	2.62 ～ 2.69	2.97	2.39 ～ 3.55	2.74	2.34 ～ 3.14	2.46	2.41 ～ 2.51
1-7	2.54	2.51 ～ 2.57	2.73	2.10 ～ 3.35	2.55	2.14 ～ 2.97	2.45	2.40 ～ 2.50
1-8	2.35	2.31 ～ 2.38	2.65	2.08 ～ 3.22	2.40	2.02 ～ 2.79	2.18	2.14 ～ 2.23
1-9	2.30	2.27 ～ 2.33	2.52	1.99 ～ 3.05	2.32	1.95 ～ 2.68	2.20	2.15 ～ 2.25
1-10	3.04	3.01 ～ 3.07	3.35	2.82 ～ 3.88	3.06	2.69 ～ 3.42	2.90	2.85 ～ 2.94
1-11	2.66	2.63 ～ 2.69	2.78	2.24 ～ 3.32	2.66	2.28 ～ 3.03	2.60	2.55 ～ 2.65
1-12	2.66	2.63 ～ 2.69	2.84	2.31 ～ 3.38	2.61	2.24 ～ 2.98	2.62	2.57 ～ 2.67
1-13	2.25	2.22 ～ 2.28	2.32	1.79 ～ 2.86	2.19	1.82 ～ 2.55	2.27	2.22 ～ 2.32
1-14	1.66	1.63 ～ 1.69	1.59	1.05 ～ 2.12	1.61	1.24 ～ 1.98	1.73	1.68 ～ 1.78
1-15	1.80	1.77 ～ 1.83	1.83	1.29 ～ 2.37	1.79	1.42 ～ 2.16	1.79	1.75 ～ 1.84
1-16	2.01	1.98 ～ 2.04	2.20	1.66 ～ 2.74	1.99	1.62 ～ 2.37	1.94	1.89 ～ 1.99
1-17	2.38	2.35 ～ 2.41	2.54	1.97 ～ 3.10	2.33	1.94 ～ 2.72	2.36	2.31 ～ 2.40
1-18	2.55	2.52 ～ 2.58	2.70	2.10 ～ 3.30	2.50	2.10 ～ 2.90	2.52	2.47 ～ 2.56
1-19	2.64	2.61 ～ 2.67	2.78	2.23 ～ 3.33	2.64	2.26 ～ 3.02	2.58	2.53 ～ 2.63
1-20	2.79	2.76 ～ 2.82	2.89	2.34 ～ 3.43	2.71	2.33 ～ 3.08	2.82	2.78 ～ 2.87
1-21	2.24	2.21 ～ 2.27	2.28	1.74 ～ 2.81	2.09	1.72 ～ 2.45	2.33	2.29 ～ 2.38
1-22	2.52	2.49 ～ 2.55	2.68	2.12 ～ 3.23	2.44	2.07 ～ 2.82	2.52	2.47 ～ 2.57
1-23	2.45	2.42 ～ 2.48	2.47	1.92 ～ 3.03	2.37	1.99 ～ 2.76	2.48	2.44 ～ 2.53
1-24	2.79	2.76 ～ 2.82	2.82	2.27 ～ 3.37	2.79	2.40 ～ 3.18	2.78	2.73 ～ 2.84
1-25	2.90	2.87 ～ 2.94	2.93	2.34 ～ 3.52	2.90	2.48 ～ 3.31	2.89	2.83 ～ 2.95
1-26	2.70	2.66 ～ 2.73	2.80	2.23 ～ 3.37	2.69	2.29 ～ 3.10	2.64	2.58 ～ 2.70
1-27	2.93	2.90 ～ 2.96	3.16	2.59 ～ 3.72	2.89	2.49 ～ 3.29	2.86	2.80 ～ 2.91
1-28	2.85	2.81 ～ 2.88	3.05	2.43 ～ 3.68	2.83	2.40 ～ 3.25	2.77	2.72 ～ 2.83
1-29	2.79	2.76 ～ 2.82	3.03	2.47 ～ 3.60	2.78	2.38 ～ 3.17	2.70	2.65 ～ 2.75
2-1	1.76	1.73 ～ 1.79	1.80	1.26 ～ 2.34	1.68	1.32 ～ 2.05	1.80	1.75 ～ 1.84
2-2	2.53	2.49 ～ 2.56	2.77	2.16 ～ 3.37	2.48	2.06 ～ 2.91	2.47	2.41 ～ 2.52
2-3	2.66	2.63 ～ 2.69	2.71	2.16 ～ 3.25	2.66	2.28 ～ 3.05	2.63	2.58 ～ 2.68
2-4	1.83	1.80 ～ 1.86	1.77	1.23 ～ 2.31	1.82	1.44 ～ 2.20	1.86	1.81 ～ 1.91
2-5	1.92	1.89 ～ 1.95	1.96	1.42 ～ 2.50	1.88	1.50 ～ 2.25	1.94	1.89 ～ 1.99

第２部　調査結果の概要

1　第１章　「～大変革の時代～ 新秋田元気創造プラン」について（P17～53）

「～大変革の時代～ 新秋田元気創造プラン」の６つの戦略の各施策に関連する項目について、「十分（５）」、「おおむね十分（４）」、「ふつう（３）」、「やや不十分（２）」、「不十分（１）」及び「わからない（N）」の中から１つを選択する形式で満足度の状況等を調査した。

			満足度	回答の割合（%）						
				十分（5）	おおむね十分（4）	ふつう（3）	やや不十分（2）	不十分（1）	わからない（N）	無回答
戦略1	1	生産性が向上するなど、県内産業の競争力の強化が図られている。	2.24	0.6	3.7	28.3	26.3	18.5	21.7	0.9
	2	輸送機、新エネルギー、情報、医療福祉機器分野等の成長産業への参入が進んでいる。	2.49	1.3	9.5	30.9	24.9	14.0	18.5	0.9
	3	地域経済・社会を支える地域産業の活性化が図られている。	2.17	0.9	4.5	25.8	31.6	22.9	13.2	1.1
	4	企業の進出に向けた立地環境が整備され、企業誘致が進んでいる。	2.22	0.8	5.8	27.5	29.7	22.3	13.0	0.9
戦略2	5	経営力の高い担い手等が活躍するなど、我が国の食料供給に貢献している。	2.48	2.0	9.3	33.0	26.1	16.1	12.6	0.8
	6	「伐って・使って・植える」という森林資源の循環利用が進み、林業・木材産業が発展している。	2.65	1.5	11.2	35.5	21.2	10.3	19.6	0.7
	7	蓄養殖や水産物のオンライン販売など、水産業での新たな取組が進んでいる。	2.54	0.8	7.1	31.9	23.3	9.3	26.7	0.9
	8	農家民宿や農家レストランなど地域資源を生かした多様な農村ビジネスが増え、農山漁村が活性化している。	2.35	1.6	7.6	28.3	28.3	19.1	14.1	1.0
戦略3	9	秋田の魅力が向上し、国内外から観光誘客が進んでいる。	2.30	1.3	10.5	27.4	31.0	23.9	4.9	0.9
	10	食品産業が発展し、日本酒や発酵食品など、秋田の食品が盛んに流通している。	3.04	4.6	23.7	42.6	16.8	6.2	5.1	0.9
	11	国内外に秋田の文化芸術の魅力が伝えられている。	2.66	2.5	13.5	37.0	24.8	12.2	8.8	1.1
	12	スポーツを通じて地域に活力とにぎわいがもたらされている。	2.66	2.3	13.9	38.3	25.0	12.5	6.9	1.1
	13	国内外との交流を支える高速広域交通や、日々の暮らしを支える地域交通の整備が進んでいる。	2.25	1.4	8.0	27.3	31.8	24.2	6.1	1.1
戦略4	14	秋田への移住者が増加するほか、若者の県内定着・回帰が進んでいる。	1.66	0.5	1.6	11.9	30.8	48.0	6.3	0.9
	15	結婚・出産・子育ての希望がかなう環境づくりが進んでいる。	1.80	0.6	3.3	15.3	30.1	41.6	8.2	1.0
	16	女性や若者が、個性や能力を発揮して活躍できる環境づくりが進んでいる。	2.01	0.7	2.7	23.5	33.5	29.9	8.7	0.9

			満足度	回答の割合（%）						
				十分（5）	おおむね十分（4）	ふつう（3）	やや不十分（2）	不十分（1）	わからない（N）	無回答
戦略4	17	多様な主体による協働等を通じて、安心して生活できる地域社会づくりが行われている。	2.38	0.9	3.3	37.9	26.6	15.4	14.7	1.3
	18	地域住民、事業者、行政等が連携して、地球温暖化対策に取り組んでいる。	2.55	1.4	6.6	38.4	21.4	12.0	19.2	1.1
	19	デジタル化の推進等により充実した行政サービスが提供されている。	2.64	1.6	9.3	43.1	19.7	11.6	13.6	1.1
戦略5	20	県民の健康づくりに取り組む意識が高まり、元気に生活している。	2.79	1.9	11.9	51.7	16.0	9.2	7.9	1.3
	21	どこに住んでいても、必要な医療を受けられる体制が整っている。	2.24	1.9	8.2	27.8	28.7	27.5	4.7	1.3
	22	高齢者や障害のある方が、必要なサービスや支援を受けながら、住み慣れた地域で安心して生活している。	2.52	2.3	8.6	36.9	25.8	14.8	10.1	1.5
	23	相談体制や支援の充実により、地域や社会から孤立することなく、安心して生活できる社会づくりが進んでいる。	2.45	1.3	5.9	38.3	26.1	15.3	11.7	1.4
戦略6	24	学校教育を通じて、ふるさとを愛し、社会で活躍しようとする心が育まれている。	2.79	1.7	11.6	43.8	16.1	8.0	17.3	1.5
	25	学校教育を通じて、ＩＣＴを効果的に活用しながら、自ら考え、判断し、表現する力が育まれている。	2.90	1.7	11.7	41.6	11.2	5.4	27.0	1.5
	26	学校教育を通じて、外国文化を理解しようとする態度や、英語でコミュニケーションができる能力が育まれている。	2.70	1.7	8.6	38.0	18.0	8.4	23.7	1.6
	27	学校教育を通じて、他人への思いやりなどの豊かな心や健やかな体が育まれている。	2.93	2.5	13.0	45.4	11.2	6.2	20.1	1.6
	28	県内の大学等で、地域の活性化につながる教育・研究・地域貢献が行われている。	2.85	1.7	9.9	38.0	13.3	5.3	30.2	1.6
	29	県民がライフステージや生活スタイルに応じて学び、文化芸術に触れる機会が提供されている。	2.79	2.5	11.0	43.1	17.4	7.9	16.7	1.5
選択・集中プロジェクトなどの重点施策	1	県内の「賃金水準の向上」に向けた取組が進んでいる。	1.76	0.5	2.2	15.1	30.2	43.0	8.3	0.7
	2	「カーボンニュートラル」の実現に向けた取組が進んでいる。	2.53	1.6	5.0	33.7	20.8	10.6	27.3	0.9
	3	県民生活の様々な場面において、「デジタル化」に向けた取組が進んでいる。	2.66	1.2	9.1	43.7	20.4	10.0	14.6	1.0
	4	「若者・女性の県内定着・回帰」に向けた取組が進んでいる。	1.83	0.5	1.6	15.3	35.8	34.6	11.4	0.9
	5	「働く場の確保」や「労働環境の整備」など、魅力的な職場づくりが行われている。	1.92	0.4	2.0	19.5	35.0	31.7	10.5	0.8

２　第２章　県の特定課題について（P54～71）

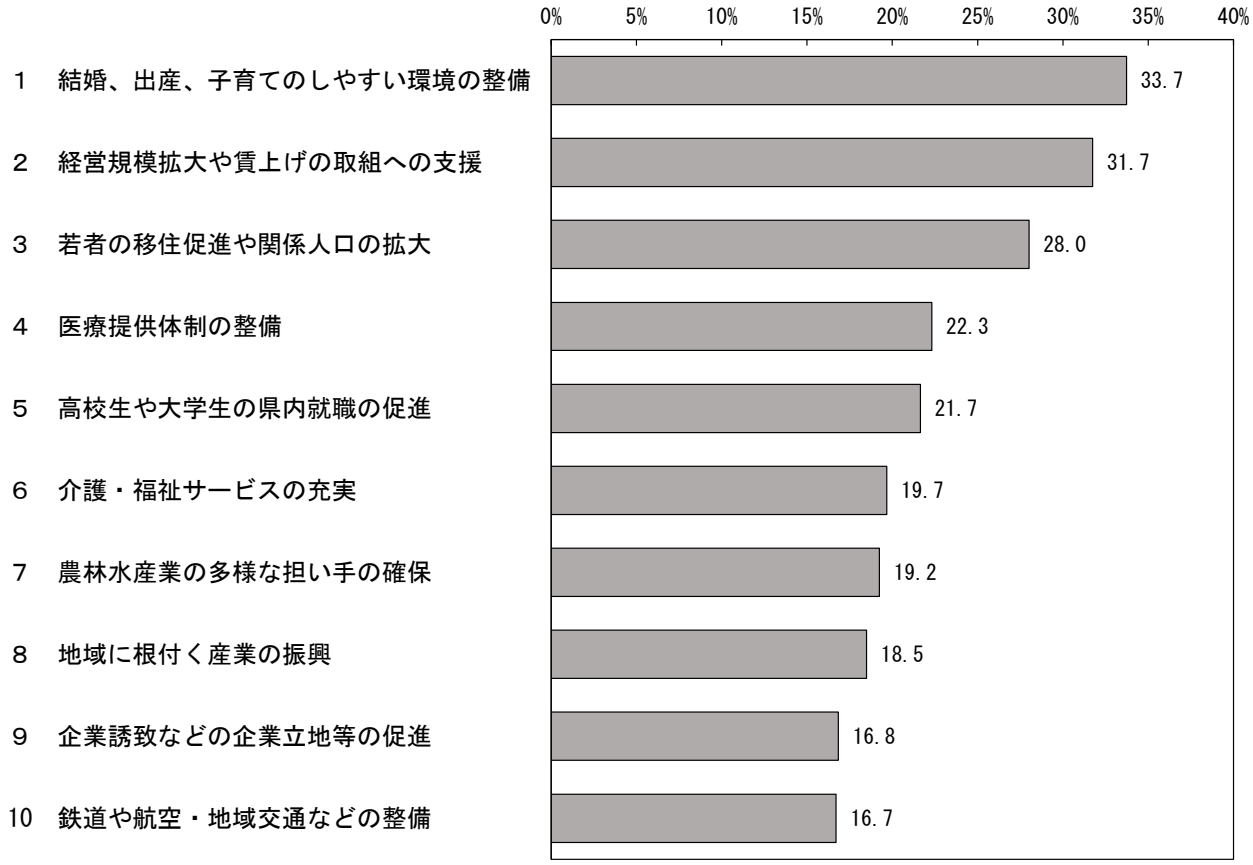
県の特定課題として、次の９課題について調査した。

（１） 県の広報活動について
（２） 家庭での防災活動について
（３） 差別等について
（４） 男女共同参画について
（５） 文化芸術の鑑賞・活動について
（６） 読書活動について
（７） 環境保全活動について
（８） 社会活動・地域活動について
（９） 高齢者の社会参加について

３　第３章　県政の重要課題について（P72～76）

今後の県政を推進していく上で、「重要課題として県に力を入れてほしいこと」を 50 の選択肢の中から５つまで選ぶ形式で調査した。

重要課題として県に力を入れてほしいこと（上位 10 項目）



４　第４章　県政への自由意見について（P77～88）

県に力を入れてほしいことや、取り組むべきだと思うことについて、777 人から 1,089 件の意見が寄せられた。

項番	項　　目	件数
A	商工業・雇用・労働に関すること	130
B	農林水産業に関すること	55
C	観光に関すること	27
D	文化・スポーツに関すること	39
E	道路・交通ネットワークに関すること	58
F	移住・定住に関すること	36
G	結婚・出産・子育てに関すること	111
H	女性・若者の活躍に関すること	43
I	地域社会の維持・活性化に関すること	35
J	健康・医療・福祉に関すること	77
K	教育・人づくりに関すること	45
L	防災減災に関すること	4
M	生活環境・自然環境に関すること	53
N	県政全般に対する意見・その他	376
合　　計		1,089

第３部　調査結果の詳細

第１章「～大変革の時代～ 新秋田元気創造プラン」について

１　各戦略の施策に関連する項目についての満足度（問１、問２）

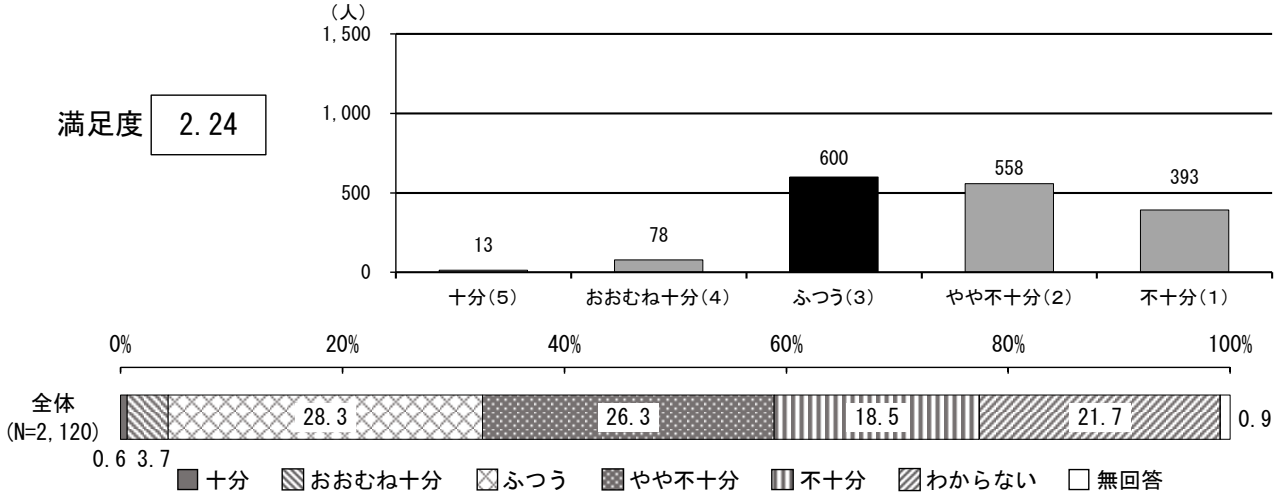
プランの各施策に関連する項目について、満足度を「十分（５）」～「不十分（１）」の５段階で質問した。

（１）戦略１　産業・雇用戦略について

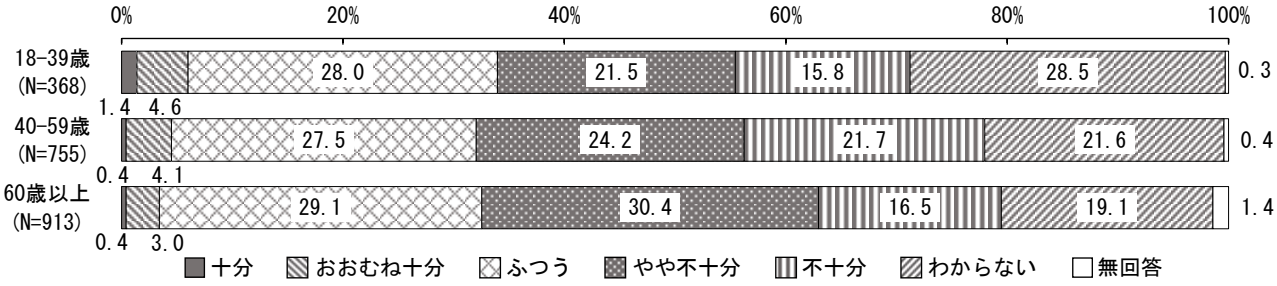
ア　産業構造の変化に対応した県内産業の競争力の強化

問 1-1　生産性が向上するなど、県内産業の競争力の強化が図られている。

（ａ）満足度の状況



【年代別】



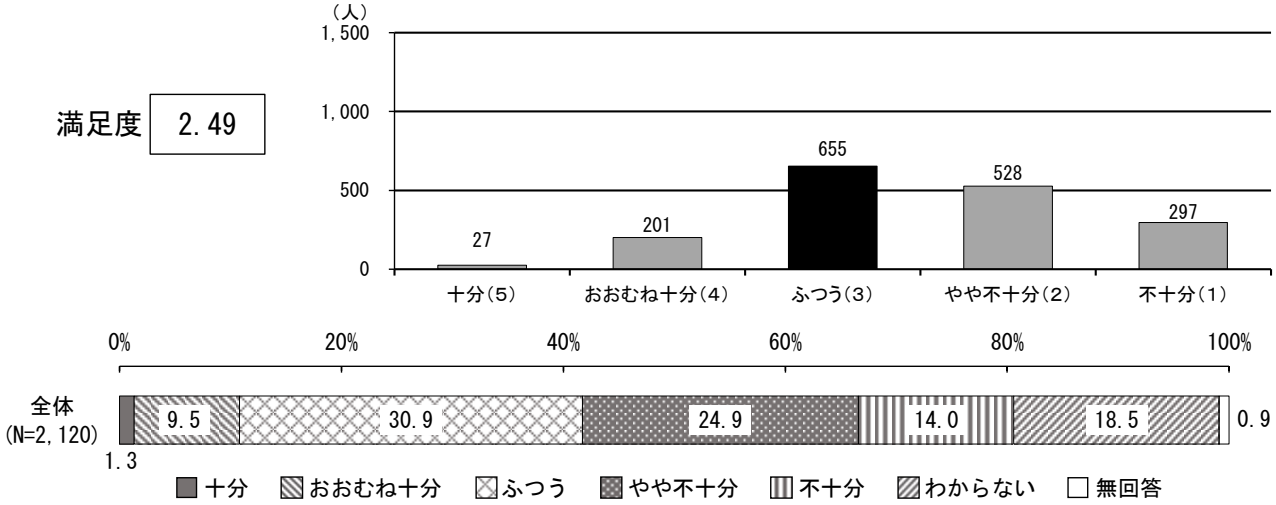
（ｂ）回答の理由

- 後継者問題を解決できておらず、ノウハウを確立した一部の企業、個人のみが事業を継続できているように感じる。（１　不十分／女性／70 歳以上／鹿角地域）
- 大手企業を県内に誘致して雇用機会を増やしたり、県内産業のＤＸ化を図ることで、若年層にも働きやすい環境を行政がつくることが必要であると感じる。（１　不十分／女性／40 歳代／北秋田地域）
- 中小企業を更に支援するとともに、職業訓練の実施等により若者が手に職を付け、あるいは資格を得て雇用されるようになってほしい。（３　ふつう／女性／60 歳代／仙北地域）

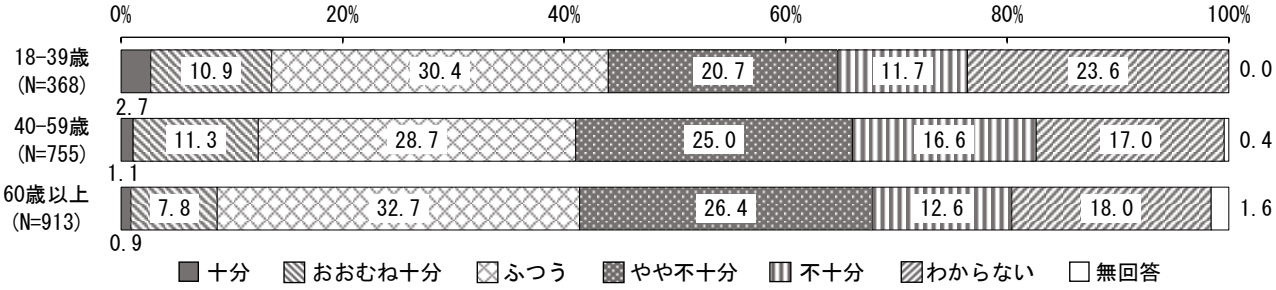
イ　地域資源を生かした成長産業の発展

問 1-2　輸送機、新エネルギー、情報、医療福祉機器分野等の成長産業への参入が進んでいる。

（ａ）満足度の状況



【年代別】



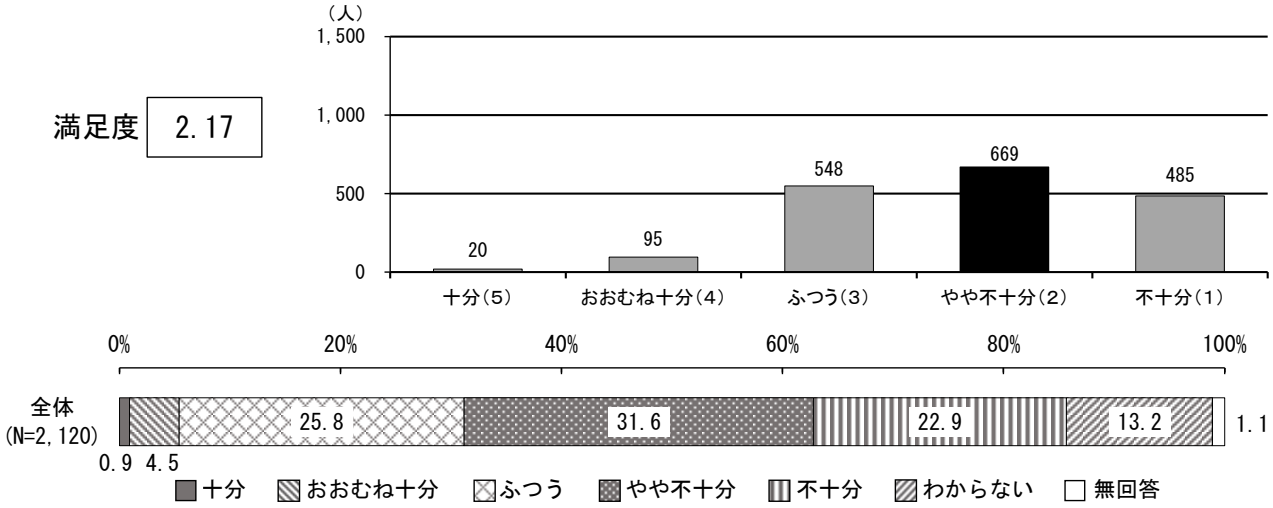
（ｂ）回答の理由

- 県内の風力発電の効果が県民にどのように還元されているのかがわからない。（１　不十分／男性／70 歳以上／秋田地域）
- 風力発電は盛んに行われているが、事故もあり大型風力の安全性はどうなのかという疑問はある。（２　やや不十分／男性／40 歳代／秋田地域）
- 福祉施設や医療現場で様々な機器が導入されているが、人手不足解消などにつながっていると思えない。（２　やや不十分／女性／30 歳代／北秋田地域）

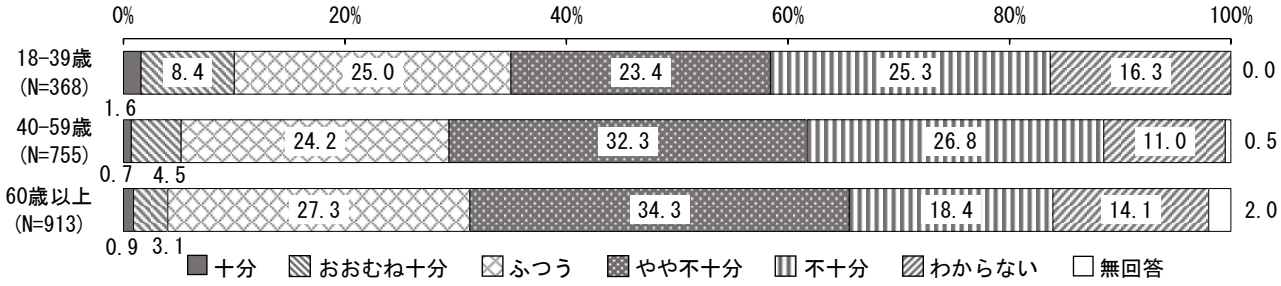
ウ　歴史と風土に培われた地域産業の活性化

問 1-3　地域経済・社会を支える地域産業の活性化が図られている。

（ａ）満足度の状況



【年代別】



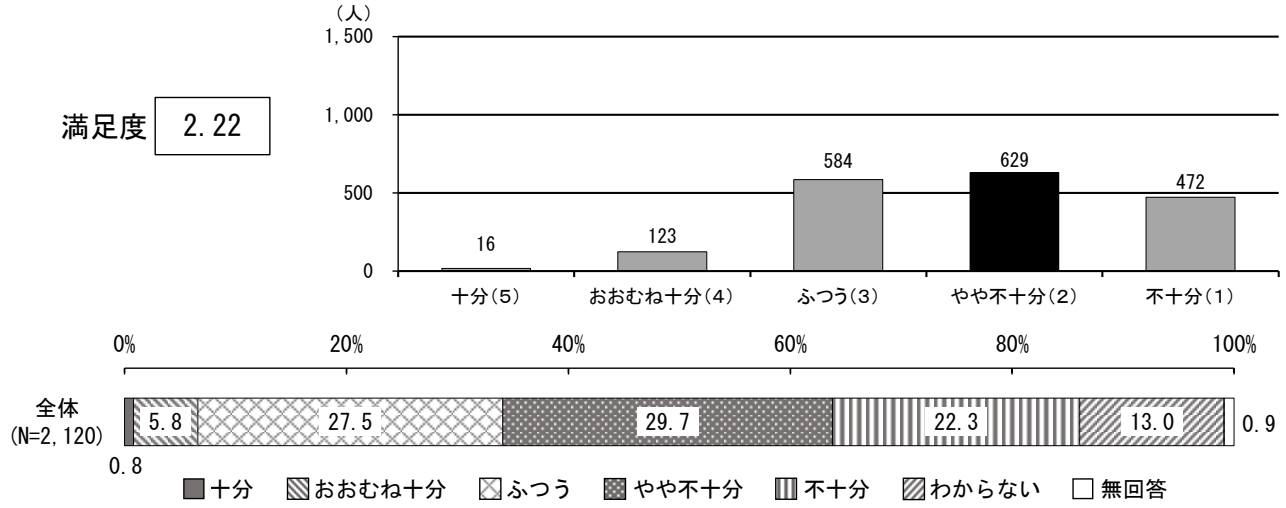
（ｂ）回答の理由

- 若年層の県外流出、婚姻数・出生率の低下・低迷を考えると地域産業が活性化されているとは考えづらい。（1　不十分／男性／70 歳以上／秋田地域）
- 裾野が広い自動車産業やそれに類似する産業分野へ集中的に取り組み、関係企業とのパイプ構築を優先するべきと考える。（3　ふつう／女性／30 歳代／平鹿地域）
- 仕事上、地域産業のお客様に寄り添う業種であるが、支援が行き届いている印象がなく、あまり活性化しているとは思えない。（3　ふつう／男性／40 歳代／仙北地域）

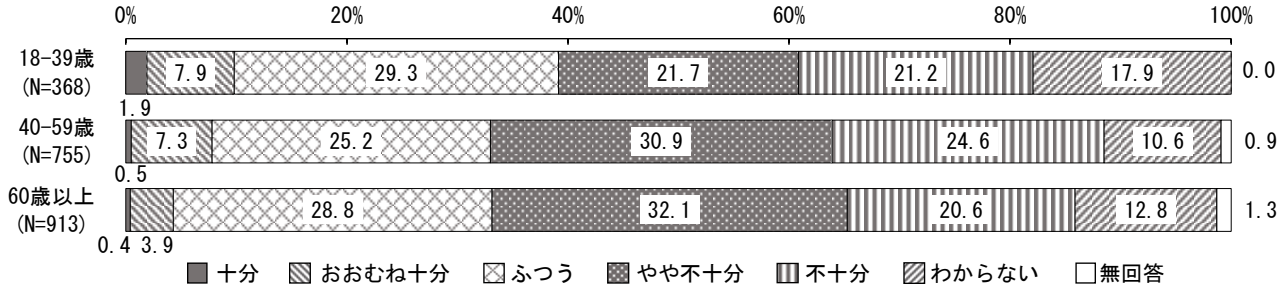
エ　産業振興を支える投資の拡大

問 1-4　企業の進出に向けた立地環境が整備され、企業誘致が進んでいる。

（ａ）満足度の状況



【年代別】



（ｂ）回答の理由

- 　これまでに大小様々な企業が県内に誘致されたと思うが、企業の規模や企業の数などをどの県民にも見える形にすると行政の努力が伝わるのではないか。（１　不十分／男性／50 歳代／秋田地域）
- 　土地は都市に比べてあると思うので、もっと積極的に誘致し、企業サイドにも魅力ある場所になってほしい。（３　ふつう／女性／60 歳代／仙北地域）
- 　誘致企業が増え、若者の雇用につながると本当に良いと思うが、そのためにも秋田の魅力をどんどん発信してほしい。（３　ふつう／女性／60 歳代／仙北地域）

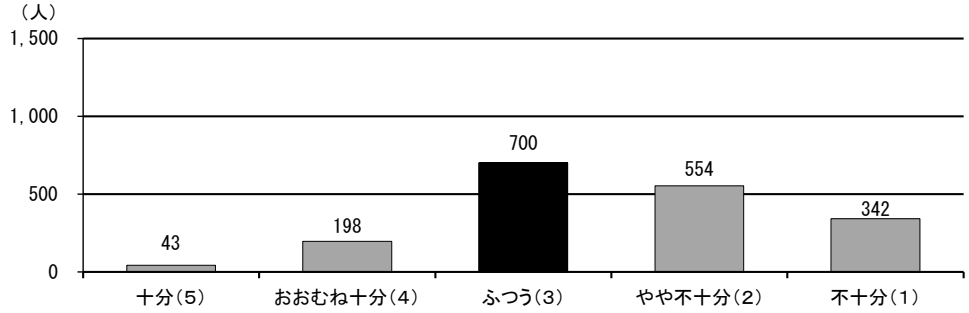
（２）戦略２　農林水産戦略について

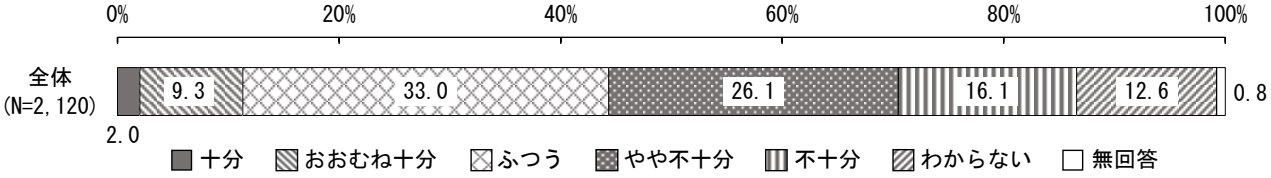
ア　農業の食料供給力の強化

問 1-5　経営力の高い担い手等が活躍するなど、我が国の食料供給に貢献している。

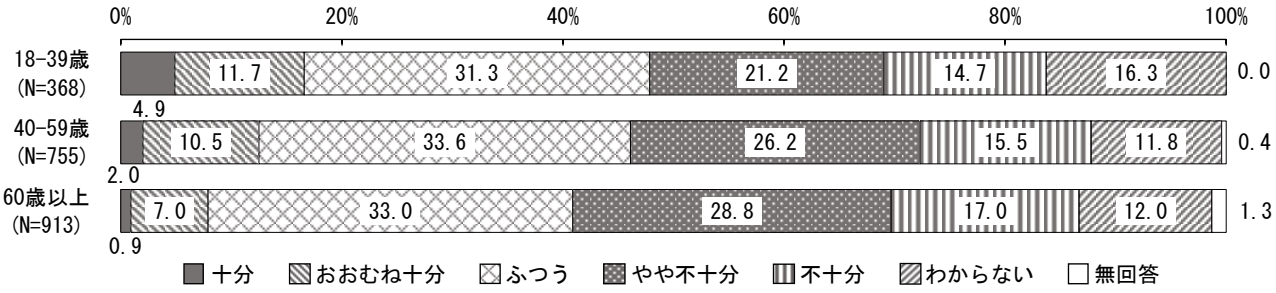
（ａ）満足度の状況

満足度　2.48





【年代別】



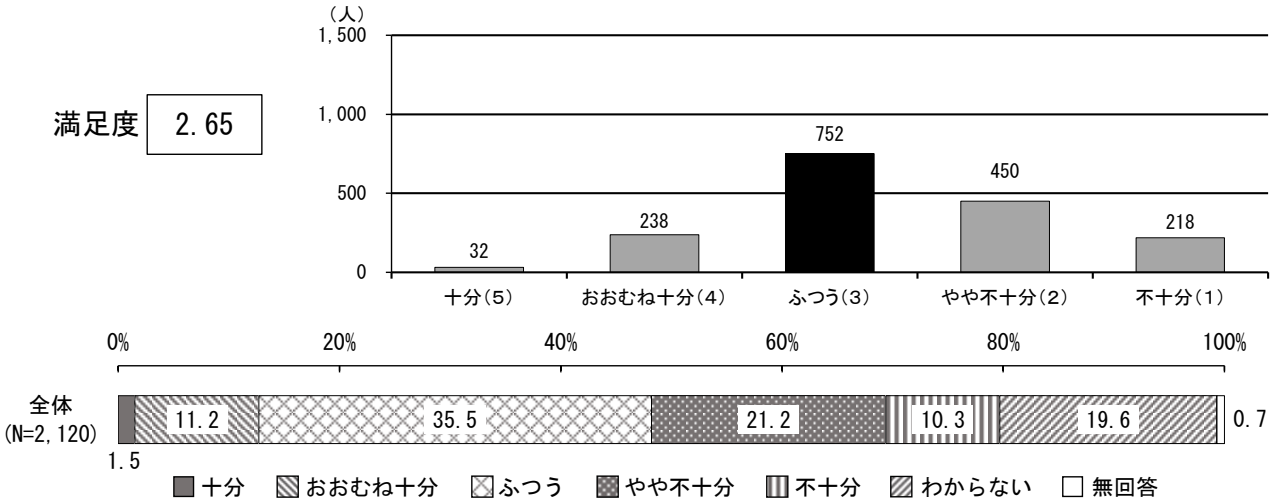
（ｂ）回答の理由

- 今問題になっている米不足に対して県レベルで何をしようとしているのかわからない。（1 不十分／男性／70 歳以上／北秋田地域）
- 高齢化による離農が加速度的に進んでいる。米価上昇を好機ととらえ、若者の就農、耕作放棄地の活用を、もっと予算をつぎ込んで進めるべきと考える。（1　不十分／男性／50 歳代／秋田地域）
- 秋田県の美味しい米、野菜、果物、花、種苗交換会の開催、とても素晴らしいと思う。これからも農業を一番に推進していってほしい。（5　十分／女性／60 歳代／仙北地域）

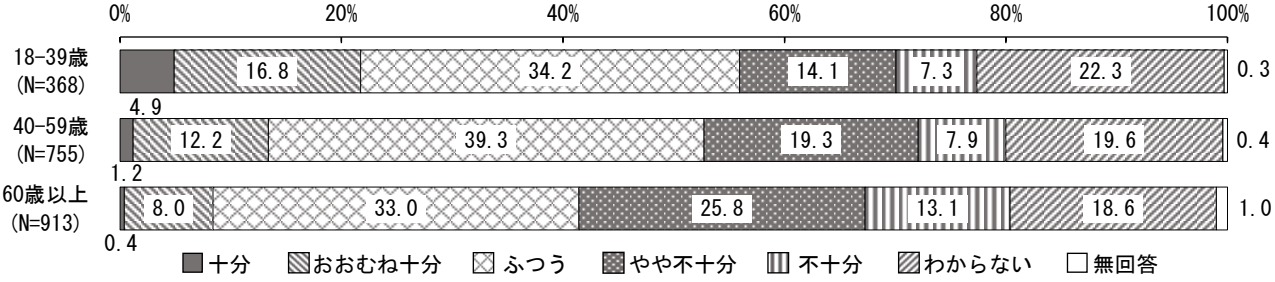
イ　林業・木材産業の成長産業化

問 1-6　「伐って・使って・植える」という森林資源の循環利用が進み、林業・木材産業が発展している。

（ａ）満足度の状況



【年代別】



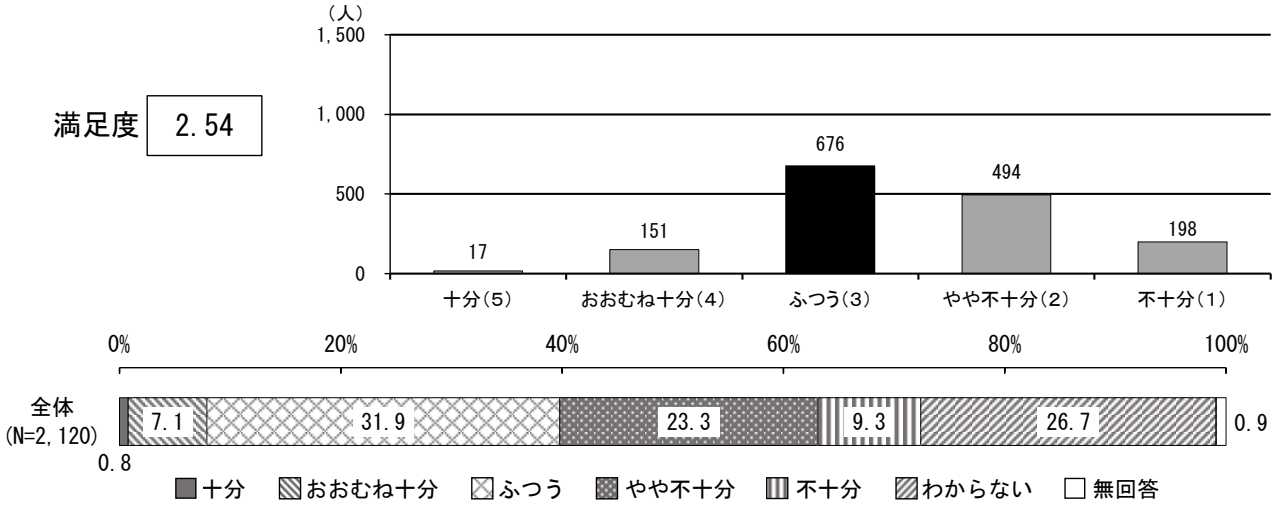
（ｂ）回答の理由

- 雑木林や山の放置が進んでいて、いつ山が崩れるか心配に思う。（1　不十分／女性／60 歳代／平鹿地域）
- 伐っているばかりで植える事をしていないと感じる。植樹にも力を入れてほしい。（2　やや不十分／男性／60 歳代／山本地域）
- ほとんどの山林で植林や伐採が適正に行われている様子を目にする。ただし、高齢化の進む地域では管理に不安を感じる山林を目にすることもある。（4　おおむね十分／その他／40 歳代／秋田地域）

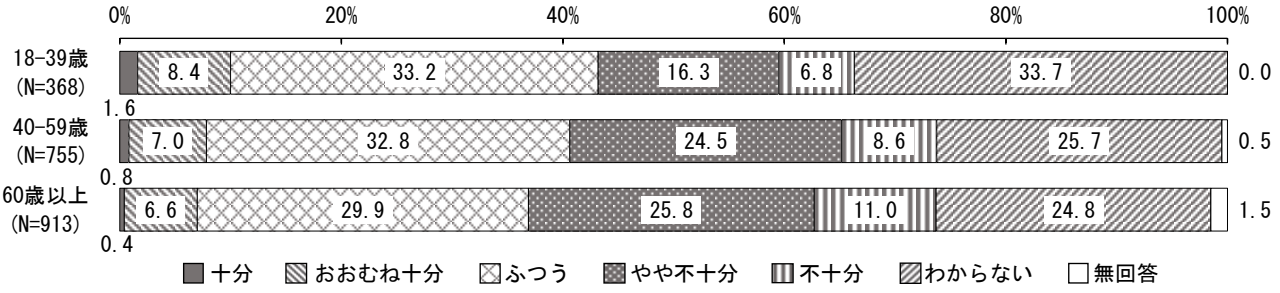
ウ　水産業の持続的な発展

問 1-7　蓄養殖や水産物のオンライン販売など、水産業での新たな取組が進んでいる。

（ａ）満足度の状況



【年代別】



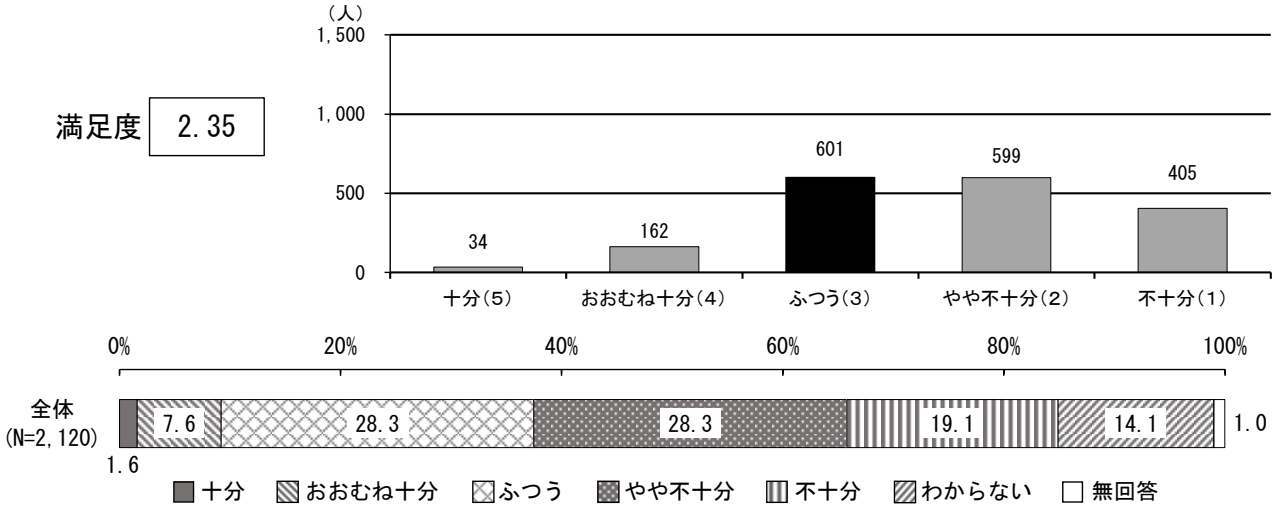
（ｂ）回答の理由

- 新しいブランド品が開発されたというニュースは目にするが、オンライン販売のアピールが弱いと感じる。（２　やや不十分／女性／40 歳代／秋田地域）
- オンライン販売はもちろんのこと、鮮度を保ったまま冷凍する技術を取り入れて県内の水産業を盛り上げていってほしいが、期待値まで達していないのが残念。（２　やや不十分／女性／40 歳代／北秋田地域）
- 定番以外の地元の養殖魚が近所のスーパーにも並んでいて、新しい取組を実感している。（４　おおむね十分／女性／50 歳代／秋田地域）

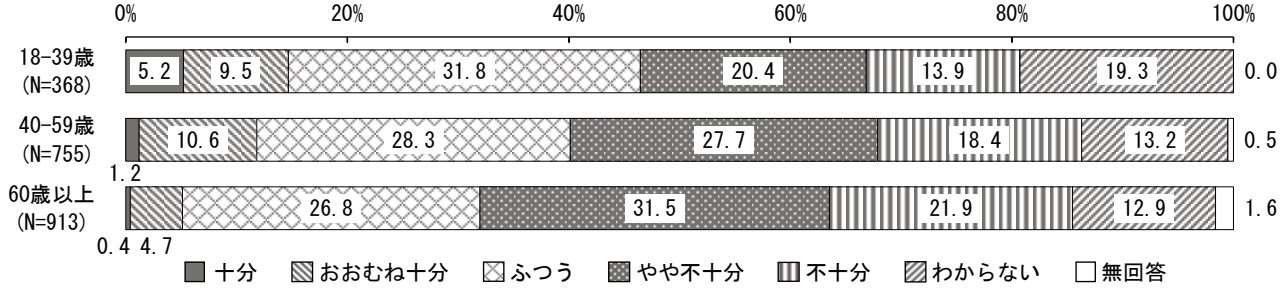
エ　農山漁村の活性化

問 1-8　農家民宿や農家レストランなど地域資源を生かした多様な農村ビジネスが増え、農山漁村が活性化している。

（ａ）満足度の状況



【年代別】



（ｂ）回答の理由

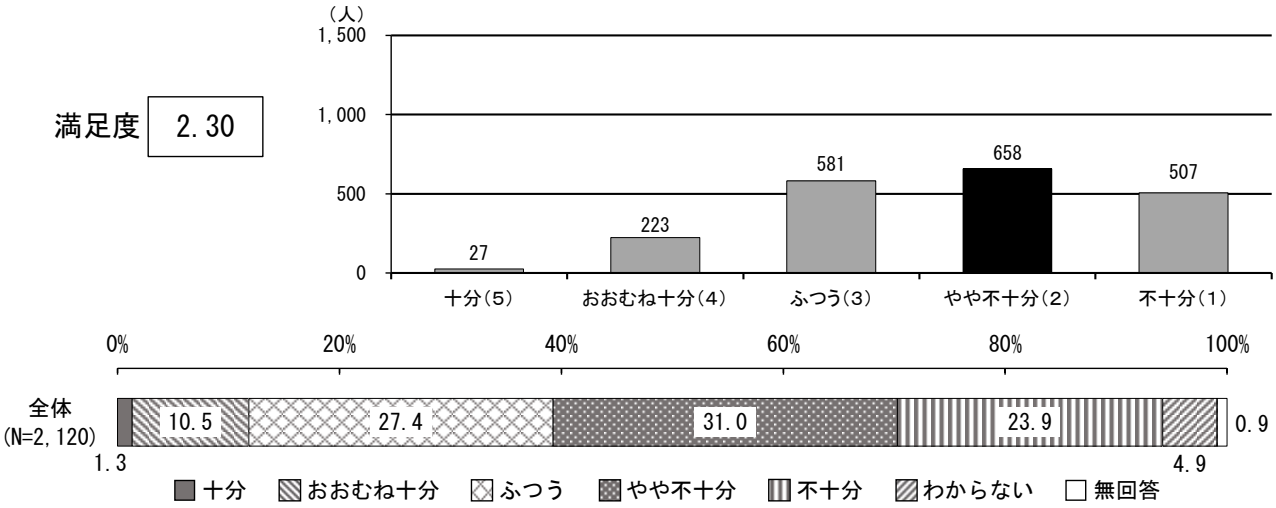
- 農村ビジネスをやっている所があるのは知っているが、その地域が活性化しているようには感じない。（1　不十分／女性／70 歳以上／鹿角地域）
- 「半農半Ｘ」の兼業スタイルの取組をもっと促進すれば更に活性化していくのではないか。（3　ふつう／男性／60 歳代／仙北地域）
- 秋田県の風土や食を生かした多様な取組があると感じている。農山漁村が活性化してはいないが、農家民宿を契機ににぎわいを創造してほしい。（4　おおむね十分／その他／40 歳代／秋田地域）

（３）戦略３　観光・交流戦略について

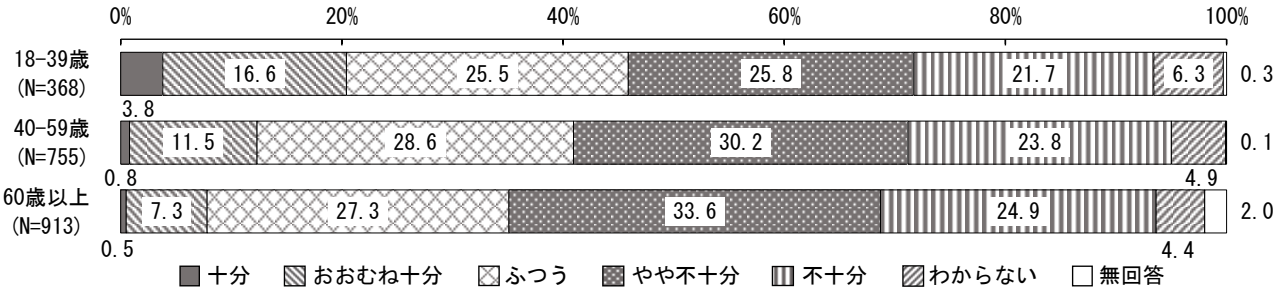
ア　「何度でも訪れたくなるあきた」の創出

問 1-9　秋田の魅力が向上し、国内外から観光誘客が進んでいる。

（ａ）満足度の状況



【年代別】



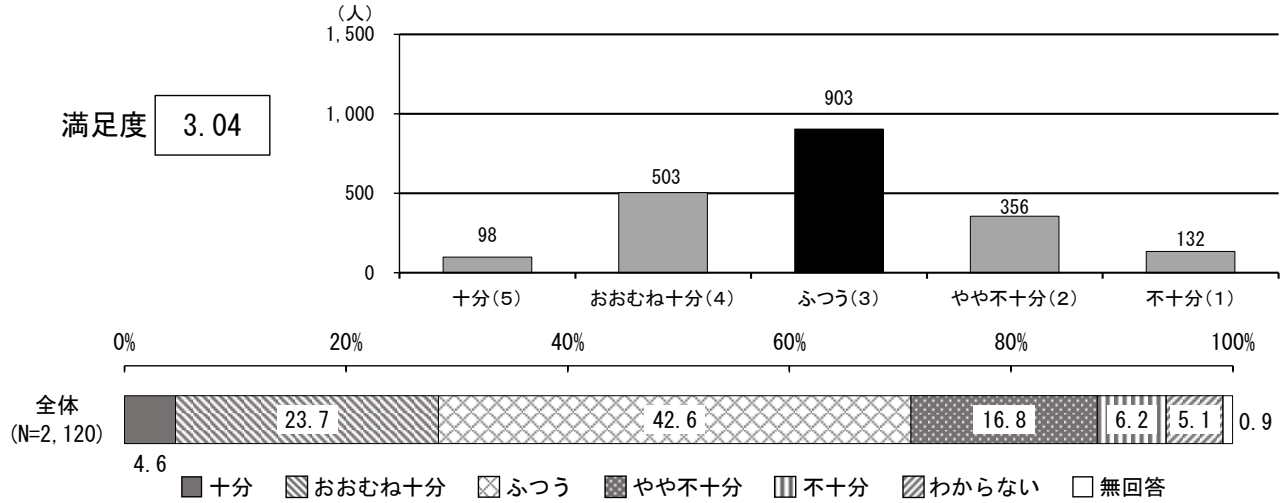
（ｂ）回答の理由

- 魅力は十分にあると思うが、発信力が足りないと感じる。世代別に向けた発信を考えると良いのではないか。（１　不十分／男性／40 歳代／秋田地域）
- 誘客を進めても観光地へのアクセス道路、鉄道、交通機関が不十分であり、また、その場の宿泊施設が少ないと感じるので、それらを準備すべきであると思う。（１　不十分／男性／50 歳代／秋田地域）
- 以前よりもＳＮＳ等の発信で魅力を知ってもらうことが増えたと感じるが、新しい観光スポットや遊ぶ場所等にあまり変化がないため、もっとそういう場所が増えてほしいと思う。（２　やや不十分／女性／20 歳代／由利地域）

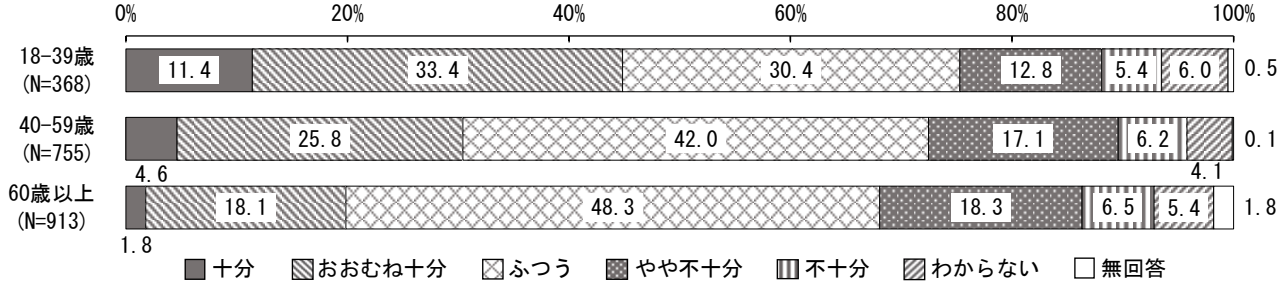
イ　「美酒・美食のあきた」の創造

問 1-10　食品産業が発展し、日本酒や発酵食品など、秋田の食品が盛んに流通している。

（ａ）満足度の状況



【年代別】



（ｂ）回答の理由

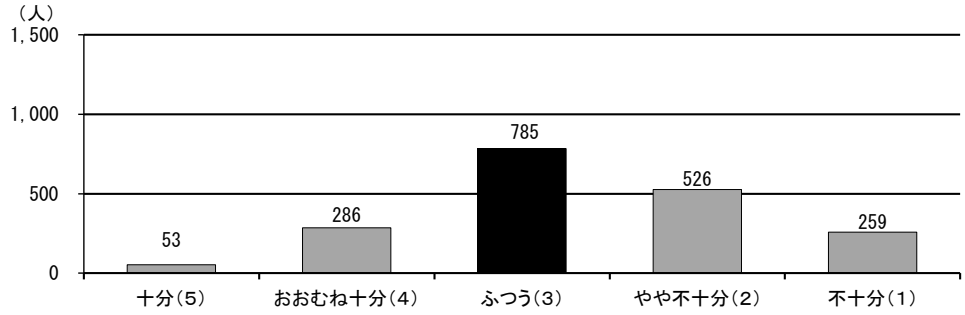
- 秋田らしさ＝発酵文化というイメージはついてきたように感じるが、酒以外の商品力、ブランディングが足りないと感じる。（２　やや不十分／女性／30 歳代／秋田地域）
- 日本酒や発酵食については近年発信力も高くなっているように感じる。発酵食は健康志向の高まりもあることから、今後商流を拡大できると思う。（４　おおむね十分／その他／40 歳代／秋田地域）
- 東京に住んでいた際にも秋田のいぶりがっこ、日本酒、とんぶりを目にする機会が多かった。比内地鶏の流通をもっと増やしてもいいと感じる。（４　おおむね十分／男性／20 歳代／鹿角地域）

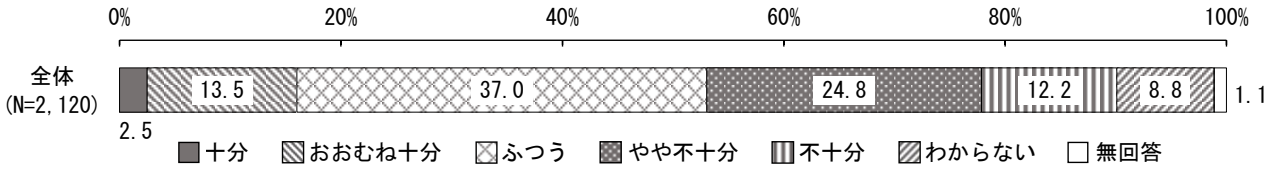
ウ　文化芸術の力による魅力ある地域の創生

問 1-11　国内外に秋田の文化芸術の魅力が伝えられている。

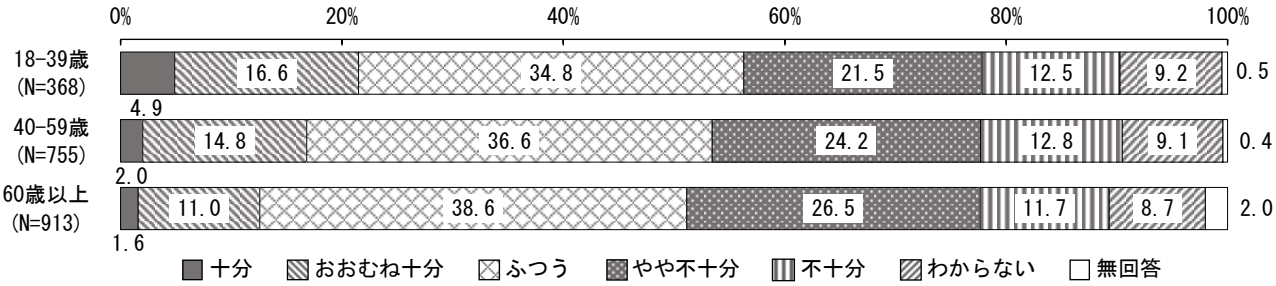
（ａ）満足度の状況

満足度　2.66





【年代別】



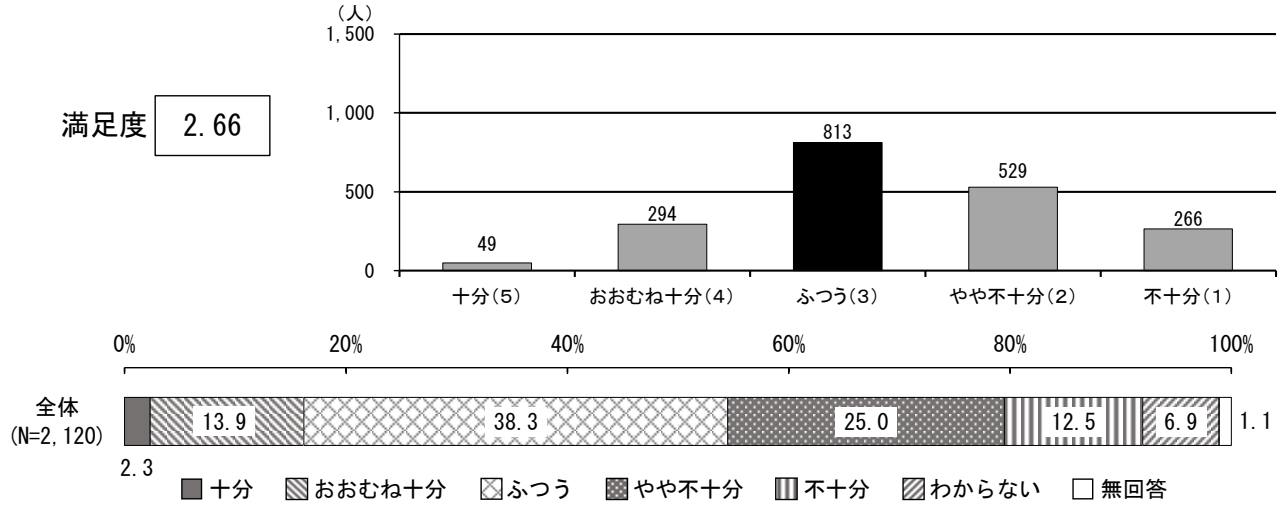
（ｂ）回答の理由

- 祭りは有名だと思うが、それ以外の文化芸術を秋田に見に来る方はまだまだ少ないと思う。（２　やや不十分／女性／40 歳代／秋田地域）
- ミルハスや文化創造館周辺の運営、文化芸術を推し進める取組は評価するが、興味が引かれ行きたいと思えるイベントが増えてほしいと感じる。（３　ふつう／女性／20 歳代／秋田地域）
- 秋田の文化が国内外に伝えられているかはわからないが、文化芸術に関する催しの来場者数は増えていると感じる。（４　おおむね十分／男性／20 歳代／北秋田地域）

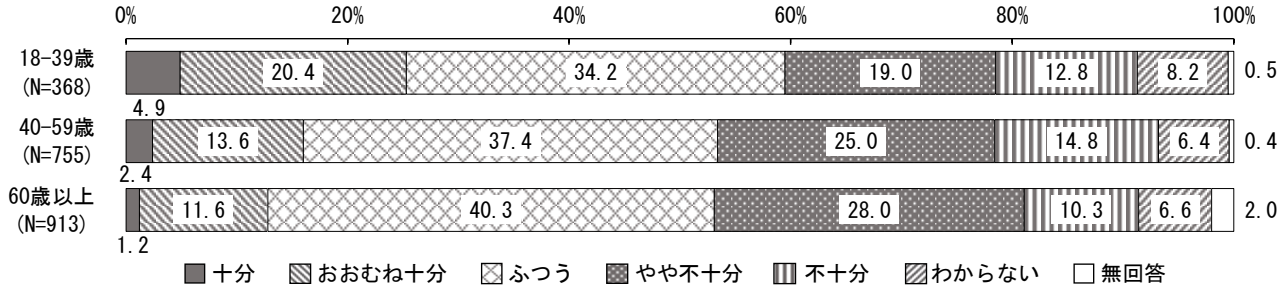
エ　活気あふれる「スポーツ立県あきた」の実現

問 1-12　スポーツを通じて地域に活力とにぎわいがもたらされている。

（ａ）満足度の状況



【年代別】



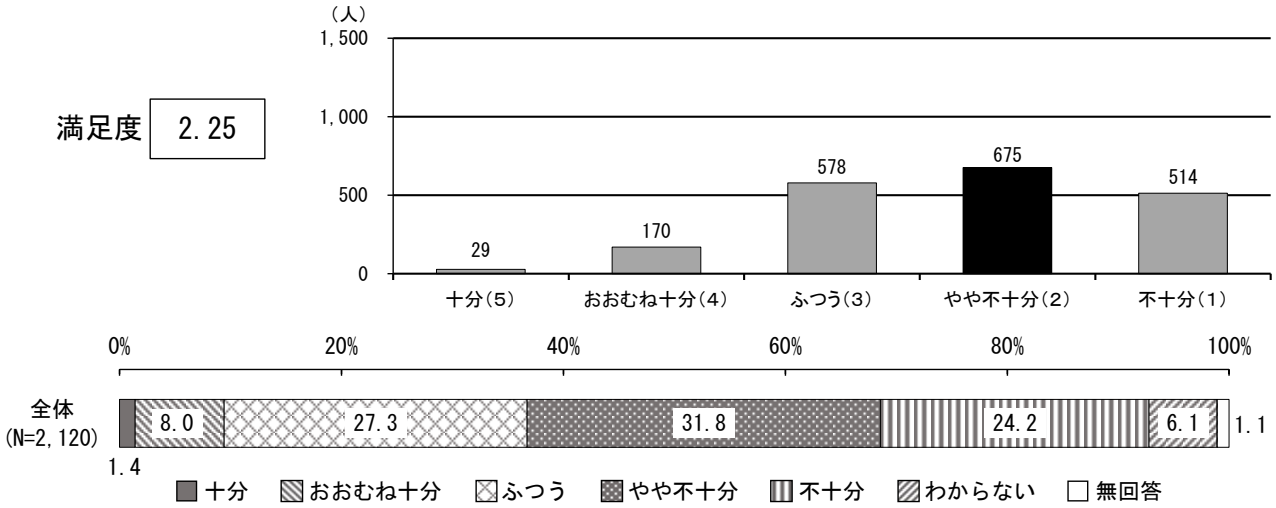
（ｂ）回答の理由

- 定期的・日常的に県民（市民）参加型のスポーツイベントが有り、気軽に参加できれば良いと思う。（２　やや不十分／女性／60 歳代／秋田地域）
- サッカーやバスケの観戦が好きな一部の方は盛り上がりを見せているが、普段スポーツをしない一般人が取り組めるスポーツ体験の場が少ないと感じる。（３　ふつう／女性／20 歳代／秋田地域）
- パラスポーツ、ｅスポーツの普及によりスポーツは全ての人が楽しめるものとなった。ツーリズムと合わせ、さまざまな交流の機会を創出して地域経済の活性化につなげてほしい。（３　ふつう／男性／50 歳代／北秋田地域）

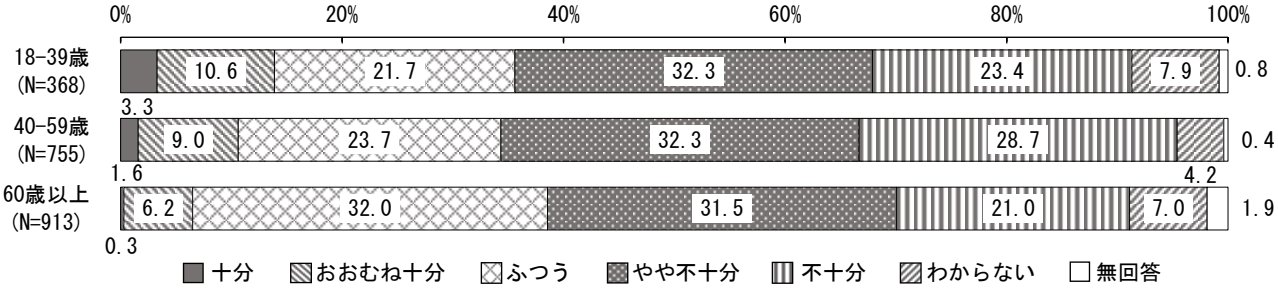
オ　国内外との交流と住民の暮らしを支える交通ネットワークの構築

問 1-13　国内外との交流を支える高速広域交通や、日々の暮らしを支える地域交通の整備が進んでいる。

（ａ）満足度の状況



【年代別】



（ｂ）回答の理由

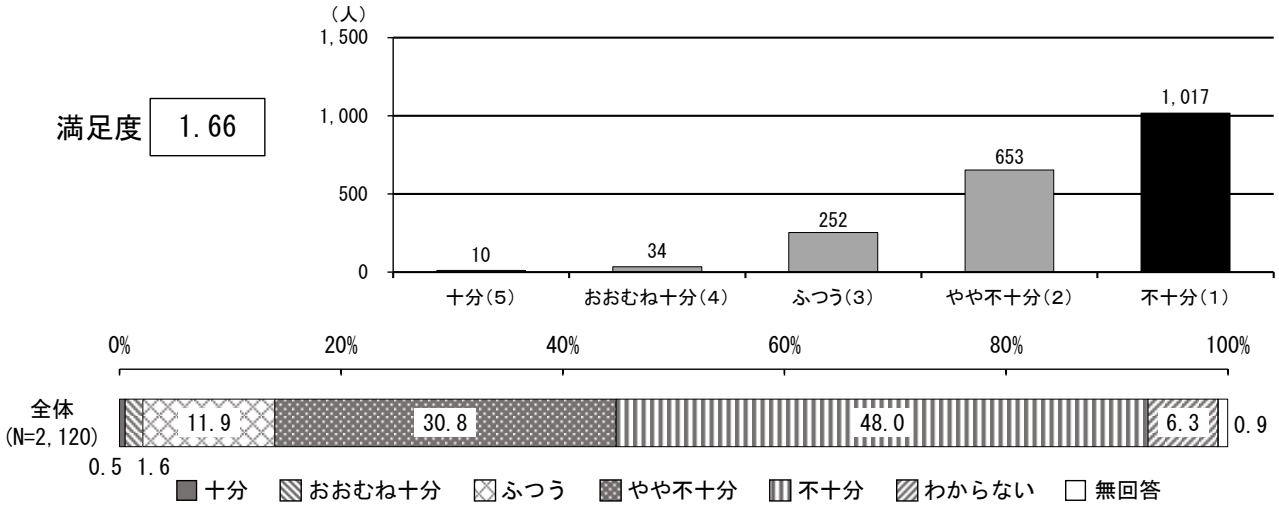
- 秋田市は十分かもしれないが、中心部から離れた地域ではバスや電車の本数も少なく、地域交通の整備が進んでいるとは考えにくい。（２　やや不十分／男性／40 歳代／北秋田地域）
- 高速道路の整備は進んできていると思うが、渋滞緩和の為の交通整備にも力を入れてほしい。（３　ふつう／男性／30 歳代／秋田地域）
- 新たな高速道路が整備されている所もあり、交通網は整っていると感じる。高速道路の使用料金がもっと安ければ使用率も上がるのではないか。（４　おおむね十分／女性／20 歳代／仙北地域）

（４）戦略４　未来創造・地域社会戦略について

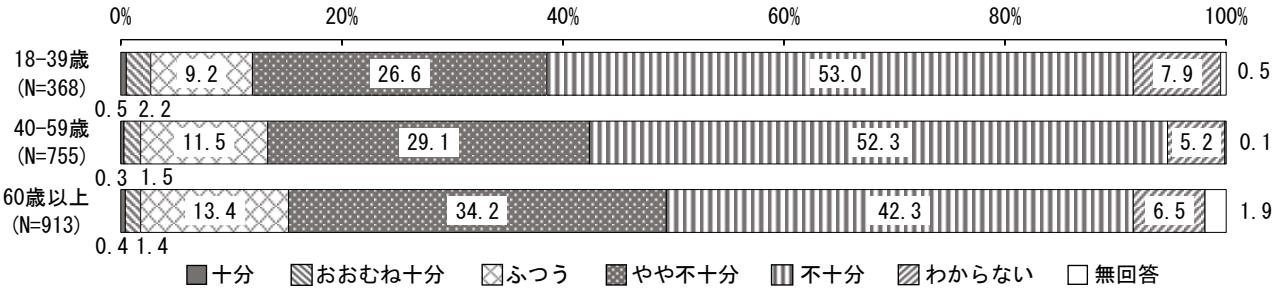
ア　新たな人の流れの創出

問 1-14　秋田への移住者が増加するほか、若者の県内定着・回帰が進んでいる。

（ａ）満足度の状況



【年代別】



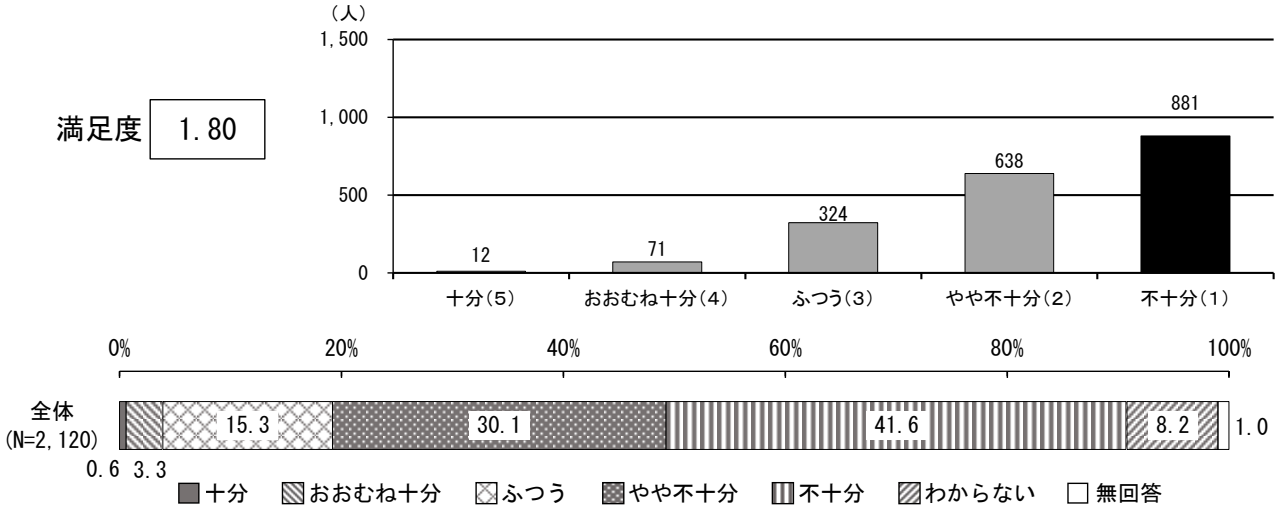
（ｂ）回答の理由

- 給料も低いため生活が苦しく、就職する企業も少ない。また、遊ぶ所も少ないと感じる。子育て中だが、公園や室内で遊べる施設も少ないので、子ども達は県外に行くことを考えてしまっている。（１　不十分／女性／40 歳代／雄勝地域）
- 秋田県内の若者は活躍すればするほど、新たな挑戦を求めて首都圏に行く状況であると感じる。県内に新たな挑戦ができる土壌が少ないのではないか。（２　やや不十分／男性／50 歳代／秋田地域）
- 若者が勤めたいと思える職業があまりないため、県外へ進学し、そのまま秋田県以外で就職するケースが非常に多いと感じる。（２　やや不十分／女性／20 歳代／秋田地域）

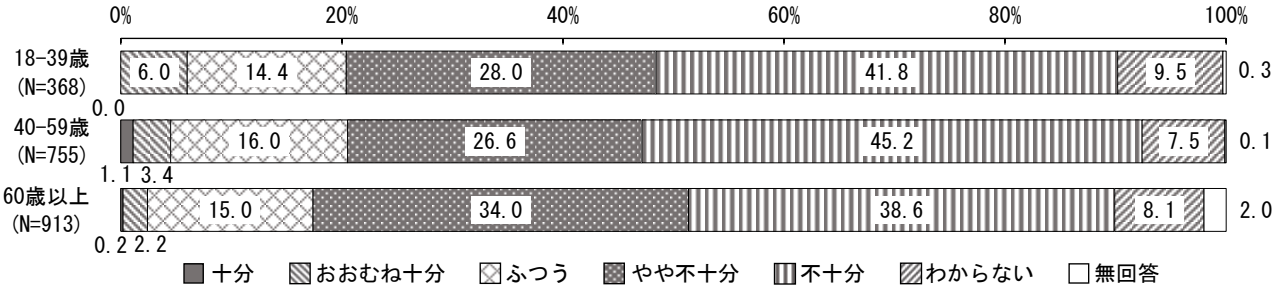
イ　結婚・出産・子育ての希望がかなう社会の実現

問 1-15　結婚・出産・子育ての希望がかなう環境づくりが進んでいる。

（ａ）満足度の状況



【年代別】



（ｂ）回答の理由

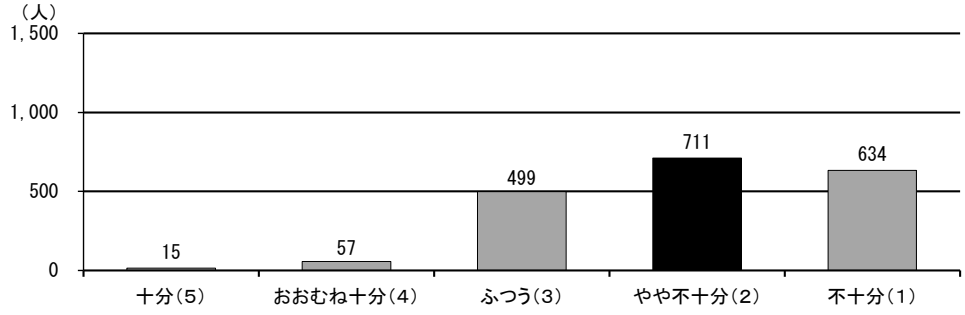
- 全国一子育てがしやすい県を目指してほしい。そうすれば若者も定着しやすいだろうし、他県からも流れてきたり、出て行った人も戻ってくるかもしれないと考える。（1　不十分／男性／20 歳代／秋田地域）
- 結婚、出産、子育ての希望を持つ前に「仕事」と「安定した給料」を求めるのではないだろうか。その環境が整備されておらず、安心して生活できていないと感じる。（1　不十分／女性／40 歳代／北秋田地域）
- 出生数が少ないのは残念だが、職場の理解が良くなってきたと思う。また、子育てを地域で支援する体制もできつつあると感じる。（4　おおむね十分／女性／60 歳代／由利地域）

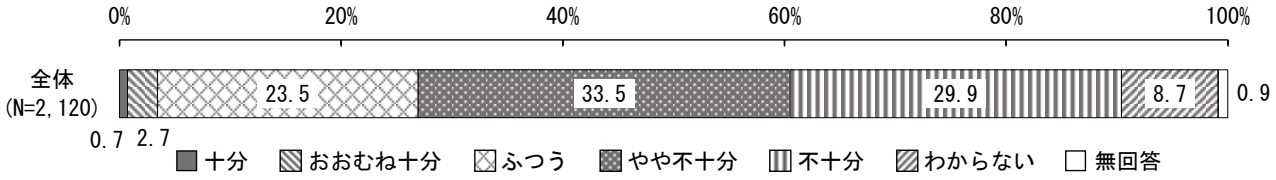
ウ　女性・若者が活躍できる社会の実現

問 1-16　女性や若者が、個性や能力を発揮して活躍できる環境づくりが進んでいる。

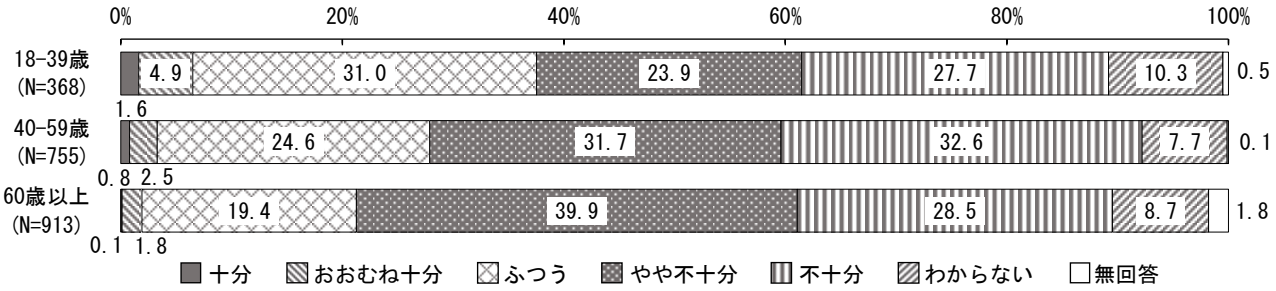
（ａ）満足度の状況

満足度　2.01





【年代別】



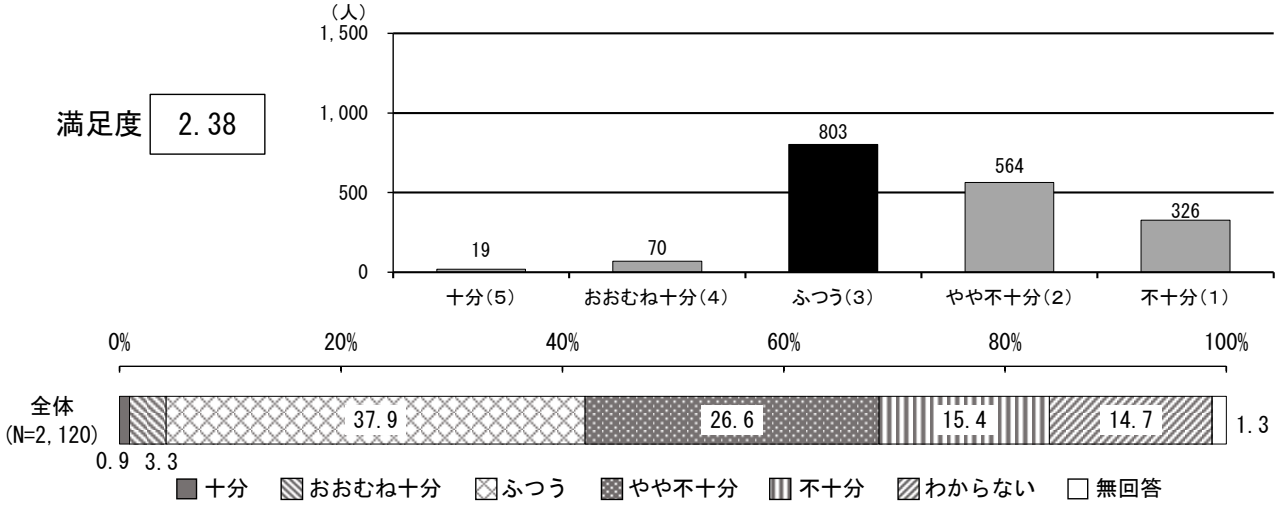
（ｂ）回答の理由

- 能力を発揮して活躍しても、給料が少ないと女性や若者はいなくなってしまうと思う。（1 不十分／女性／60 歳代／秋田地域）
- まだまだ女性差別があると感じる。男女平等の社会に向けた県民意識をどのように理解して実践していくかは、一人ひとり（県民自身）が勉強しなければならない。（1　不十分／男性／70 歳以上／秋田地域）
- 新しいものを排除する雰囲気、新しいものに挑戦できない雰囲気、現状維持を選んでしまうという空気感は様々な創造を阻害していると感じる。新知事になり、その弊害を突破することを期待している。（3　ふつう／女性／20 歳代／仙北地域）

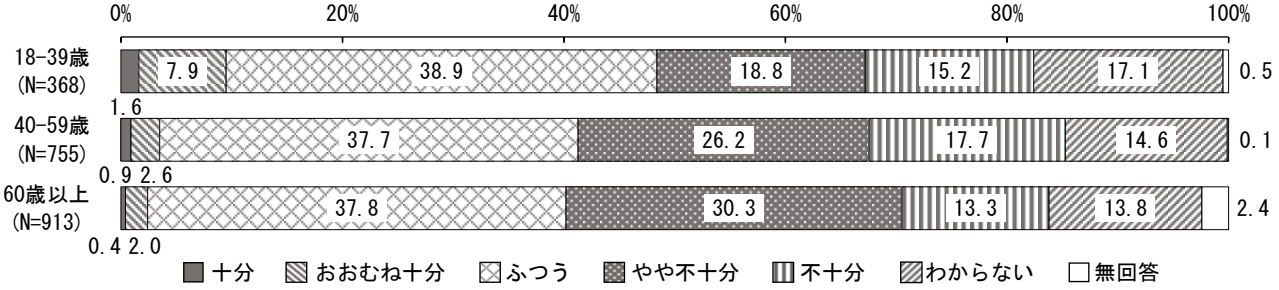
エ　変革する時代に対応した地域社会の構築

問 1-17　多様な主体による協働等を通じて、安心して生活できる地域社会づくりが行われている。

（ａ）満足度の状況



【年代別】



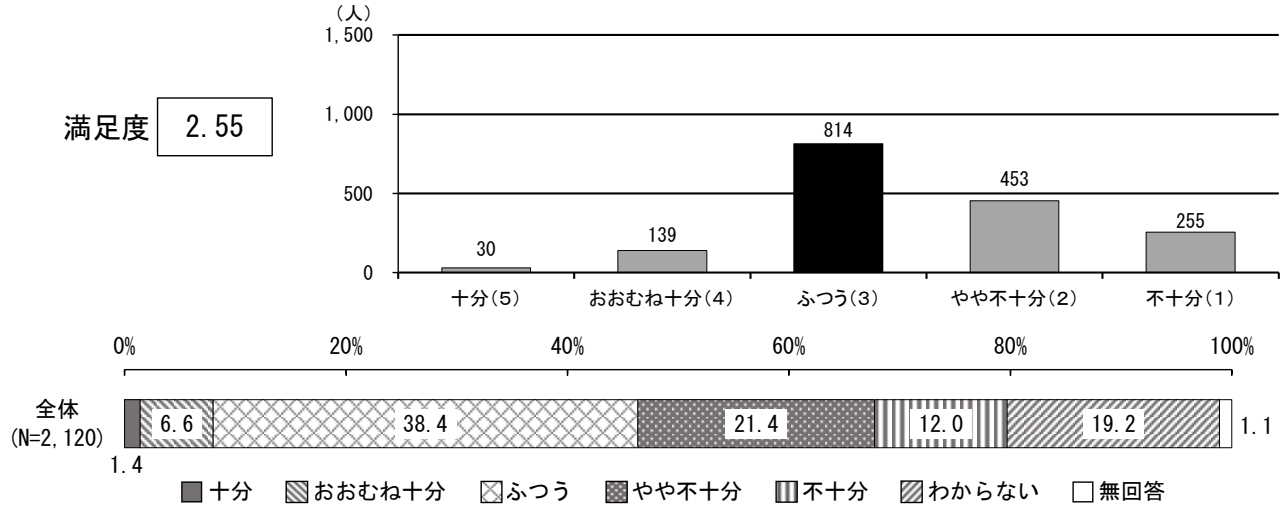
（ｂ）回答の理由

- 町内会が組織されない新興住宅地や限界集落など、地域社会づくりは高齢化や若年人口の減少、価値観の多様化とあいまってますます困難になってきていると感じる。（1　不十分／女性／60 歳代／秋田地域）
- 地域社会で生活する一住民として地域コミュニティの希薄さが顕著であると感じている。特に町内会活動では若い人が役員になりたがらず、高齢者ばかりの役員体制になっていることから、活動は低調である。（2　やや不十分／男性／70 歳以上／秋田地域）
- 都会に比べて、人と人とのつながりがある分、安心して暮らせる地域が実現していると思う。（3　ふつう／男性／50 歳代／北秋田地域）

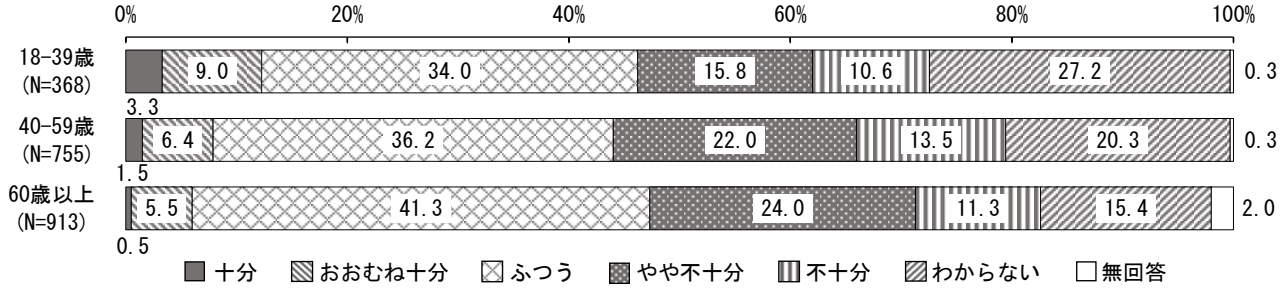
オ　脱炭素の実現を目指す地域社会の形成

問 1-18　地域住民、事業者、行政等が連携して、地球温暖化対策に取り組んでいる。

（ａ）満足度の状況



【年代別】



（ｂ）回答の理由

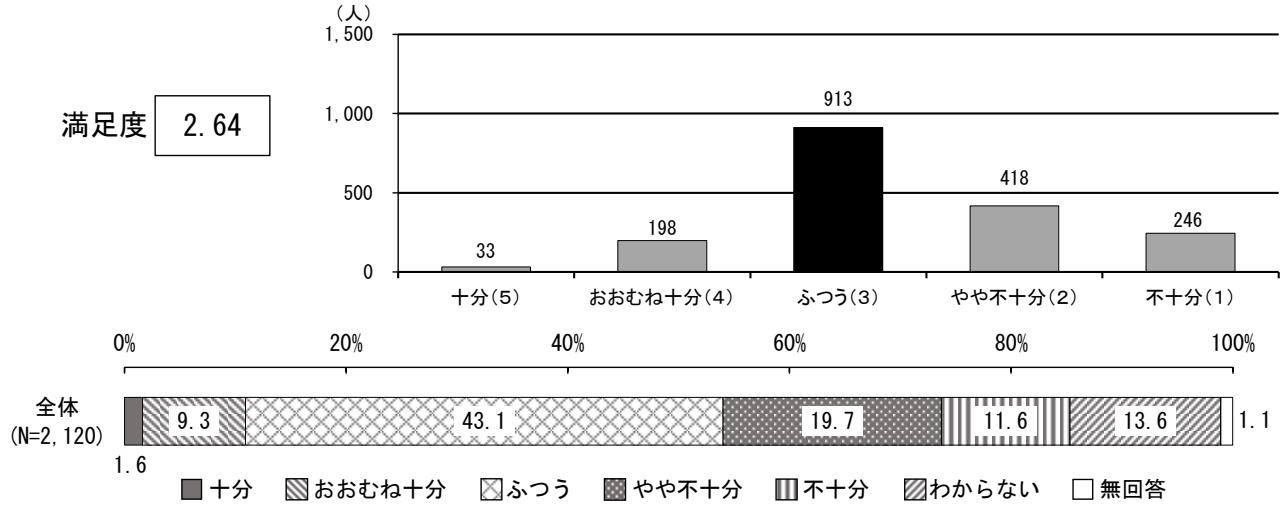
- 本当に地球温暖化対策の効果が出ているのか疑問に感じる。取組も我々には見えてこない。（１　不十分／女性／20 歳代／仙北地域）
- 地球温暖化への危機感が不足していると感じる。子孫にどんな影響を与えるのか、もっと啓蒙活動する必要があるのではないか。（１　不十分／女性／70 歳以上／平鹿地域）
- ゴミの分別やリサイクル店での回収等、できる事はやっていると思う。専門家の指導の元、更に対策に力を入れてもらいたい。（４　おおむね十分／女性／60 歳代／仙北地域）

カ　行政サービスの向上

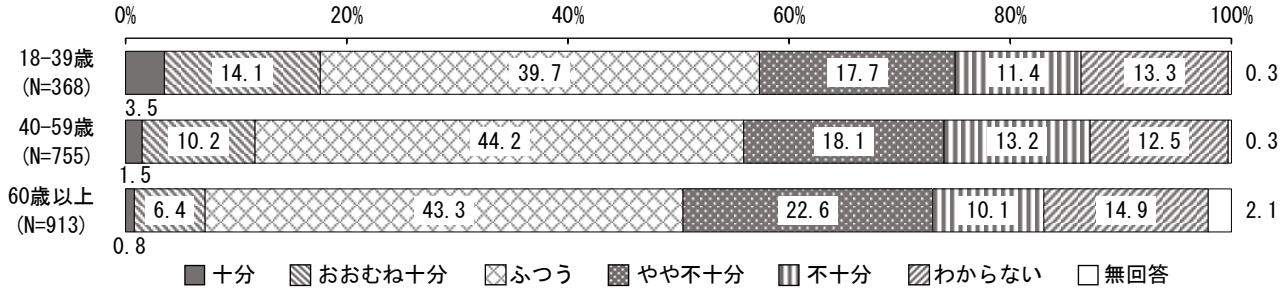
問 1-19　デジタル化の推進等により充実した行政サービスが提供されている。

（ａ）満足度の状況

満足度　2.64



【年代別】



（ｂ）回答の理由

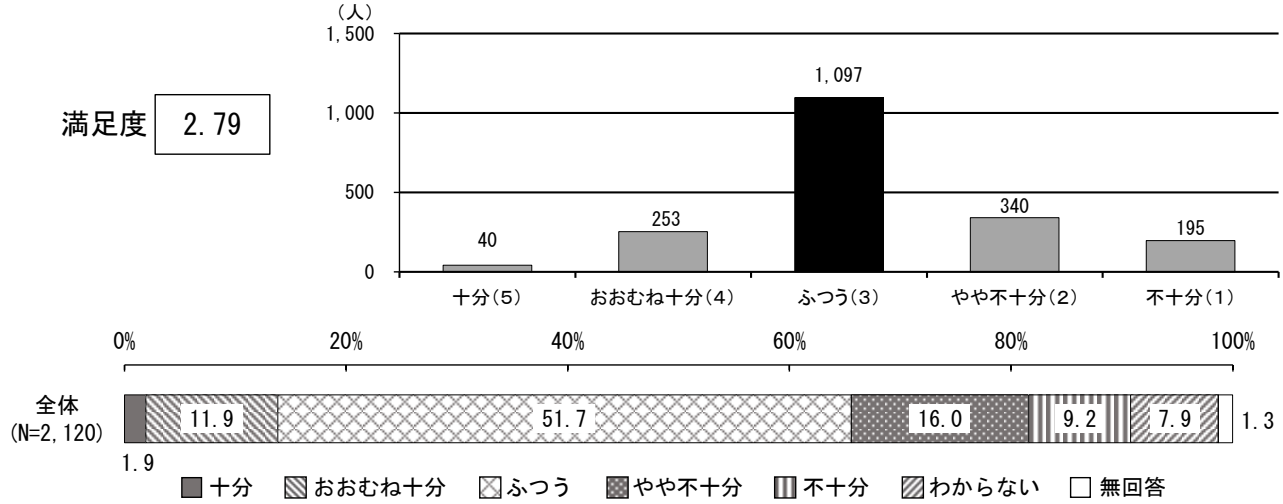
- デジタル化では便利になった面もあるが、逆に不便さも感じる。（1　不十分／男性／40 歳代／仙北地域）
- デジタルを不得手とする高齢の方にも対応しているサービスを提供していただきたい。デジタル推進するのはよいが、過敏症でスマホを触れない人もいる。なんでもデジタルがいい訳ではないと思う。（3　ふつう／女性／20 歳代／由利地域）
- 過疎だからこそデジタル化は重要であり、オンライン化が進めば都市一極集中にしなくてもよくなると考える。デジタル先進地域になって人材を呼び込むべきと感じる。（4　おおむね十分／男性／40 歳代／仙北地域）

（５）戦略５　健康・医療・福祉戦略について

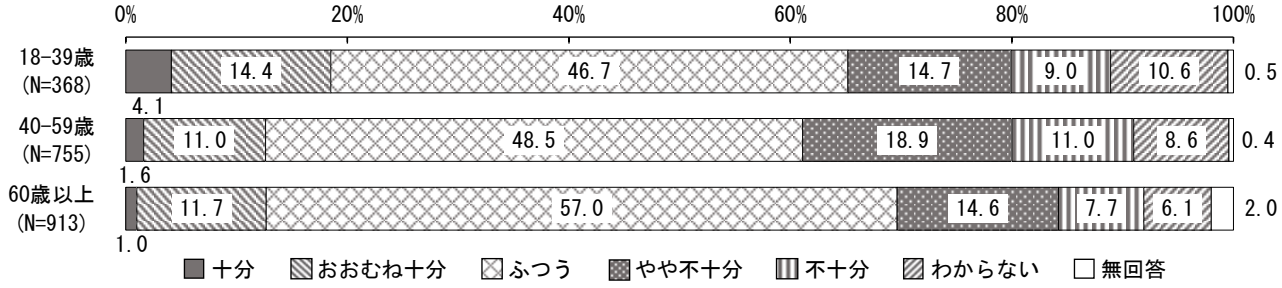
ア　健康寿命日本一の実現

問 1-20　県民の健康づくりに取り組む意識が高まり、元気に生活している。

（ａ）満足度の状況



【年代別】



（ｂ）回答の理由

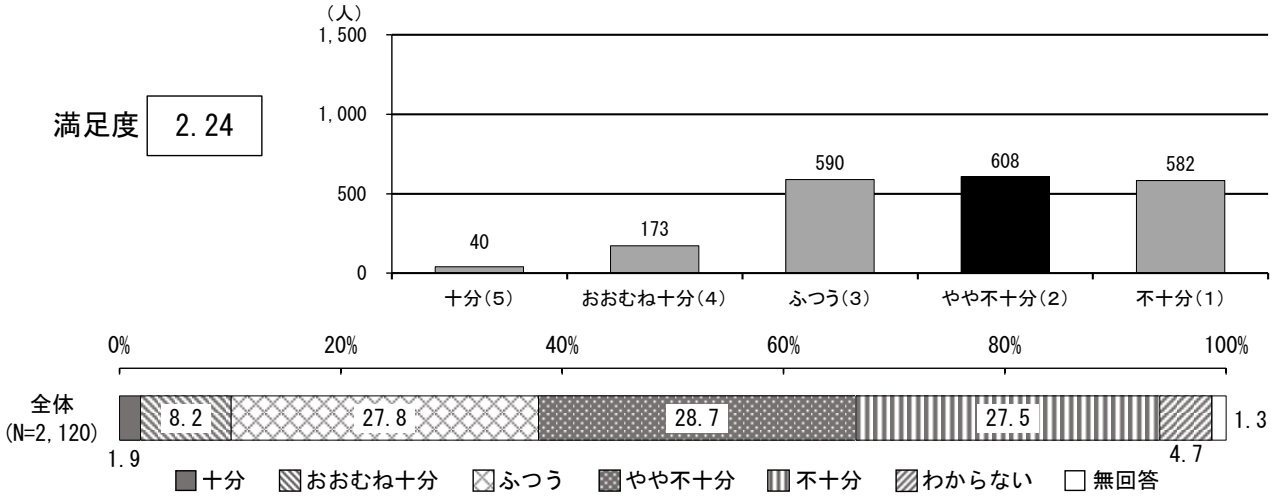
- 小・中学生を対象としたがん教育はそれなりに実施されているが、健康づくり県民運動の推進や健康に資する様々な啓発活動は更に充実していただきたい。（２　やや不十分／女性／60 歳代／秋田地域）
- 秋田県民は濃い味を好むと言われているが、一人ひとりが意識をして食生活に気を付けないと、健康寿命は短いままだと思う。作る側が気を遣って薄味にしても、食べる側は調味料を足してしまうので意味がない。（２　やや不十分／女性／30 歳代／仙北地域）
- 以前よりは健康意識が高まってきていると思うが、塩分の摂りすぎや甘味を好む県民性があるのでより一層課題を示し改善する必要があると感じる。（３　ふつう／女性／20 歳代／雄勝地域）

イ　安心で質の高い医療の提供

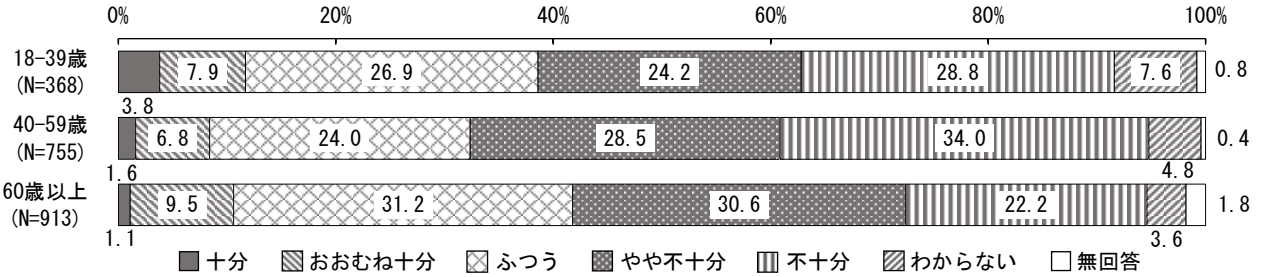
問 1-21　どこに住んでいても、必要な医療を受けられる体制が整っている。

（ａ）満足度の状況

満足度　2.24



【年代別】



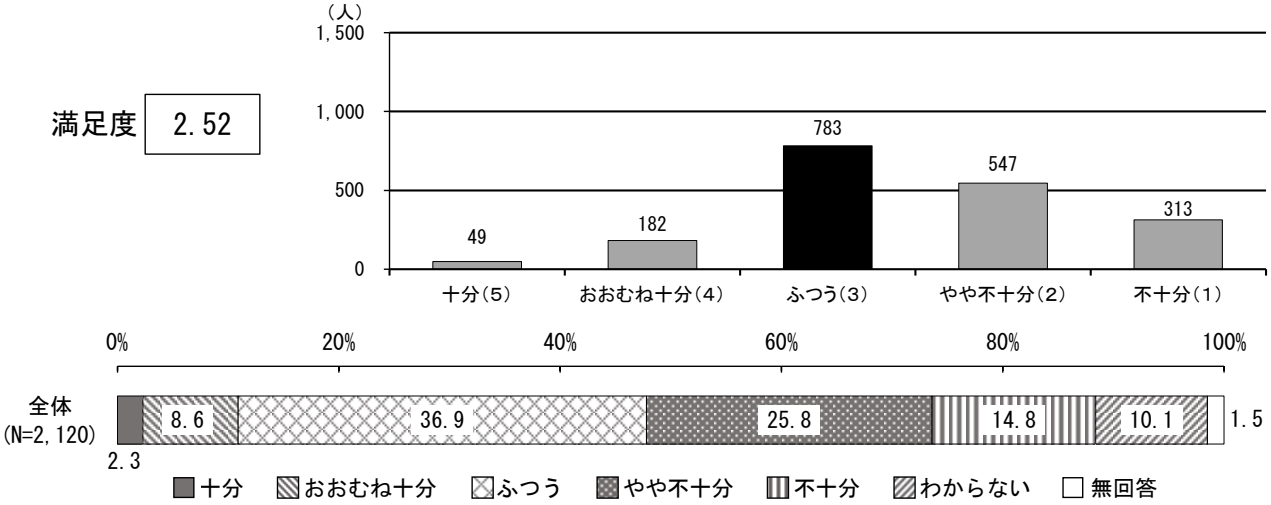
（ｂ）回答の理由

- 高度な医療は、秋田の大学病院に紹介されることが多く、秋田市以外の地域の人はとても不便だと感じる。（１　不十分／女性／50 歳代／仙北地域）
- 県都に医師が偏在しており、特に地方では小児科医や産婦人科医の不足により、里帰り出産ができない状態である。（１　不十分／女性／70 歳以上／北秋田地域）
- 田沢湖に在住していたときに、産婦人科がないので角館まで通い秋田市で出産した。近くにないのは不安が大きかった。（２　やや不十分／女性／30 歳代／秋田地域）

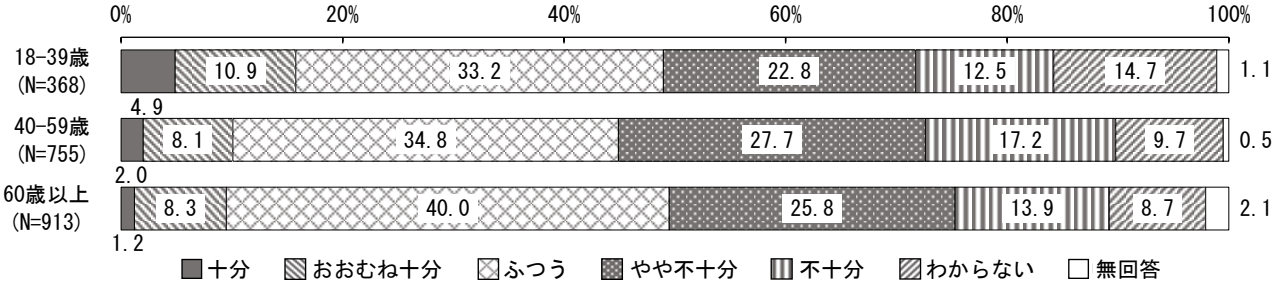
ウ　高齢者と障害者の暮らしを支える体制の強化

問 1-22　高齢者や障害のある方が、必要なサービスや支援を受けながら、住み慣れた地域で安心して生活している。

（ａ）満足度の状況



【年代別】



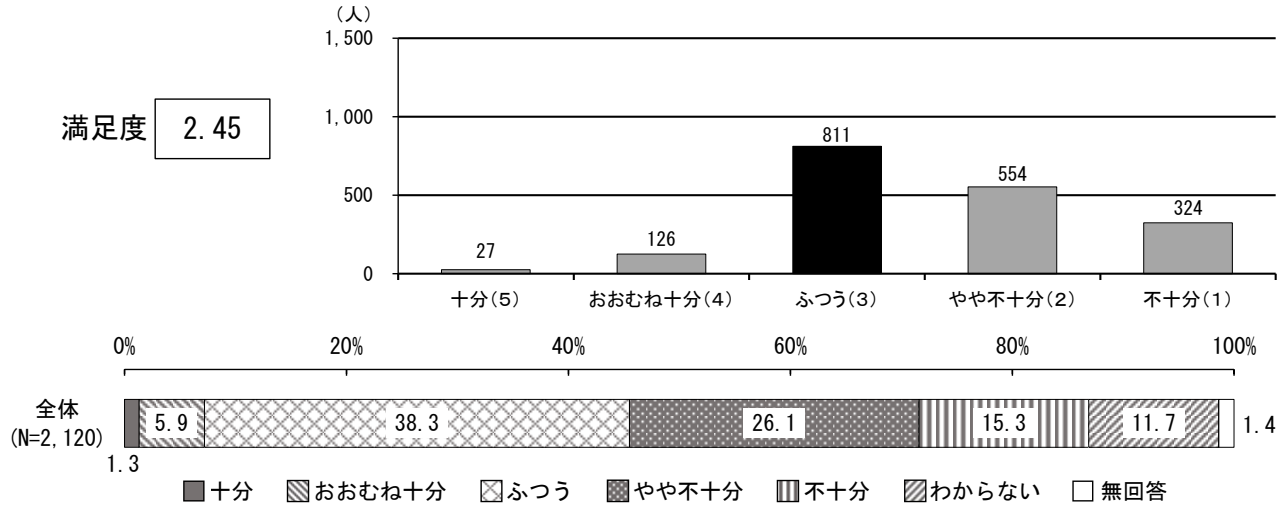
（ｂ）回答の理由

- 福祉のお仕事に従事している方には頭が下がるし、介護サービスもいろいろある事は知っているが、利用するまでの手続きに時間がかかると感じる。（１　不十分／女性／60 歳代／仙北地域）
- 介護職員の処遇はやはり厳しいものがあると思う。夜勤で16 時間勤務というところも聞いたことがあるが、それに見合った給与体系なのかが懸念される。（２　やや不十分／男性／40 歳代／秋田地域）
- 将来必要な介護サービスが受けられるのか不安を感じる。外国人の受け入れやＡＩの導入など進めてもよいのではないか。（２　やや不十分／女性／60 歳代／秋田地域）

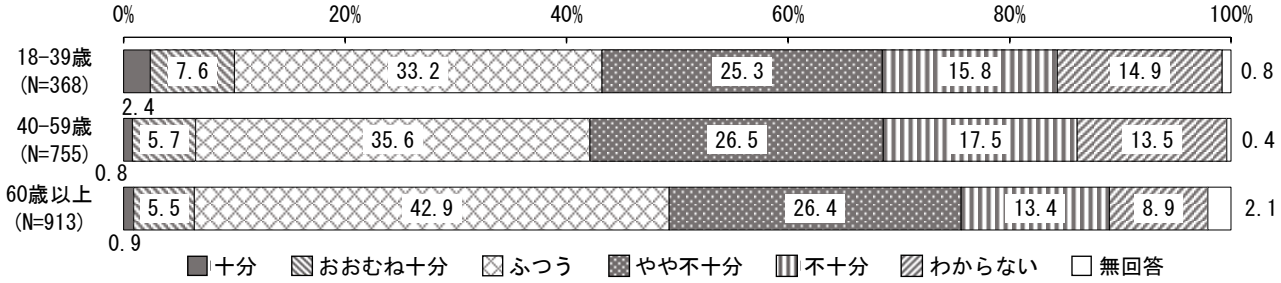
エ　誰もが安全・安心を実感できる地域共生社会の実現

問 1-23　相談体制や支援の充実により、地域や社会から孤立することなく、安心して生活できる社会づくりが進んでいる。

（ａ）満足度の状況



【年代別】



（ｂ）回答の理由

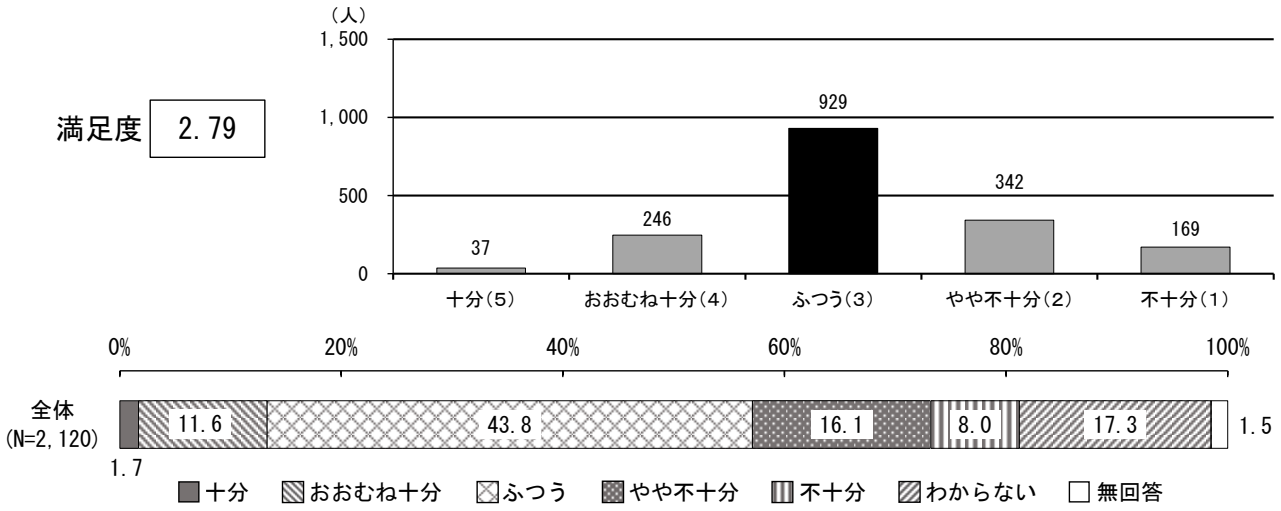
- 相談するのに抵抗がある人が多数だと思う。その時代によって風潮が違うので難しいが、人に触れられたくないことを話すのは容易ではないのではないか。（１　不十分／女性／40歳代／秋田地域）
- 相談体制や支援についてもっと周知すべきと感じる。自ら調べないと利用できない制度など、縦割り行政でなく横にも斜めにも広がりをもつ行政であってほしい。情報弱者が孤立しているように感じる。（２　やや不十分／女性／40歳代／北秋田地域）
- どんな状況でも「相談しよう」と思えないほど追いつめられている。その前に気づき手をさしのべることができれば、孤立も孤独もなくなるのではないか。何ごとも「今」のタイミングが必要。せっかく相談しても、「明日」になっては手遅れになってしまう。（２　やや不十分／その他／10歳代／秋田地域）

（６）戦略６　教育・人づくり戦略について

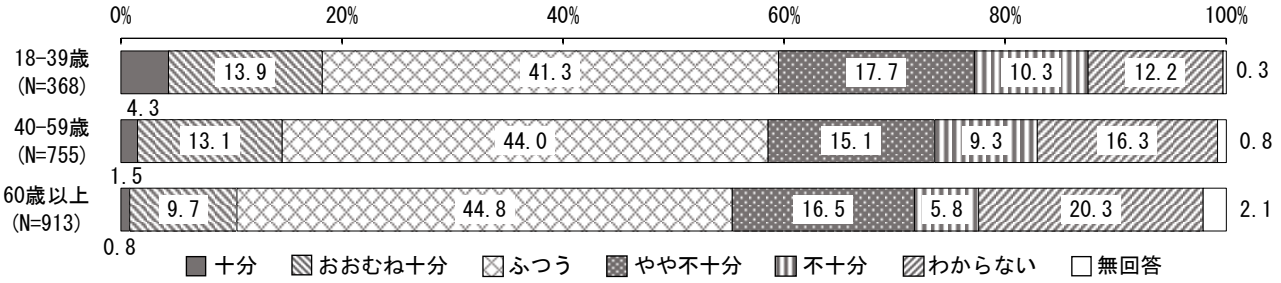
ア　秋田の将来を支える高い志にあふれる人材の育成

問 1-24　学校教育を通じて、ふるさとを愛し、社会で活躍しようとする心が育まれている。

（ａ）満足度の状況



【年代別】



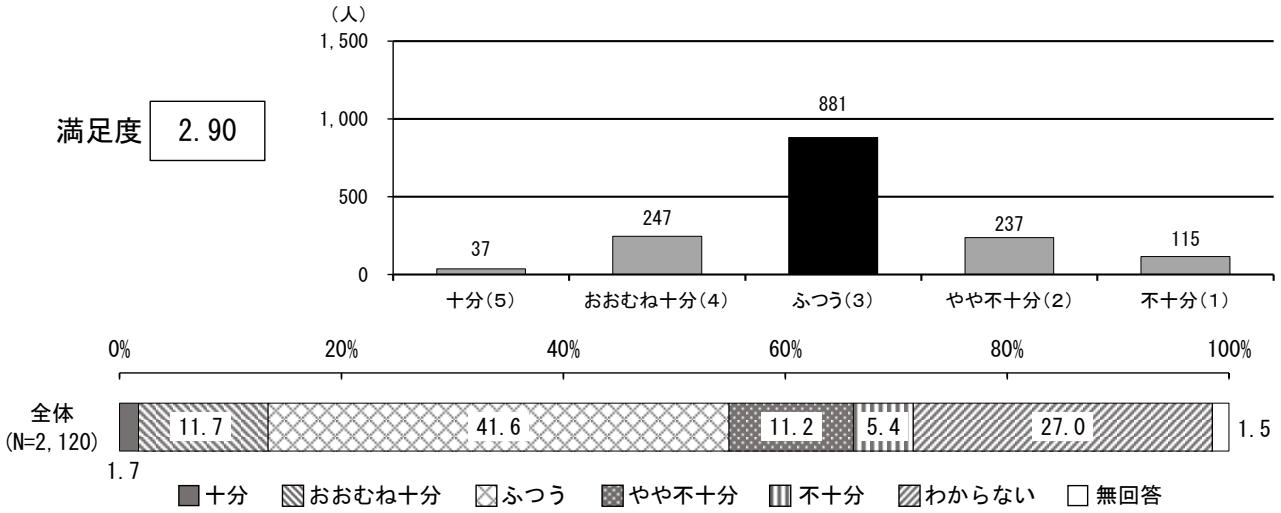
（ｂ）回答の理由

- 毎日児童と関わる学校関係者だからこそ、心の余裕、健康な身体、豊かな経験が必要。学校関係者が仕事以外に趣味や楽しみを持ち、人間として生き生きできることが、子どもたちにとっても良い教育につながると考える。（２　やや不十分／女性／40 歳代／仙北地域）
- 一度秋田を離れてから秋田の良さに気づいたので、学校教育で魅力を発信してほしい。（２　やや不十分／男性／20 歳代／鹿角地域）
- ふるさとを愛する心や、仕事をして自立していくことの大切さを育てるのは学校なのだろうか。学校の中で育てられることもあるだろうが、親や身近な人との会話やつながりの中で育てられるのではないかと感じる。（３　ふつう／女性／60 歳代／仙北地域）

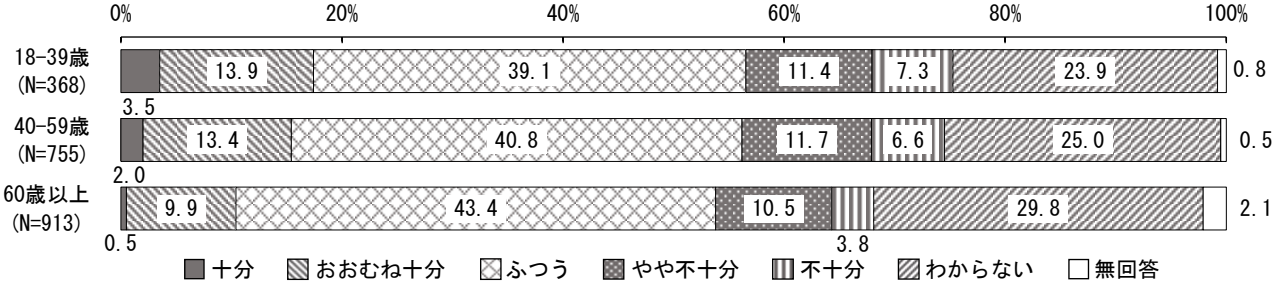
イ　確かな学力の育成

問 1-25　学校教育を通じて、ＩＣＴを効果的に活用しながら、自ら考え、判断し、表現する力が育まれている。

（ａ）満足度の状況



【年代別】



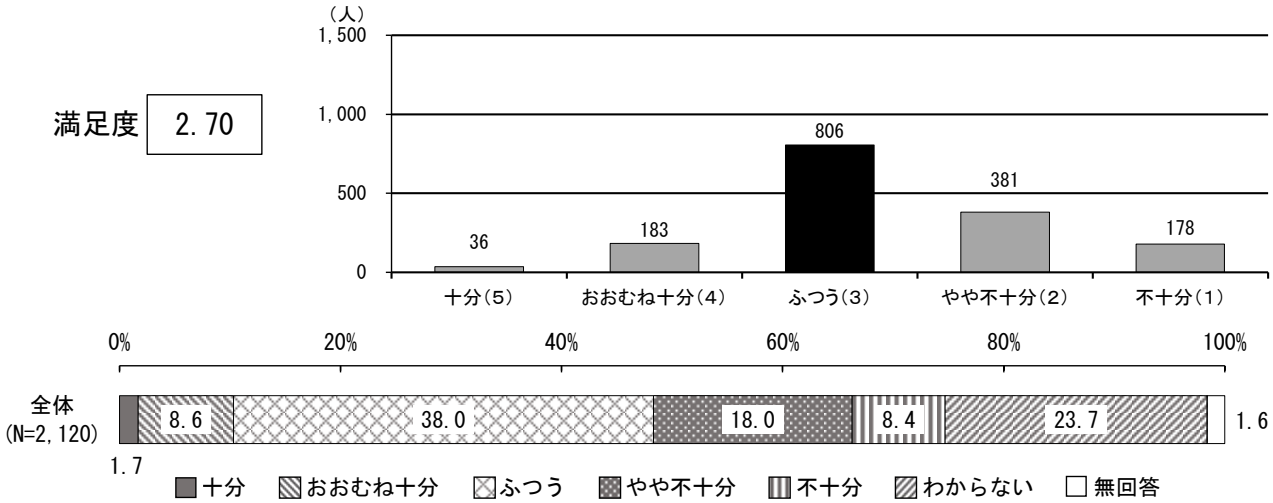
（ｂ）回答の理由

- 教育関係者だが、ＧＩＧＡスクール構想が出てからかなり進化したと感じる。今の教育現場ではどのような学び方をしているのか、教育に関わっていない層にも知ってほしい。（２やや不十分／女性／20 歳代／仙北地域）
- 首都圏に住む甥や姪の話を聞くとタブレットを毎日持ち帰り、タブレットで宿題をしているという話を聞いている。せっかく１人１台タブレットを持っているのでもっと活用できるのではと感じる。（２　やや不十分／女性／40 歳代／秋田地域）
- ＩＣＴなどの活用は、在学中の教育も必要ではあるが、進化し続けていることを考慮し、社会人となっても学び続けられるようなシステムを作ってほしい。（Ｎ　わからない／女性／70 歳以上／秋田地域）

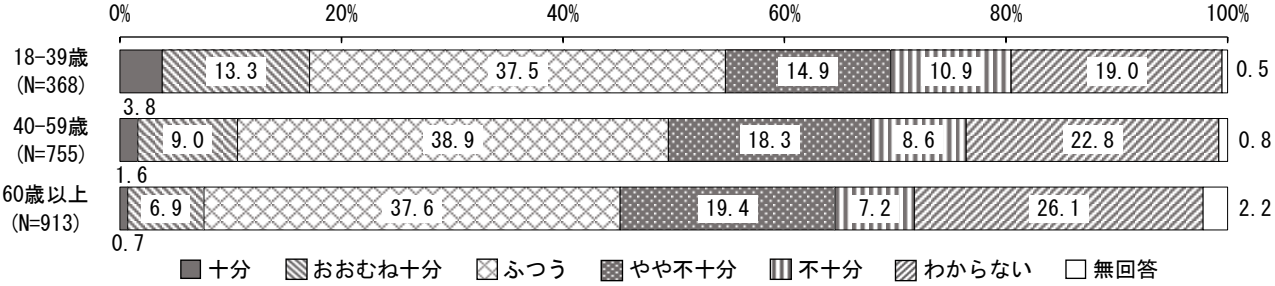
ウ　グローバル社会で活躍できる人材の育成

問 1-26　学校教育を通じて、外国文化を理解しようとする態度や、英語でコミュニケーションができる能力が育まれている。

（ａ）満足度の状況



【年代別】



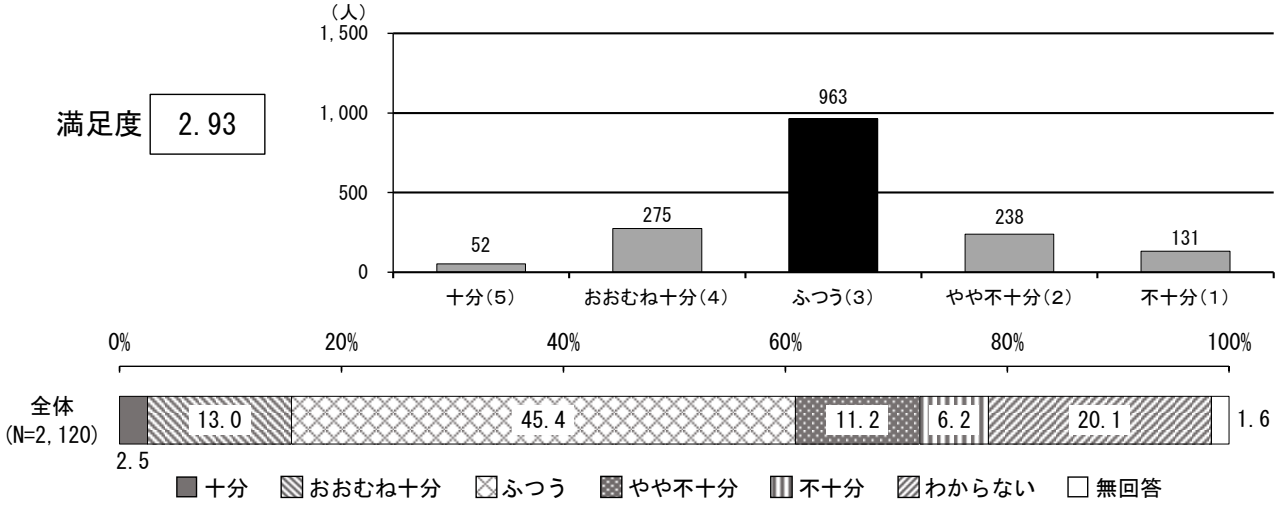
（ｂ）回答の理由

- 日本全体の英語教育の課題だが、英語を学んでも使えるレベルになっていないと感じる。学校に「英語デー」を設けて、友だちとの会話をできるだけ英語でするなどしてみてはどうか。（３　ふつう／男性／50 歳代／秋田地域）
- ＡＬＴの先生の出身国の文化や生活を教えてもらい、子どもたちが興味を示して授業を楽しんでいる。慣れない環境で頑張ってくれているＡＬＴの先生方にもっと親身に秋田の暮らし方や食文化を教えてあげたり、生活で困った事はないか気持ちに寄り添ってあげるなどしてあげてほしい。（４　おおむね十分／女性／40 歳代／仙北地域）
- 小学校の時から英語の授業を取り入れることで、中学、高校での学びにも良い影響を与えられていると感じる。（４　おおむね十分／女性／20 歳代／雄勝地域）

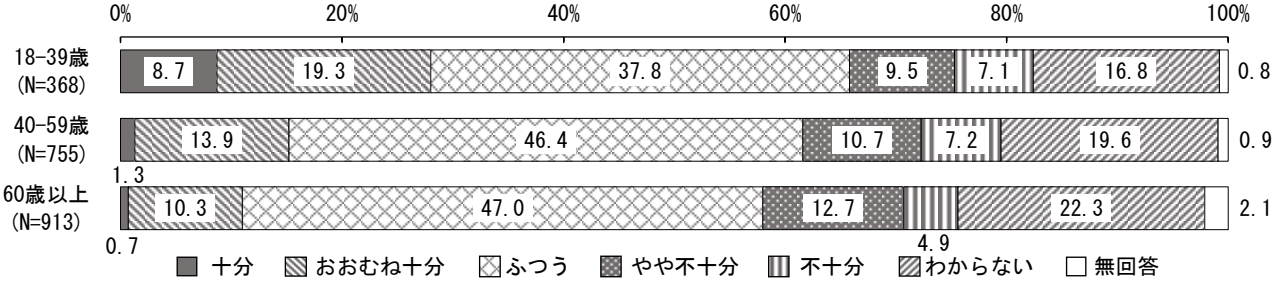
エ　豊かな心と健やかな体の育成

問 1-27　学校教育を通じて、他人への思いやりなどの豊かな心や健やかな体が育まれている。

（ａ）満足度の状況



【年代別】



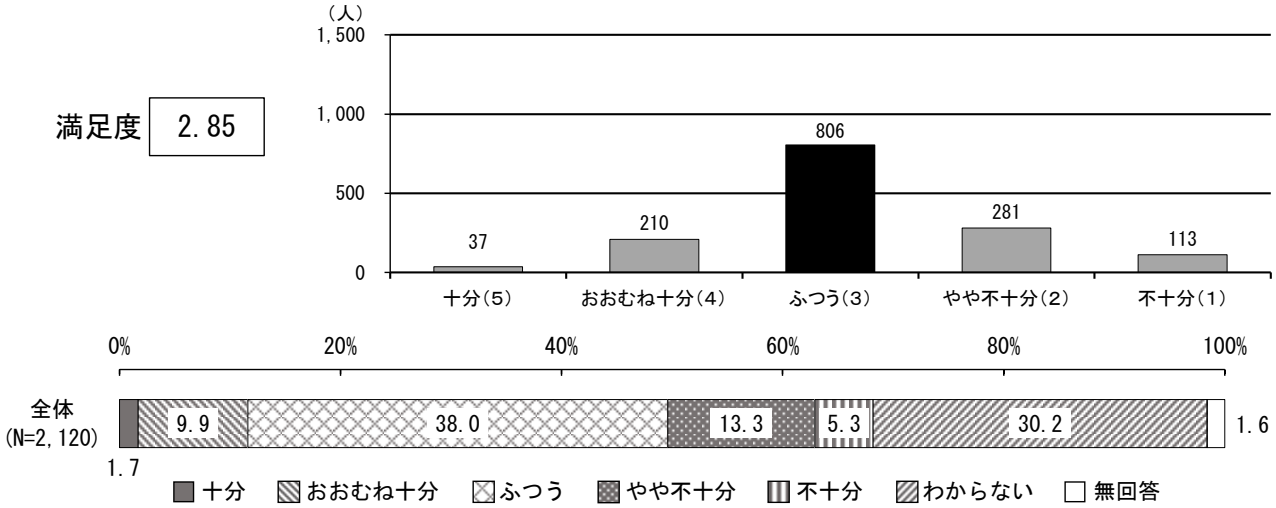
（ｂ）回答の理由

- 教育だけでなくちゃんとした食生活がない限り、豊かな心や健やかな体にはなれないと思う。（１　不十分／男性／50 歳代／秋田地域）
- 学校での子どもたち同士の関わり方が複雑になってきていると感じており、思いやりにつながるのは厳しいような気がする。（２　やや不十分／女性／40 歳代／雄勝地域）
- デジタル化によって人と人とのコミュニケーションが取れず、大事な人と人とのつながりがなくなって、家族との会話やまわりの人との関わりがなくなってしまっているように思う。もっと交流することが必要なのではないか。（３　ふつう／女性／70 歳以上／仙北地域）

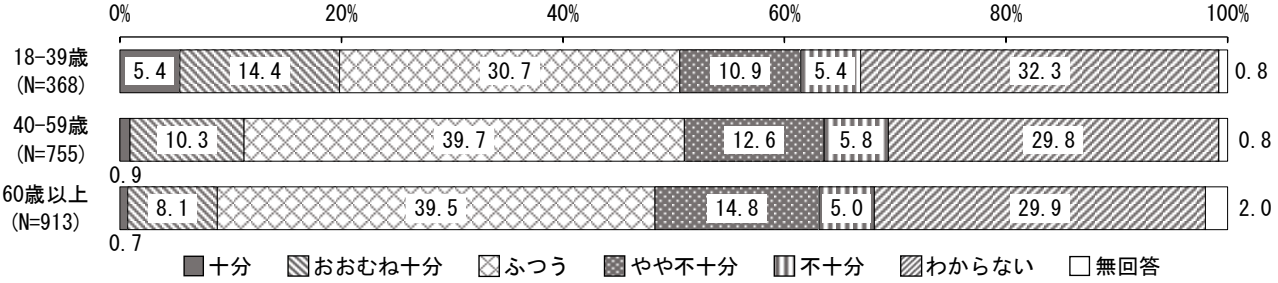
オ　地域社会の活性化と産業振興に資する高等教育機関の機能の強化

問 1-28　県内の大学等で、地域の活性化につながる教育・研究・地域貢献が行われている。

（ａ）満足度の状況



【年代別】



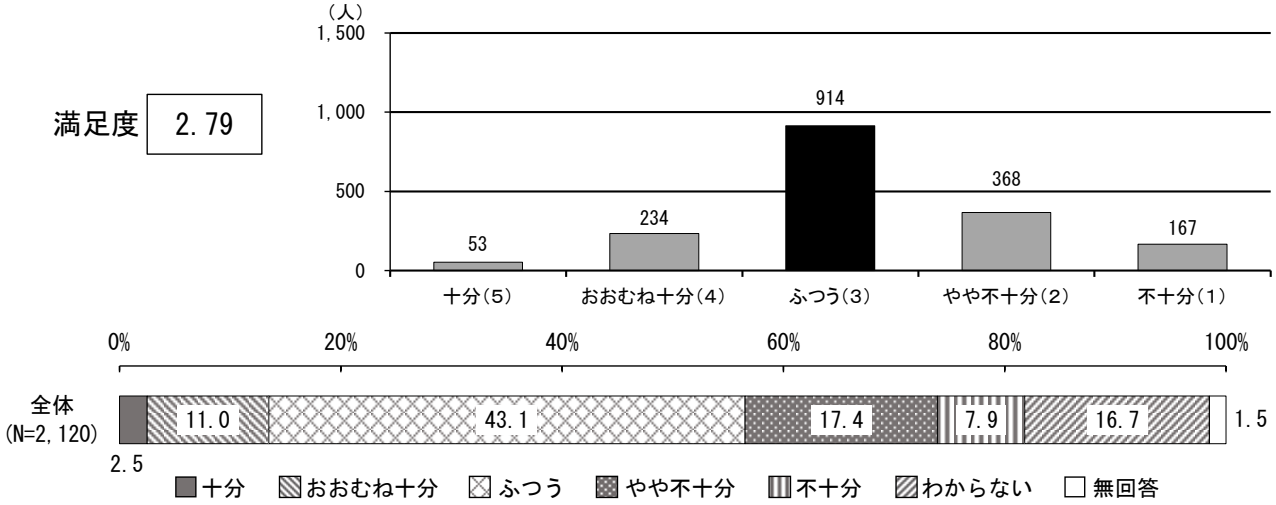
（ｂ）回答の理由

- 大学生が県内の様々な行事や活動に参加している様子をメディアで知り、たくさんの人に認知してもらったり活気づけたりすることもできていると感じる。（３　ふつう／女性／50歳代／山本地域）
- 大学のサークル活動や研究による活動を目にすることが増えたと感じる。特に、国際教養大の学生が積極的であるように見えるが、そのような活動はもっとあっても良いと思う。（３　ふつう／女性／50 歳代／秋田地域）
- 地元の課題を考えるようなカリキュラムなどもあり、今の大学生は、自主的に地域と関わりを持とうと活動しているように感じる。（５　十分／男性／50 歳代／秋田地域）

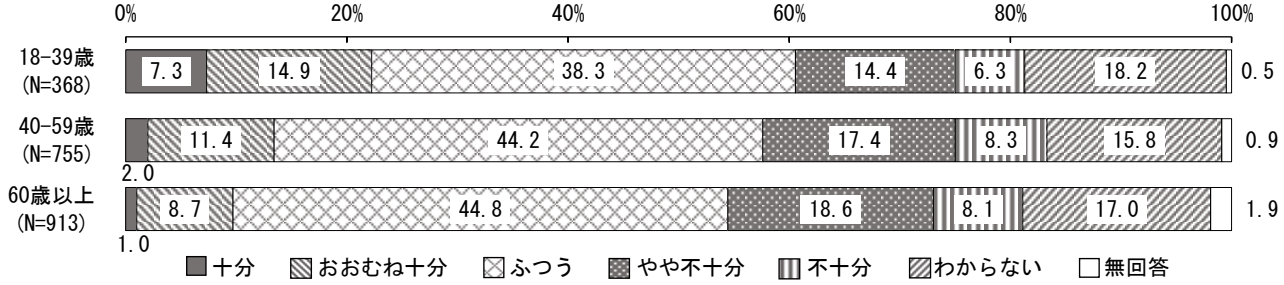
カ　生涯にわたり学び続けられる環境の構築

問 1-29　県民がライフステージや生活スタイルに応じて学び、文化芸術に触れる機会が提供されている。

（ａ）満足度の状況



【年代別】



（ｂ）回答の理由

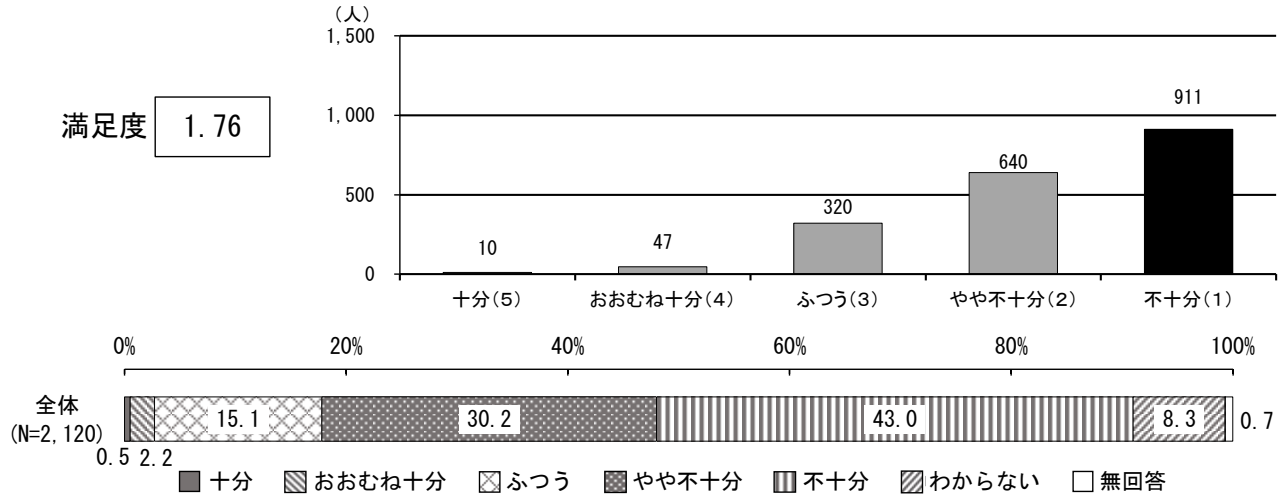
- 若者には文化芸術に触れる機会が比較的多く提供されているように感じるが、高齢の年代は触れる場が少なく、そもそも通いづらいイメージがある。（１　不十分／女性／20 歳代／秋田地域）
- 個人の取組や関心にかかわる問題が大きいと思うが、文化芸術に触れる機会の創出という観点からするとそれほど魅力あるイベントやセミナーや学習する機会が多いとは思わない。（３　ふつう／男性／70 歳以上／秋田地域）
- 小さなイベントを楽しんでいる人が増えたと思う。ミルハスや文化創造館の存在が大きいと思うが、ライブハウスもよく頑張っているように感じる。（３　ふつう／女性／50 歳代／秋田地域）

（７）選択・集中プロジェクトなどの重点施策について

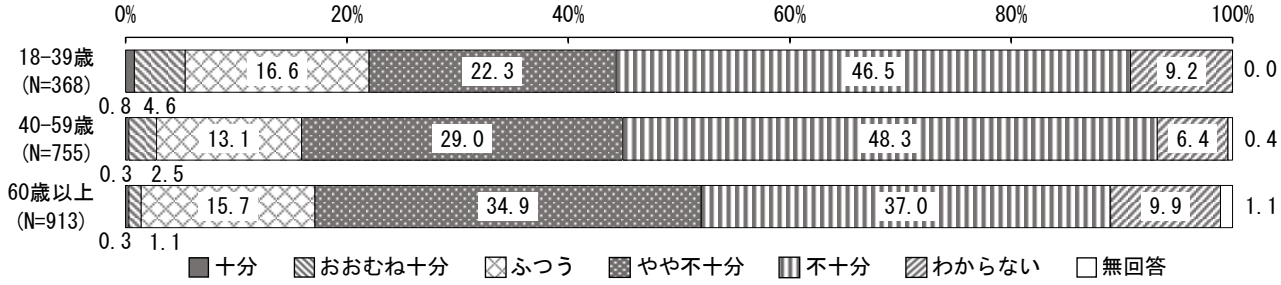
ア　賃金水準の向上

問 2-1　県内の「賃金水準の向上」に向けた取組が進んでいる。

（ａ）満足度の状況



【年代別】



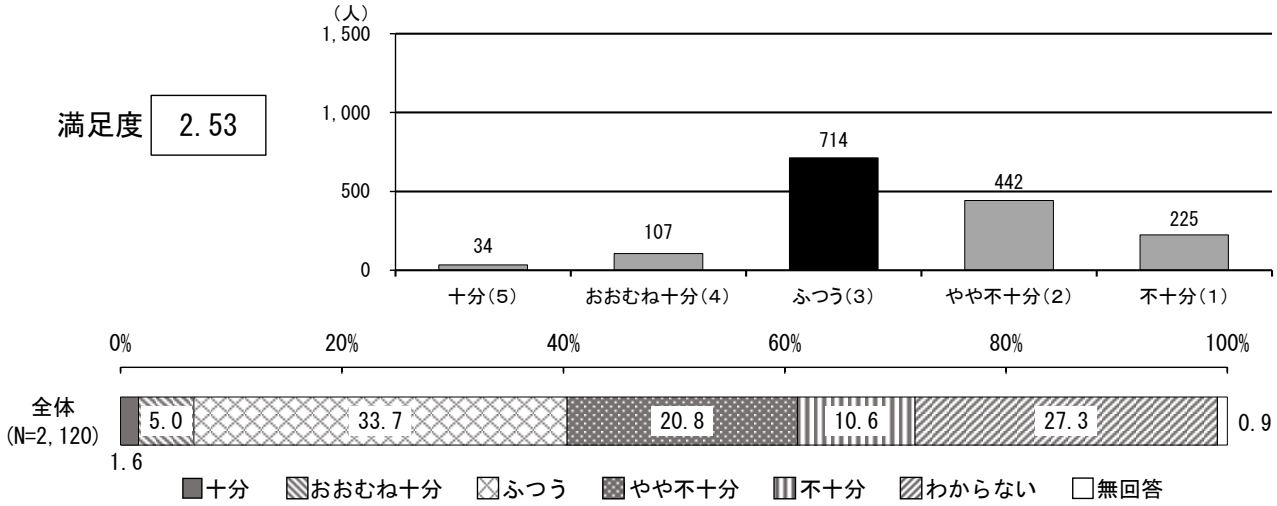
イ　カーボンニュートラルへの挑戦

問 2-2　「カーボンニュートラル（※）」の実現に向けた取組が進んでいる。

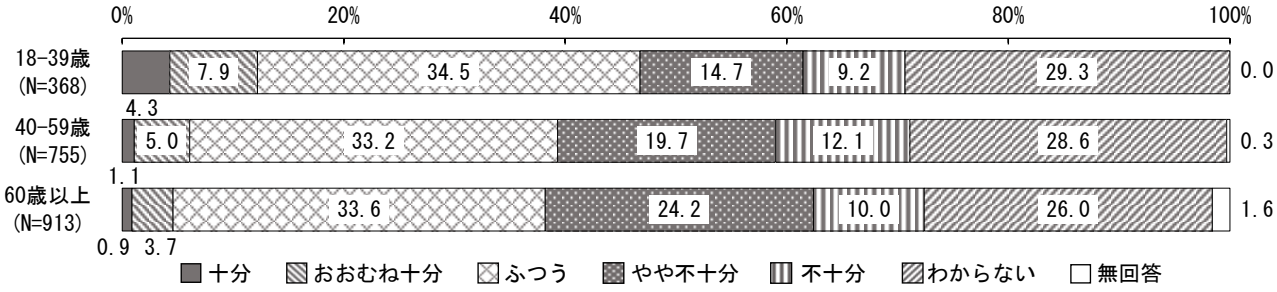
※二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出を減らし、「排出量」から、森林などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。

（ａ）満足度の状況

満足度　2.53



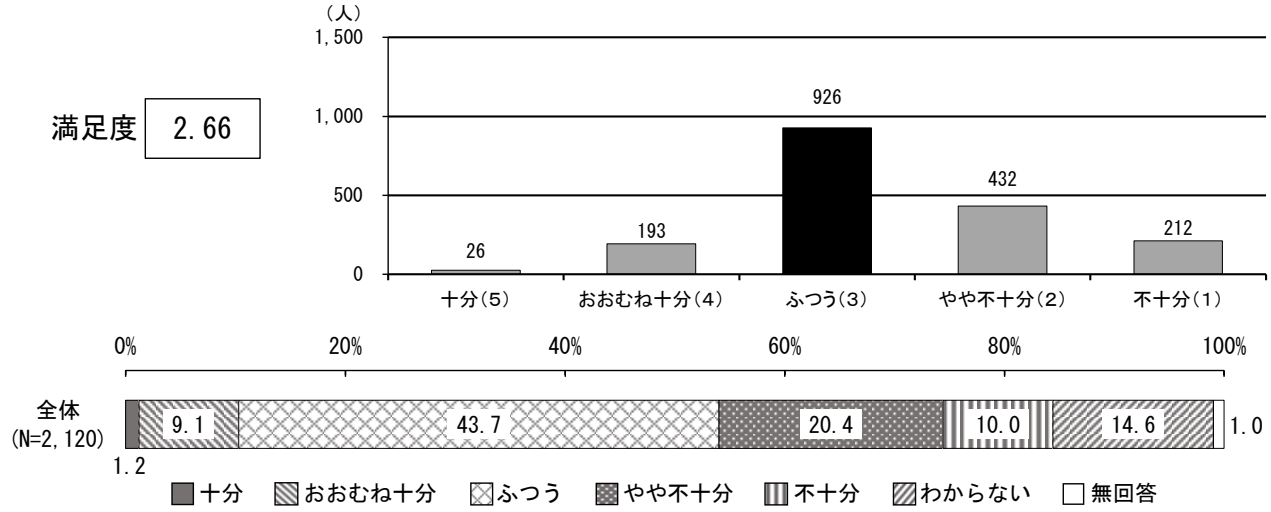
【年代別】



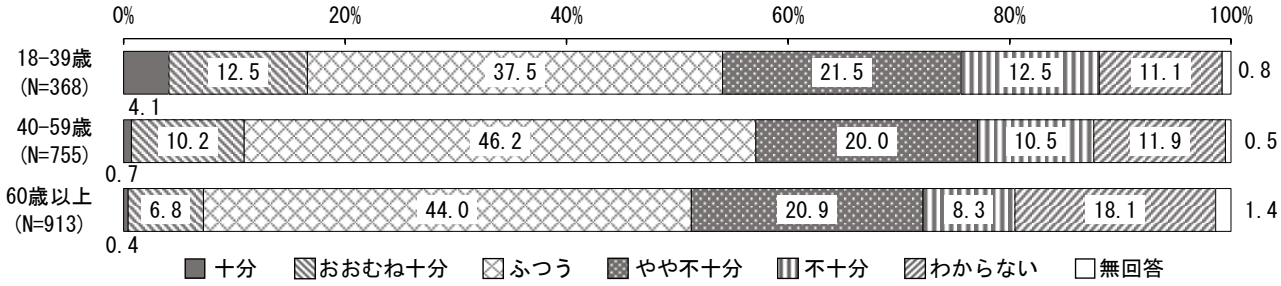
ウ　デジタル化の推進

問 2-3　県民生活の様々な場面において、「デジタル化」に向けた取組が進んでいる。

（ａ）満足度の状況



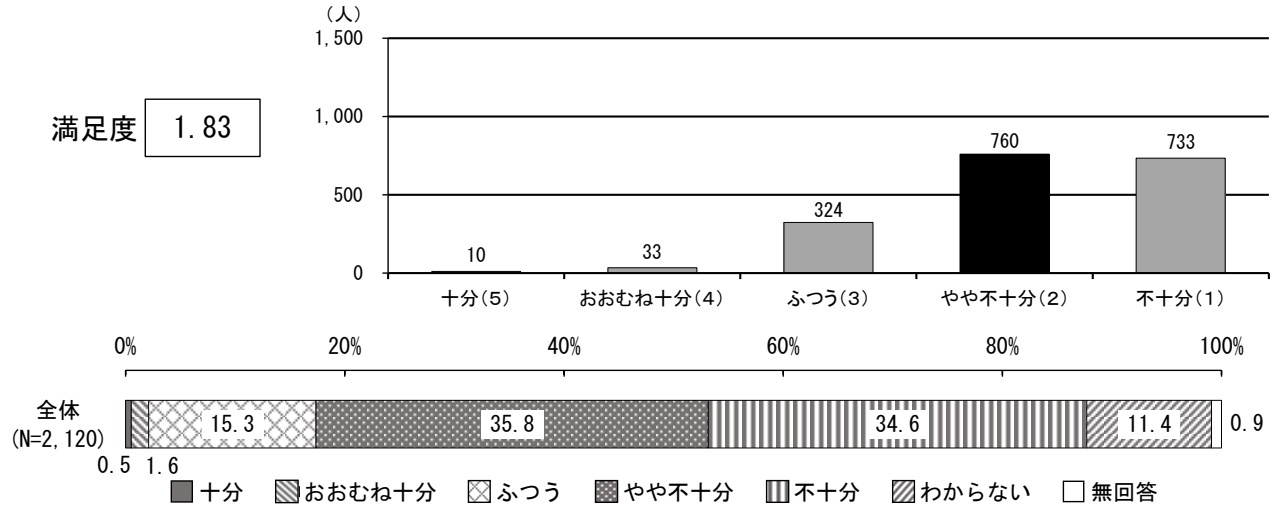
【年代別】



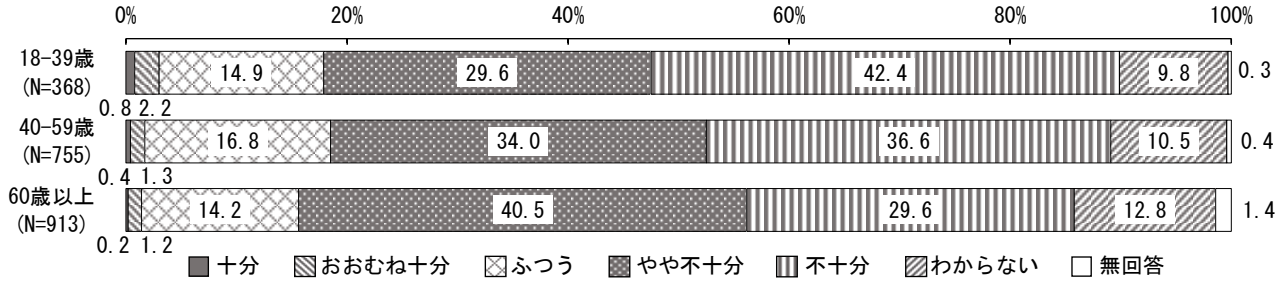
エ　若者・女性の県内定着・回帰

問 2-4　「若者・女性の県内定着・回帰」に向けた取組が進んでいる。

（ａ）満足度の状況



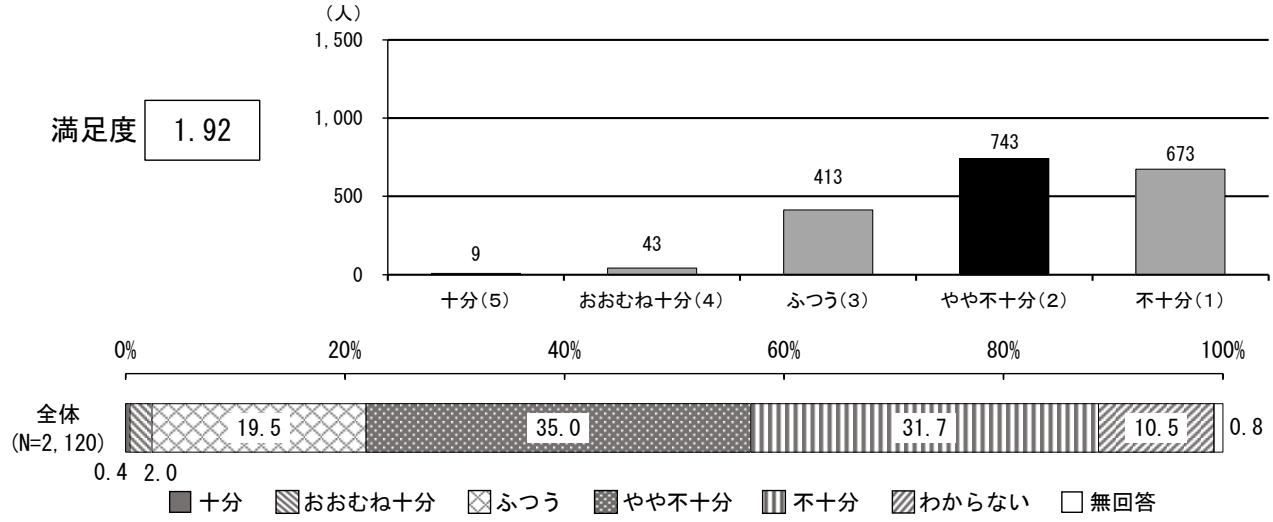
【年代別】



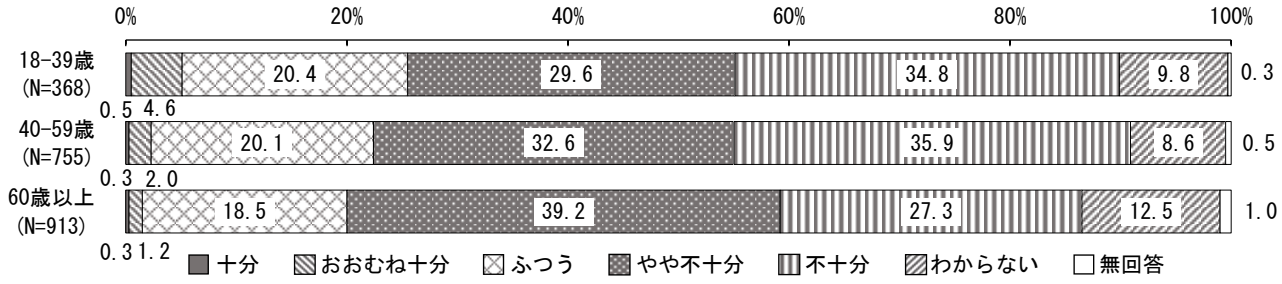
オ　魅力的な働く場の確保

問 2-5　「働く場の確保」や「労働環境の整備」など、魅力的な職場づくりが行われている。

（ａ）満足度の状況



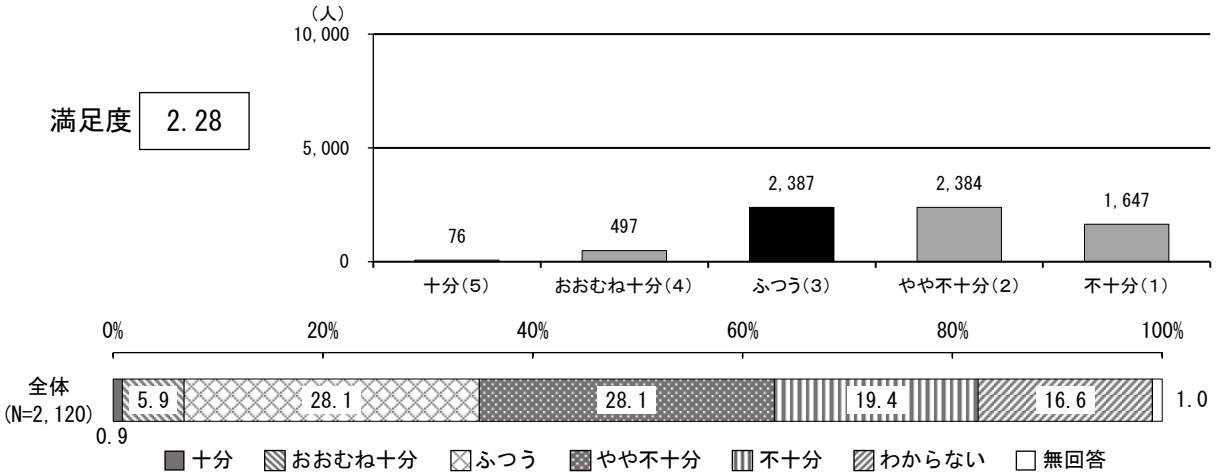
【年代別】



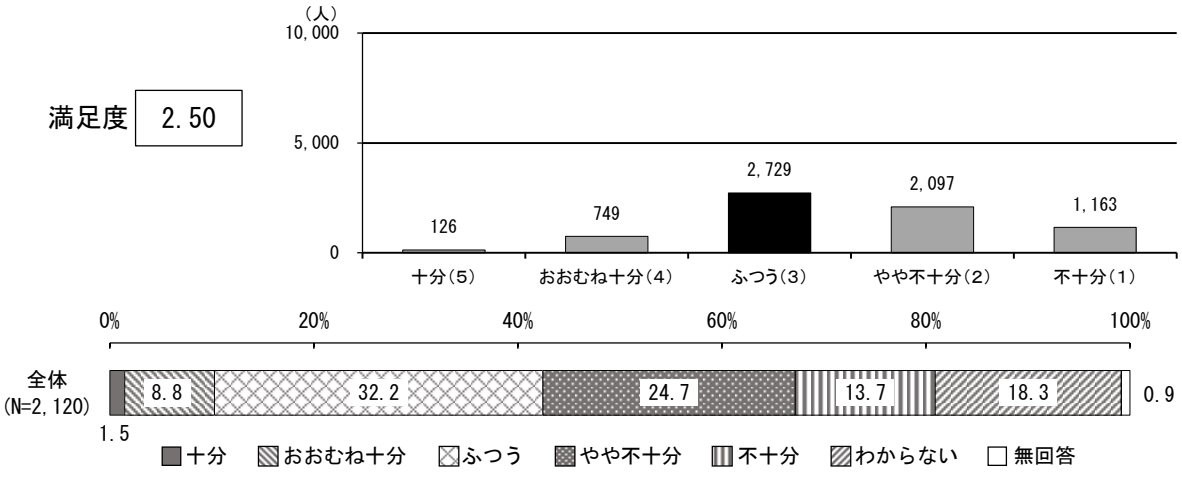
２　（参考）各戦略の施策に関連する項目についての満足度の平均値

「１　各戦略の施策に関連する項目についての満足度」について、戦略毎に平均値を計算した結果は次のとおりである。

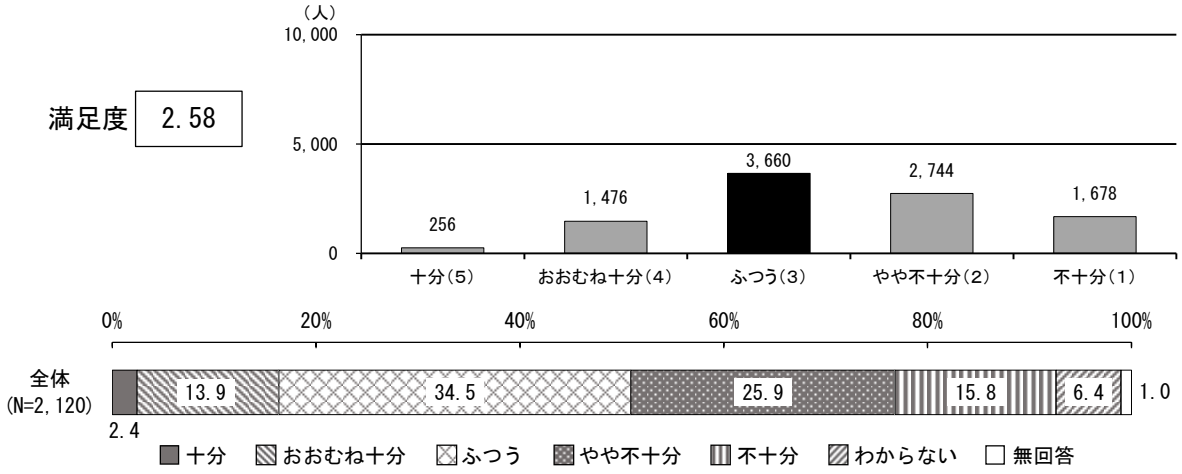
戦略１　産業・雇用戦略（問 1-1～問 1-4）



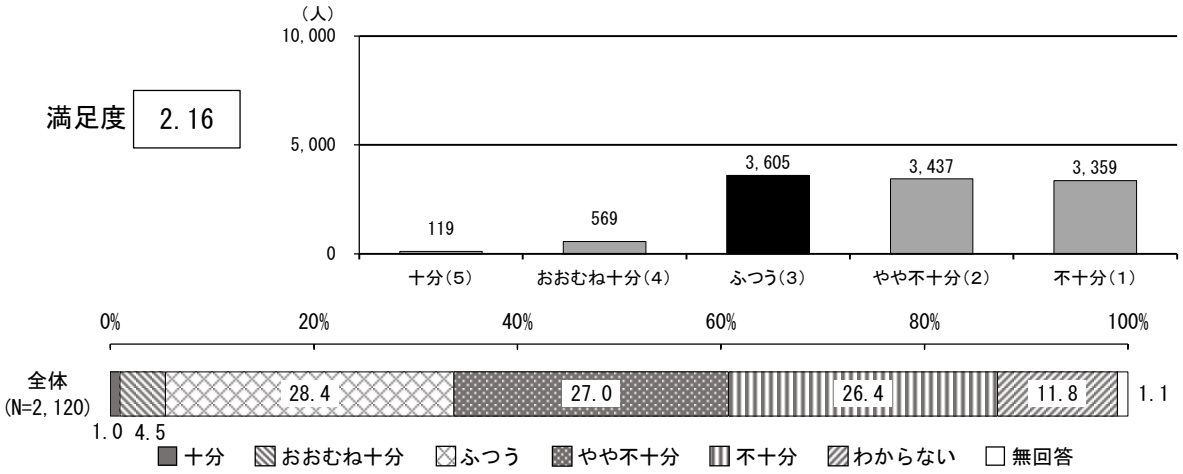
戦略２　農林水産戦略（問 1-5～問 1-8）



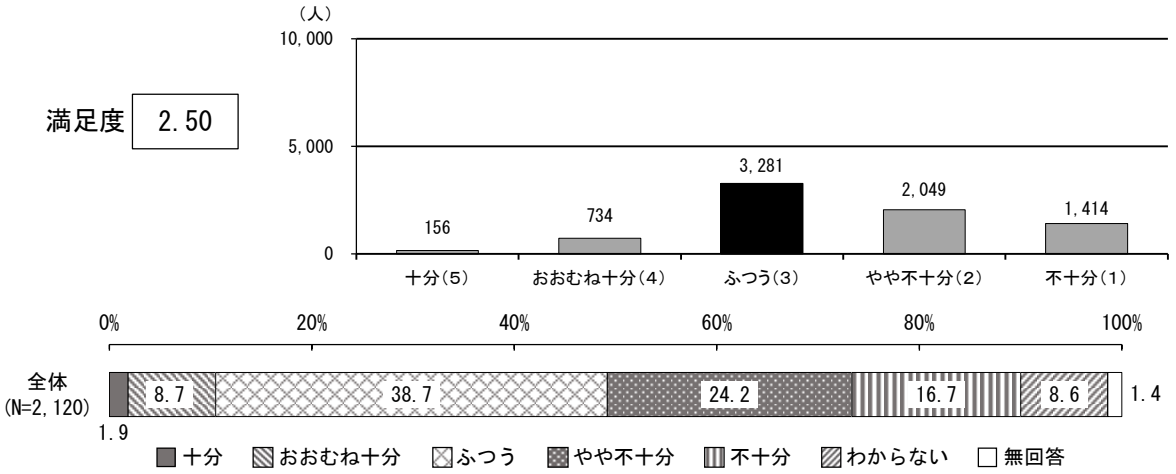
戦略３　観光・交流戦略（問 1-9～問 1-13）



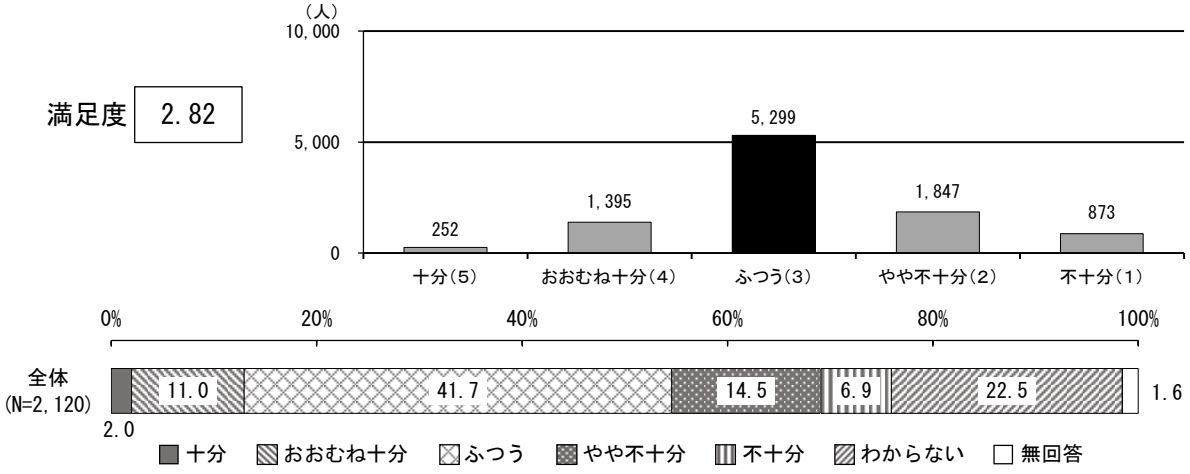
戦略４　未来創造・地域社会戦略（問 1-14～問 1-19）



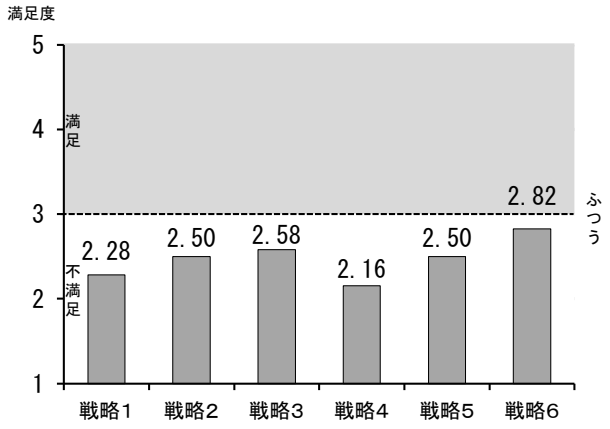
戦略５　健康・医療・福祉戦略（問 1-20～問 1-23）



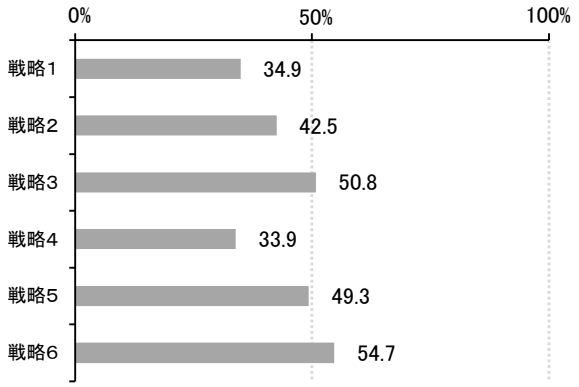
戦略６　教育・人づくり戦略（問 1-24～問 1-29）



〔満足度の平均〕



〔不満を感じていない人の割合の平均値〕



※「満足度の平均」「不満を感じていない人の割合の平均値」とも、戦略を構成する施策の回答結果の平均値であり、各戦略そのものの満足度、割合ではない。

第２章 県の特定課題について

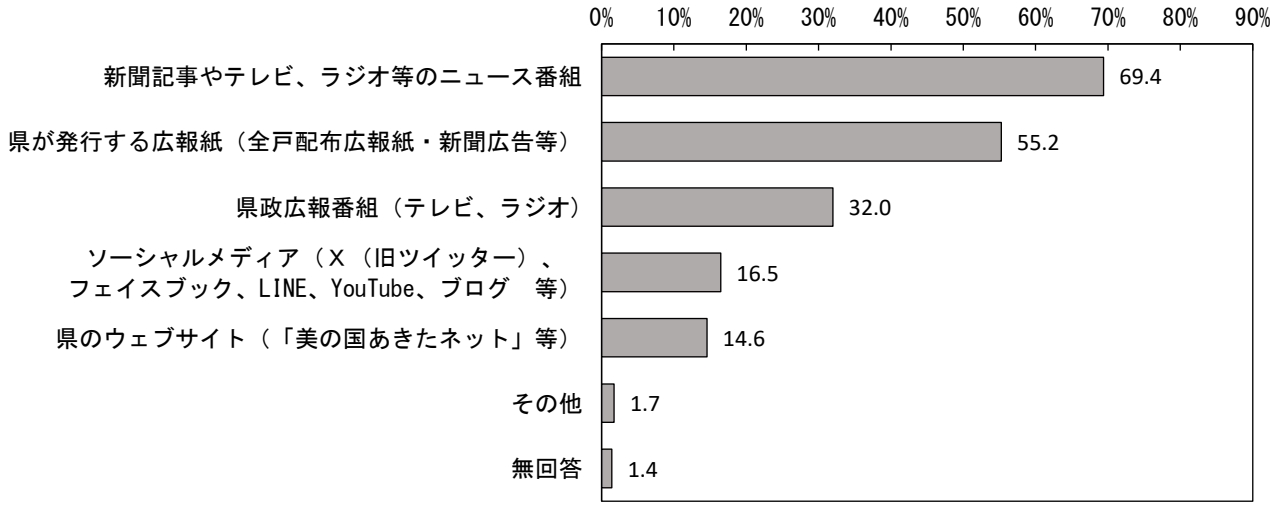
特定の課題に関する意識（問３）

１　県の広報活動について

（１） 県が発信する情報の取得方法

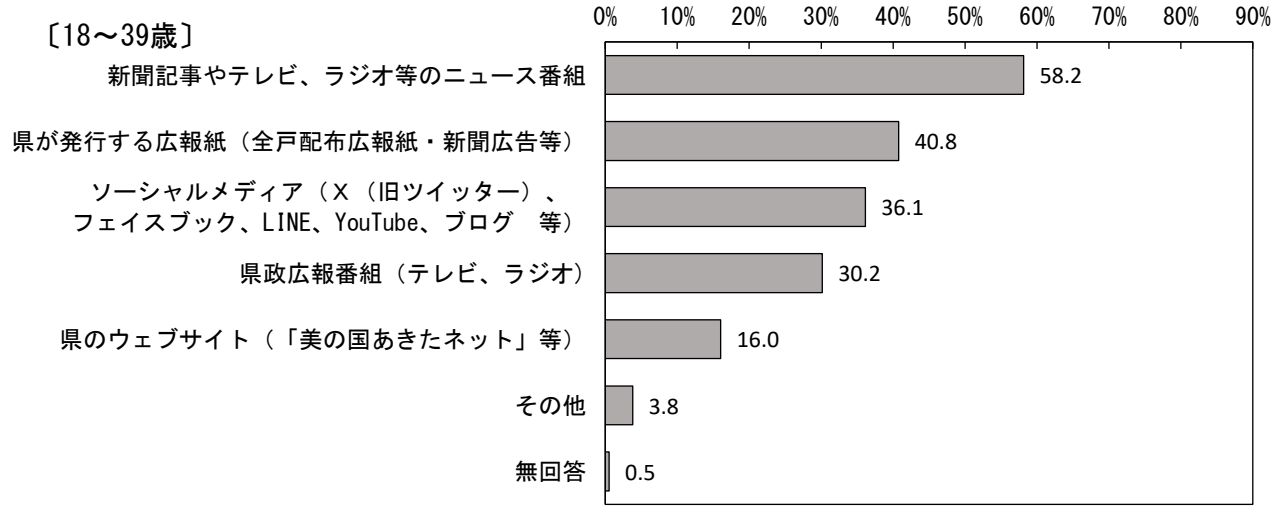
①　あなたは、県の施策・事業等を何から知ることが多いですか（○はいくつでも）。

【全体】

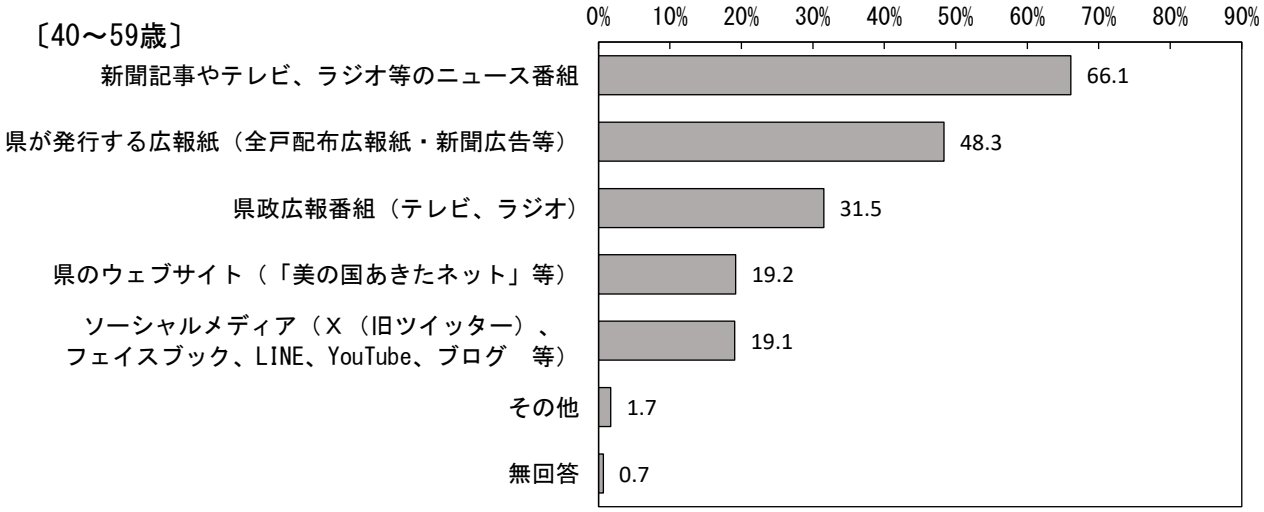


【年代別】

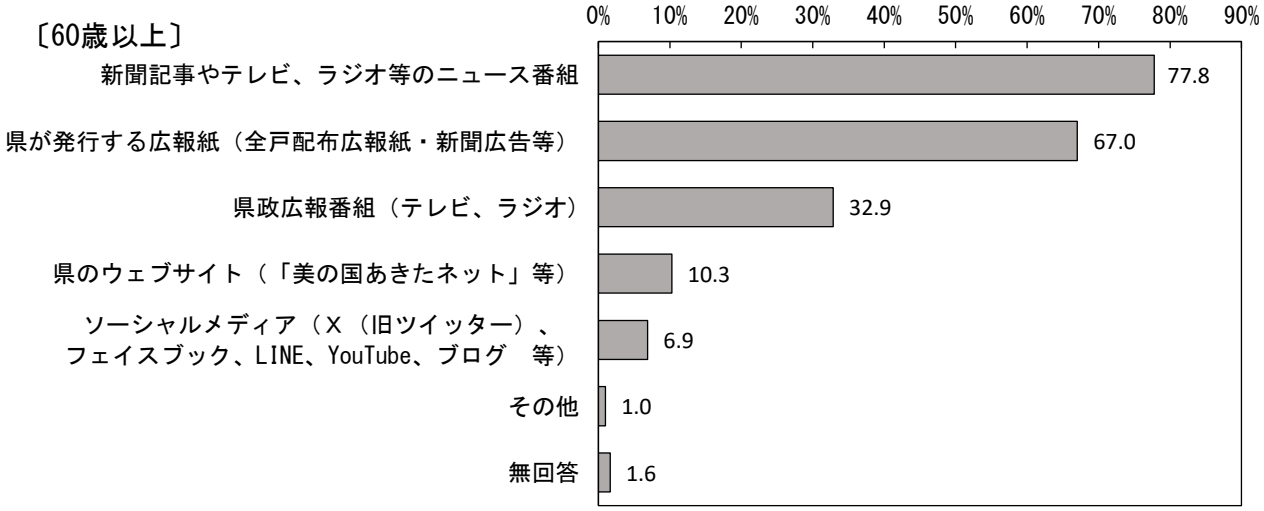
〔18～39歳〕



〔40～59歳〕


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
新聞記事やテレビ、ラジオ等のニュース番組
66.1
県が発行する広報紙（全戸配布広報紙・新聞広告等）
48.3
県政広報番組（テレビ、ラジオ）
31.5
県のウェブサイト（「美の国あきたネット」等）
19.2
ソーシャルメディア（X（旧ツイッター）、
フェイスブック、LINE、YouTube、ブログ　等）
19.1
その他
1.7
無回答
0.7

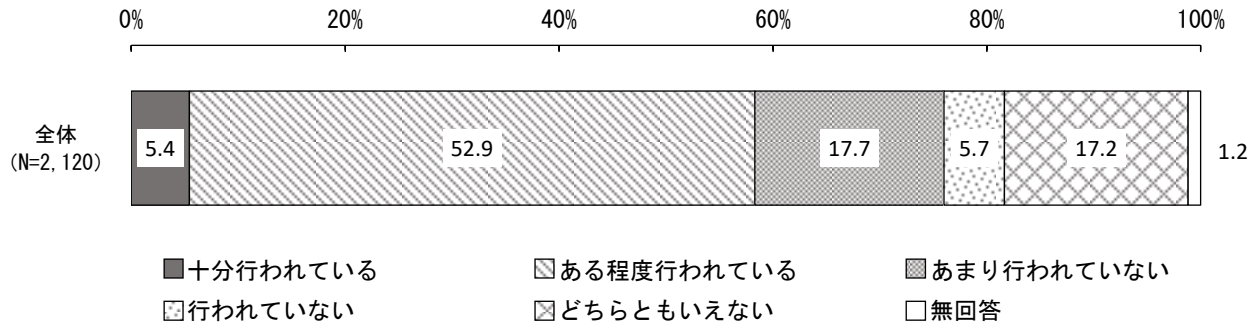
〔60歳以上〕


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
80%
90%
新聞記事やテレビ、ラジオ等のニュース番組
77.8
県が発行する広報紙（全戸配布広報紙・新聞広告等）
67.0
県政広報番組（テレビ、ラジオ）
32.9
県のウェブサイト（「美の国あきたネット」等）
10.3
ソーシャルメディア（X（旧ツイッター）、
フェイスブック、LINE、YouTube、ブログ　等）
6.9
その他
1.0
無回答
1.6

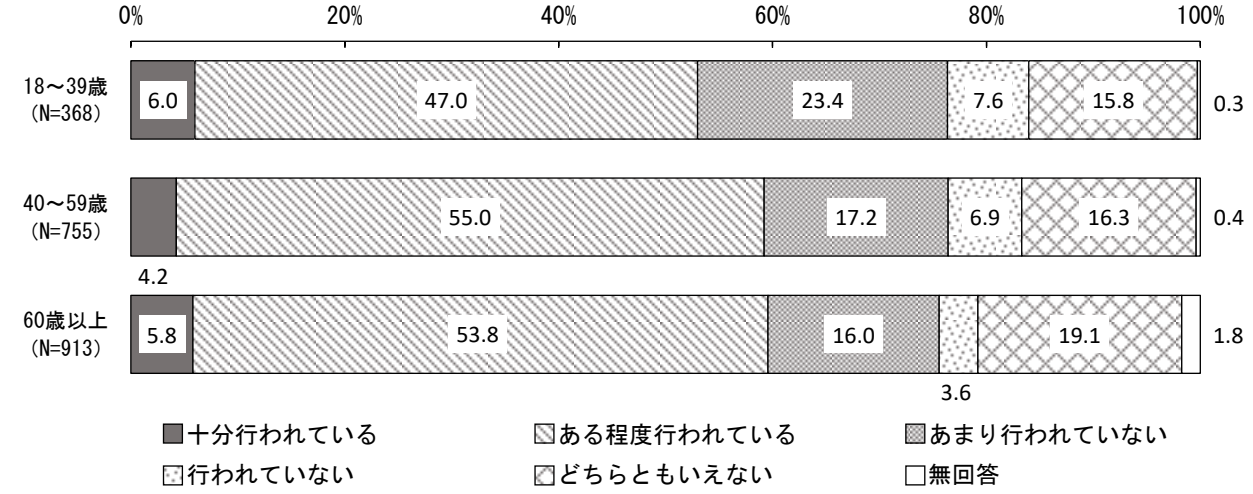
（２） 広報活動の現状評価

② あなたは、広報紙やウェブサイト、テレビ、ラジオ、ソーシャルメディア等による広報活動は十分に行われていると思いますか（○は１つ）。

【全体】



【年代別】



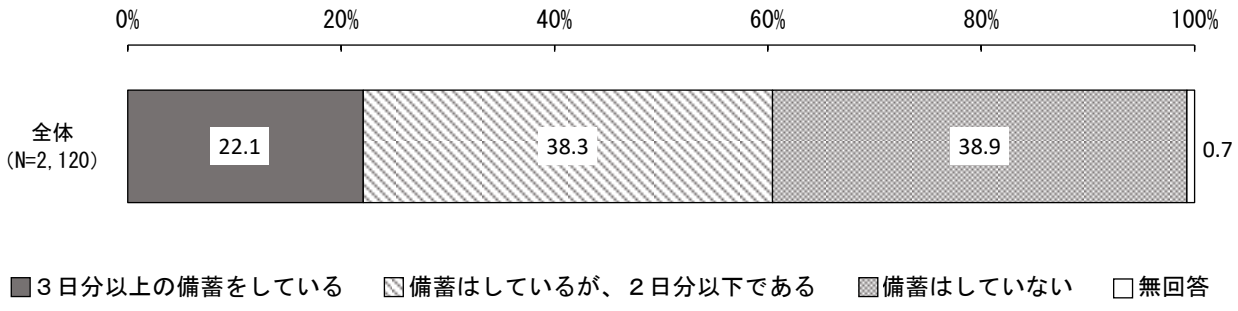
２　家庭での防災活動について

（１）家庭での災害時に備えた備蓄状況

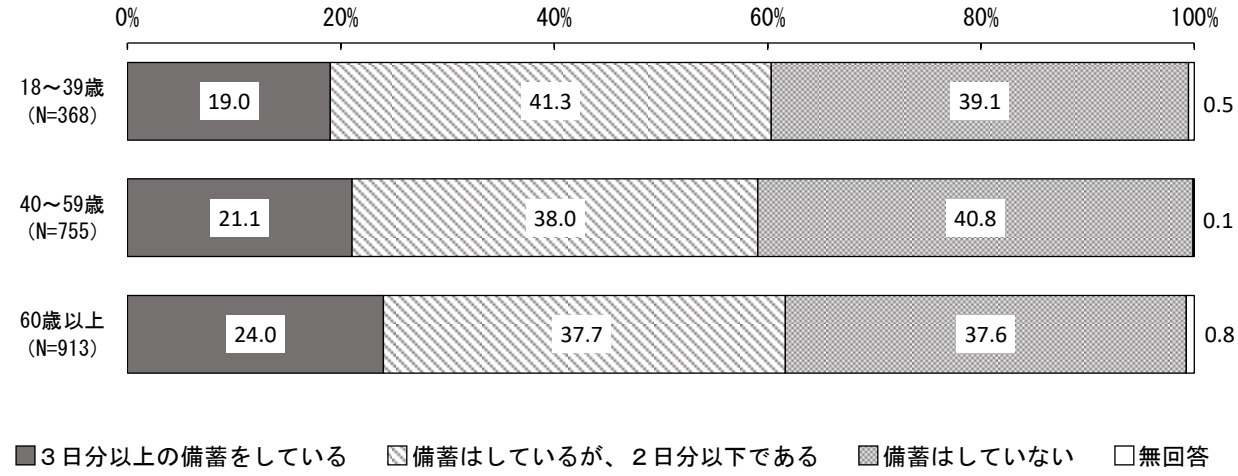
①　あなたの家庭では、災害時の備えとして、水・食料等の備蓄（※）（家庭人数×３日分）をしていますか（○は１つ）。

※備蓄には、普段から家庭で使うために購入・保管している冷蔵庫内の食料品等や、災害時にも活用できるペットボトル飲料水やカップラーメン、缶詰なども含みます。

【全体】



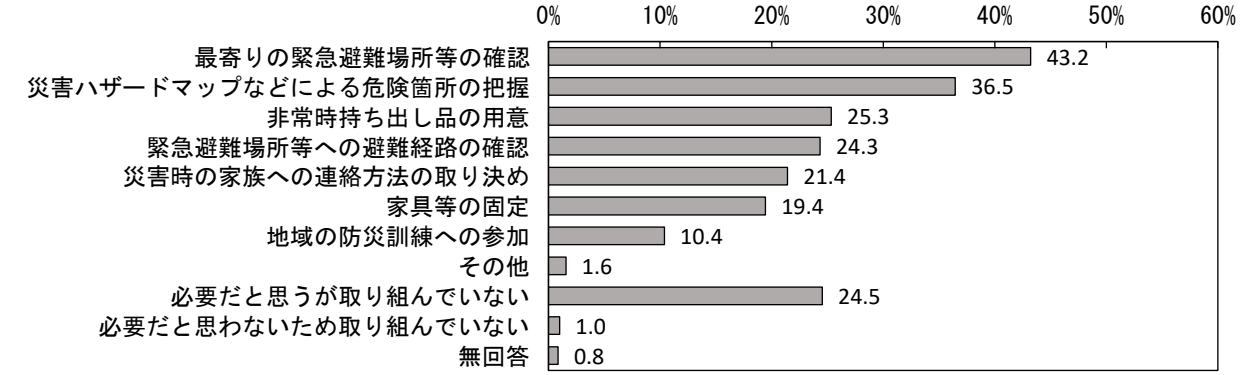
【年代別】



（２） 災害に備えた家庭での防災活動の状況

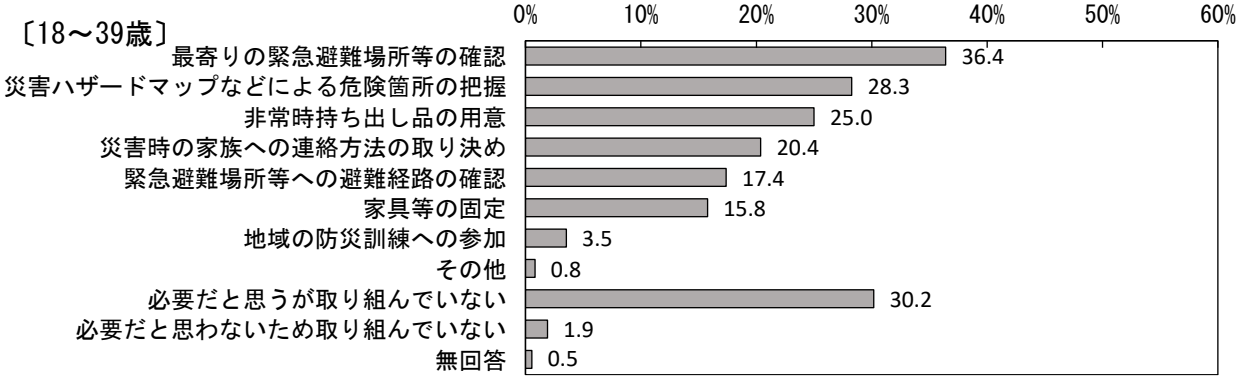
② あなたは、災害に備えて日頃どのような防災活動を行っていますか（○はいくつでも）。

【全体】

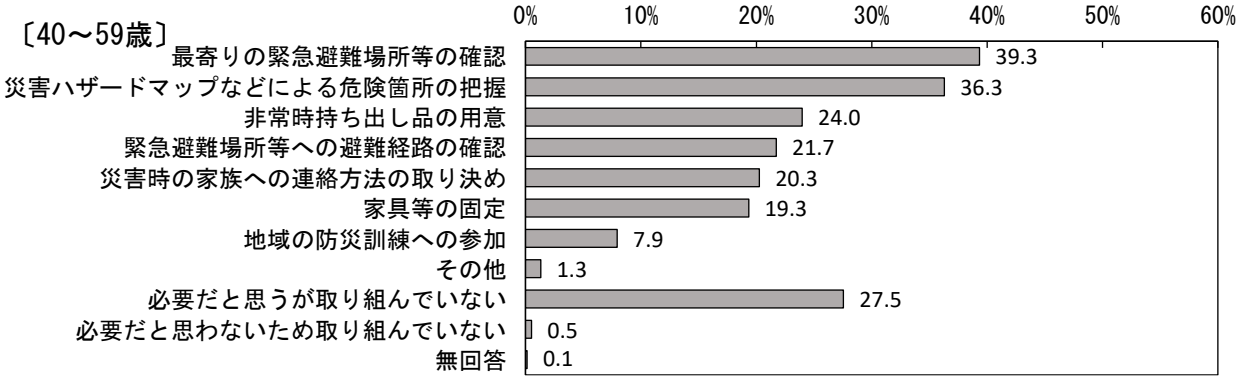


【年代別】

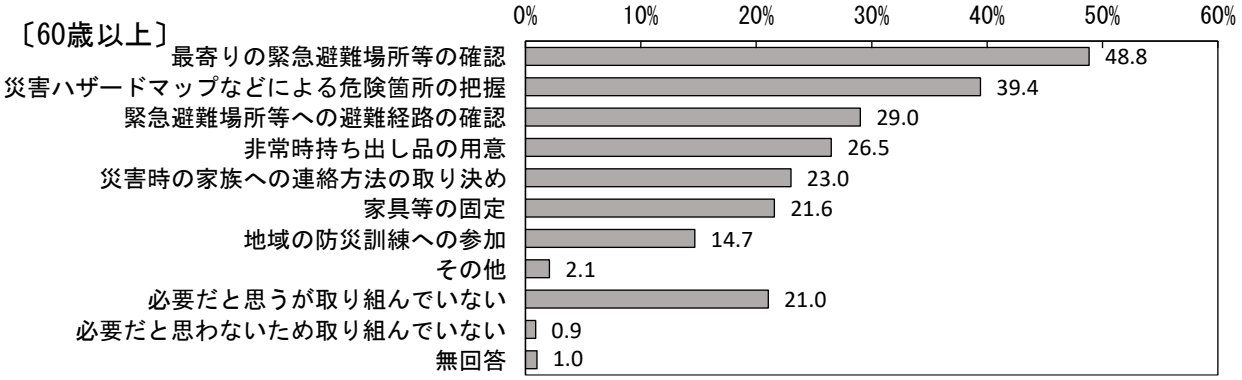
〔18～39歳〕



〔40～59歳〕



〔60歳以上〕

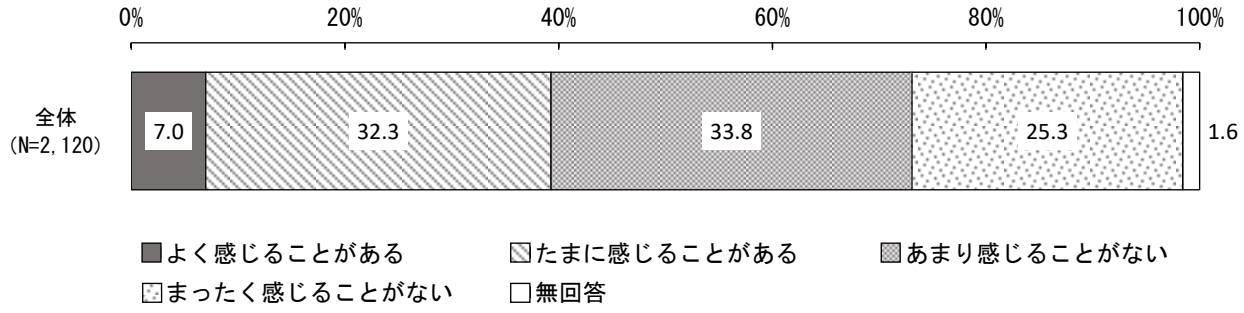


3　差別等について

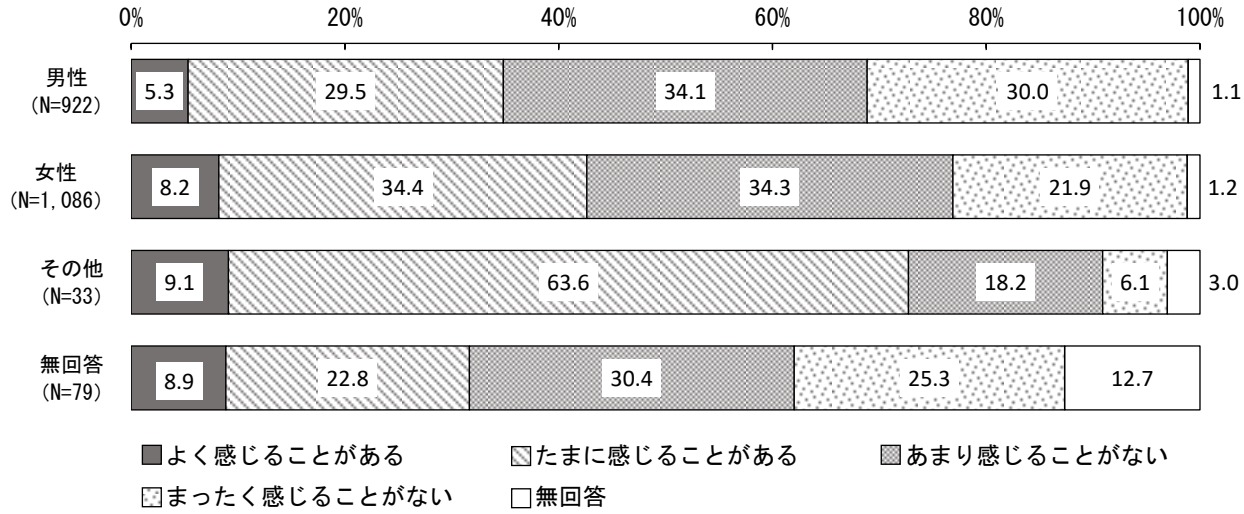
（1） 差別等を感じる機会の有無

①　あなたは、ご自身や身の回りで差別等を感じることがありますか（○は１つ）。

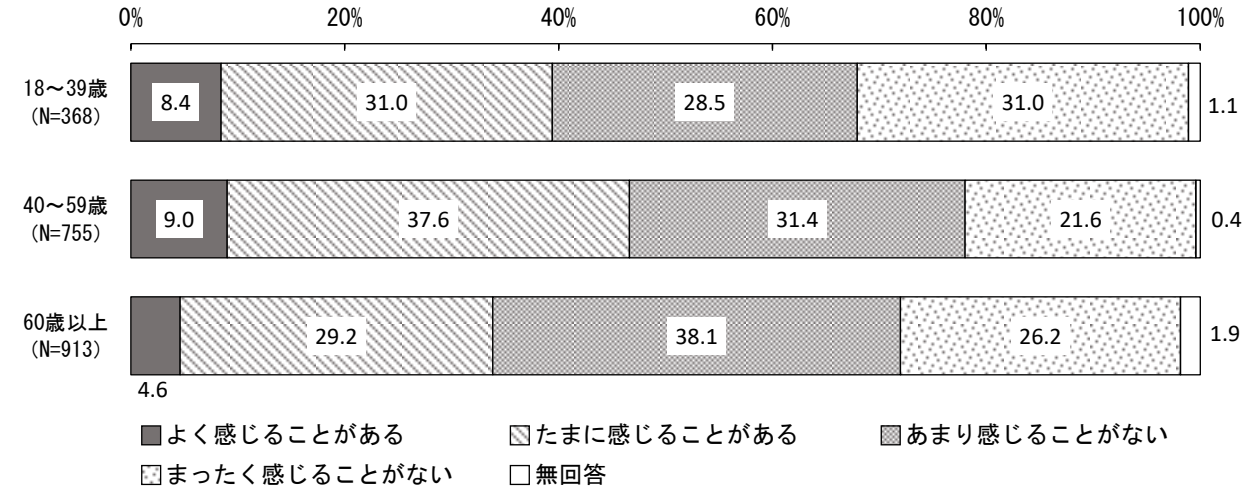
【全体】



【性別】



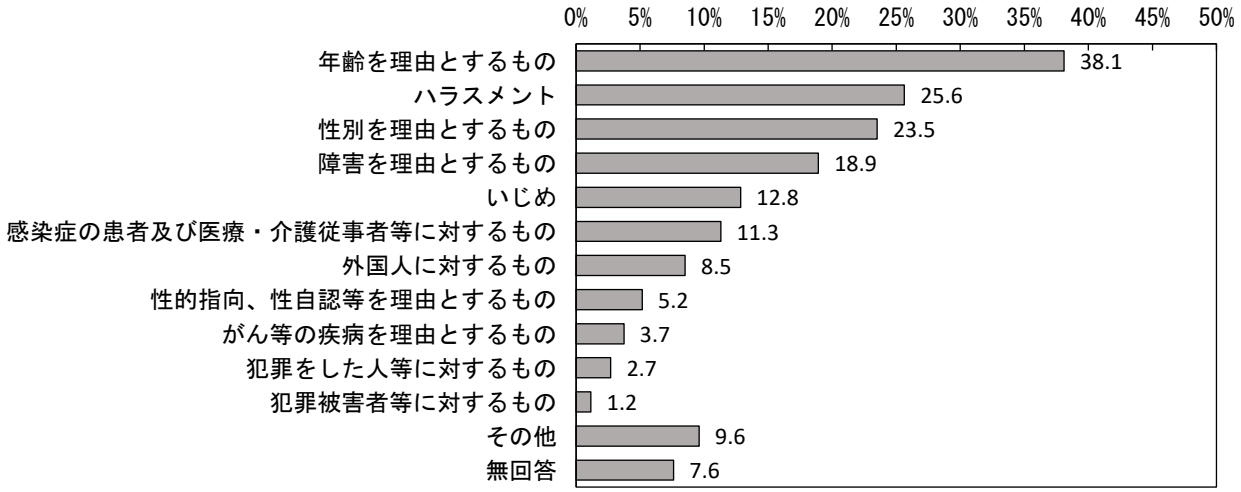
【年代別】



（２） 感じる差別等の種類

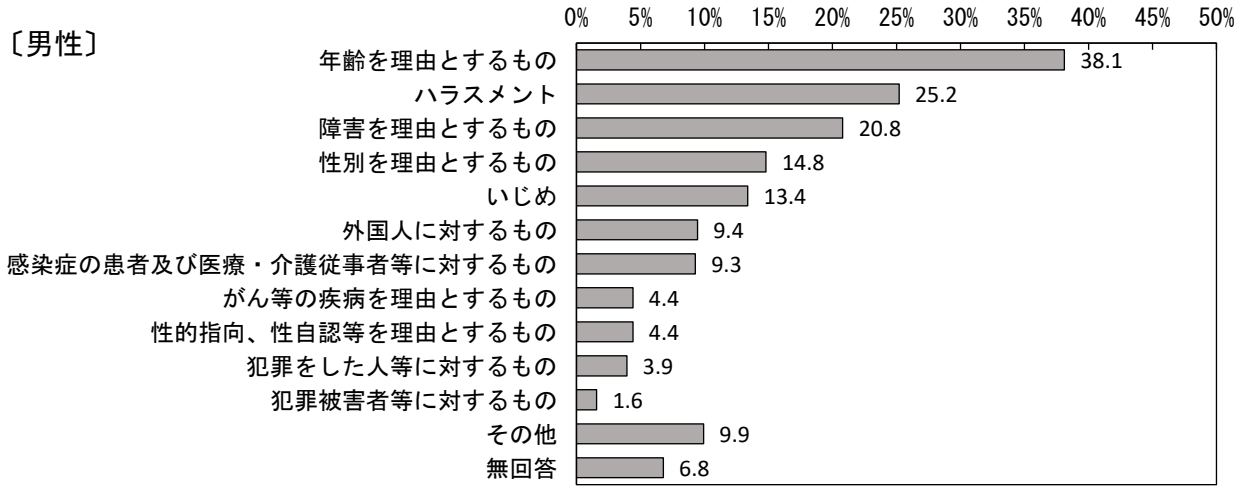
② ①で「１ よく感じることがある」、「２ たまに感じることがある」、「３ あまり感じることがない」を選んだ方にお聞きします。どのような差別等を感じることがありますか（○はいくつでも）。

【全体】

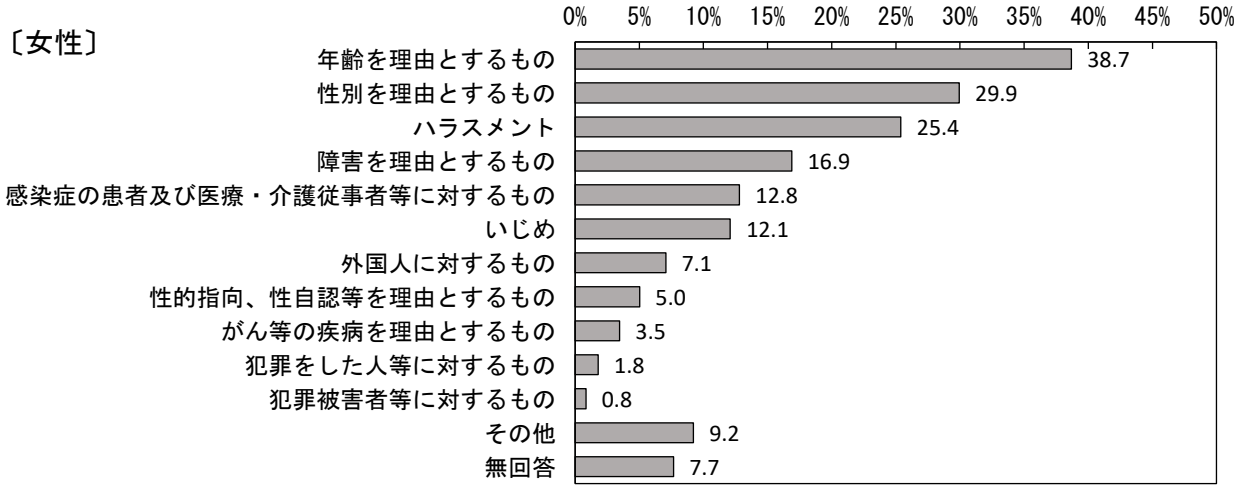


【性別】

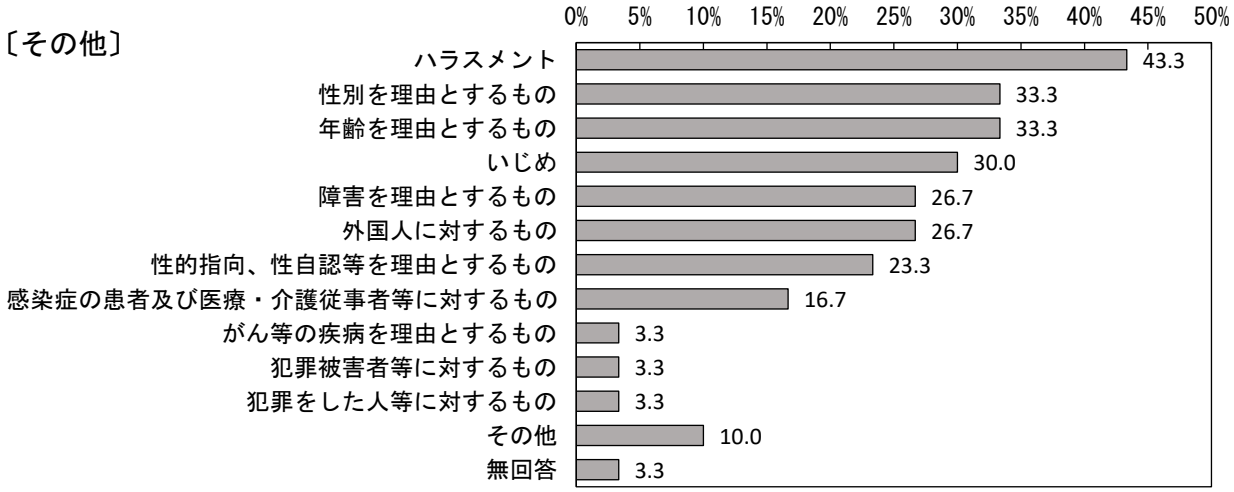
〔男性〕



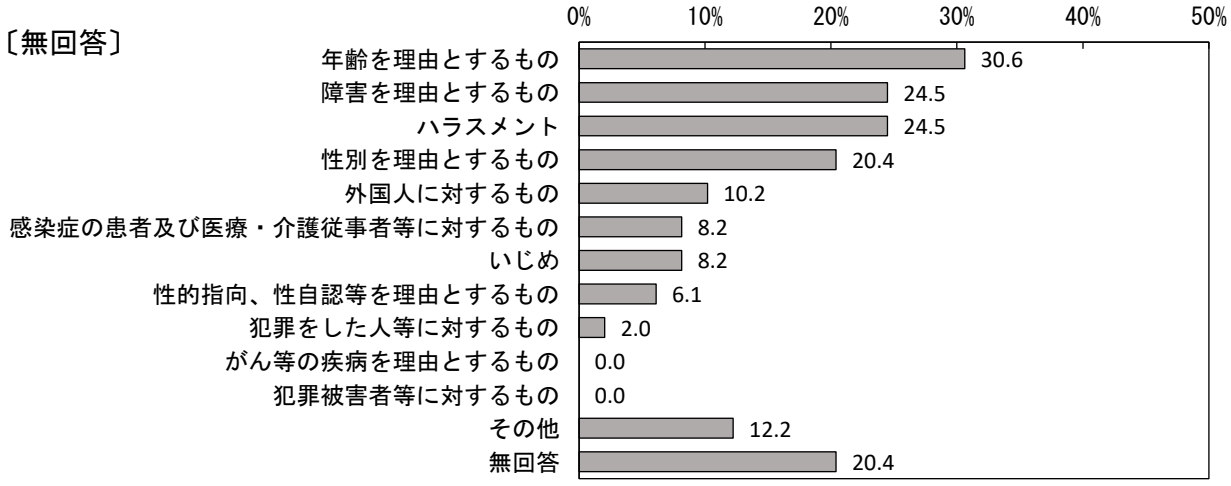
〔女性〕



〔その他〕

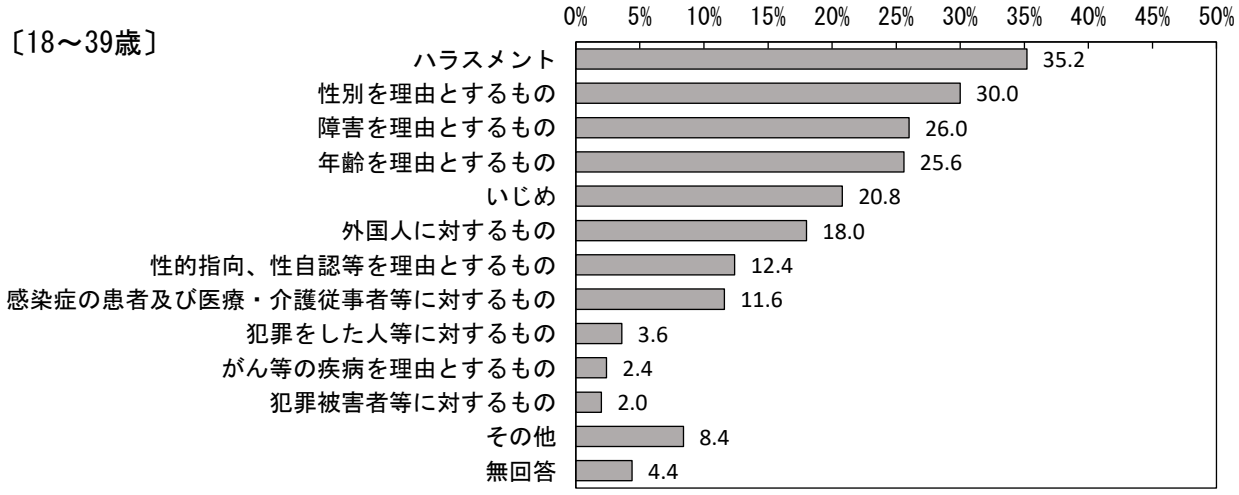

0%
5%
10%
15%
20%
25%
30%
35%
40%
45%
50%
ハラスメント 43.3
性別を理由とするもの 33.3
年齢を理由とするもの 33.3
いじめ 30.0
障害を理由とするもの 26.7
外国人に対するもの 26.7
性的指向、性自認等を理由とするもの 23.3
感染症の患者及び医療・介護従事者等に対するもの 16.7
がん等の疾病を理由とするもの 3.3
犯罪被害者等に対するもの 3.3
犯罪をした人等に対するもの 3.3
その他 10.0
無回答 3.3

〔無回答〕

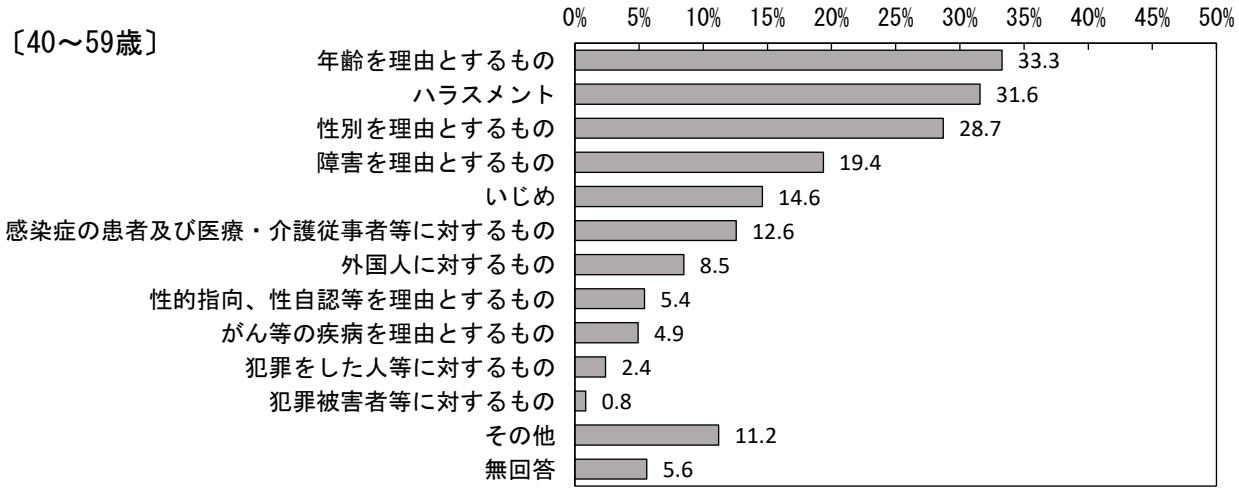

0%
10%
20%
30%
40%
50%
年齢を理由とするもの 30.6
障害を理由とするもの 24.5
ハラスメント 24.5
性別を理由とするもの 20.4
外国人に対するもの 10.2
感染症の患者及び医療・介護従事者等に対するもの 8.2
いじめ 8.2
性的指向、性自認等を理由とするもの 6.1
犯罪をした人等に対するもの 2.0
がん等の疾病を理由とするもの 0.0
犯罪被害者等に対するもの 0.0
その他 12.2
無回答 20.4

【年代別】

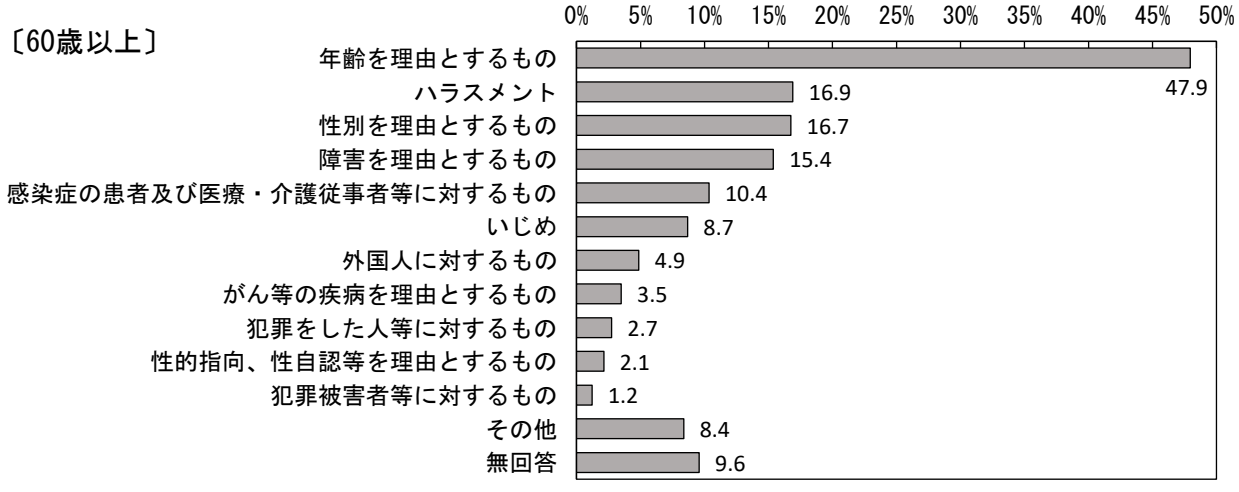
〔18～39歳〕



〔40～59歳〕



〔60歳以上〕

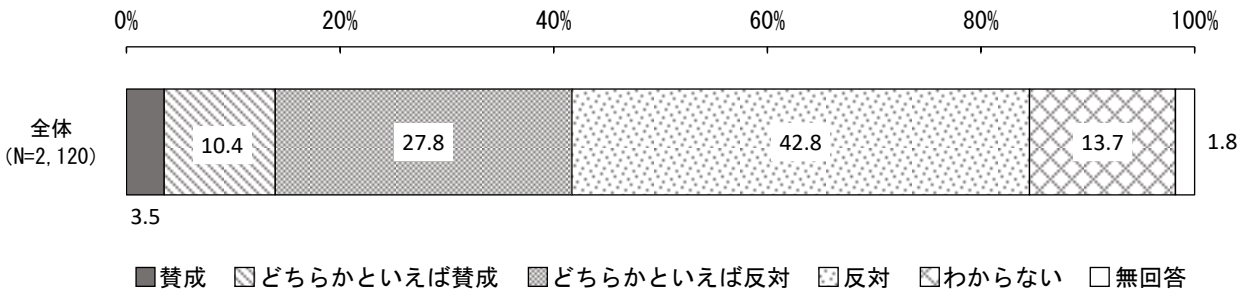


4　男女共同参画について

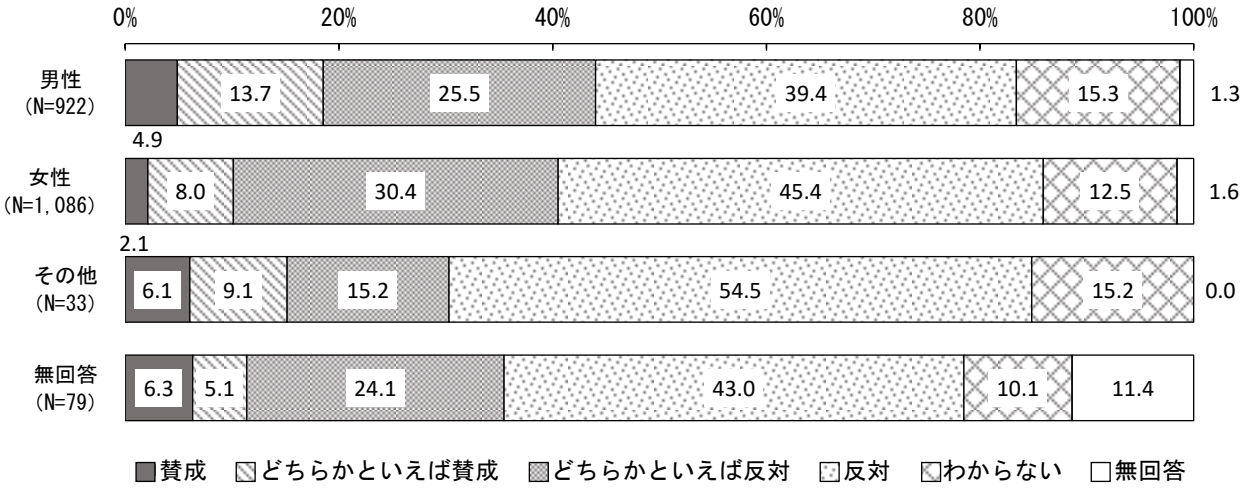
「男は仕事、女は家庭」の考え方

①　「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこれについてどう思いますか（○は１つ）。

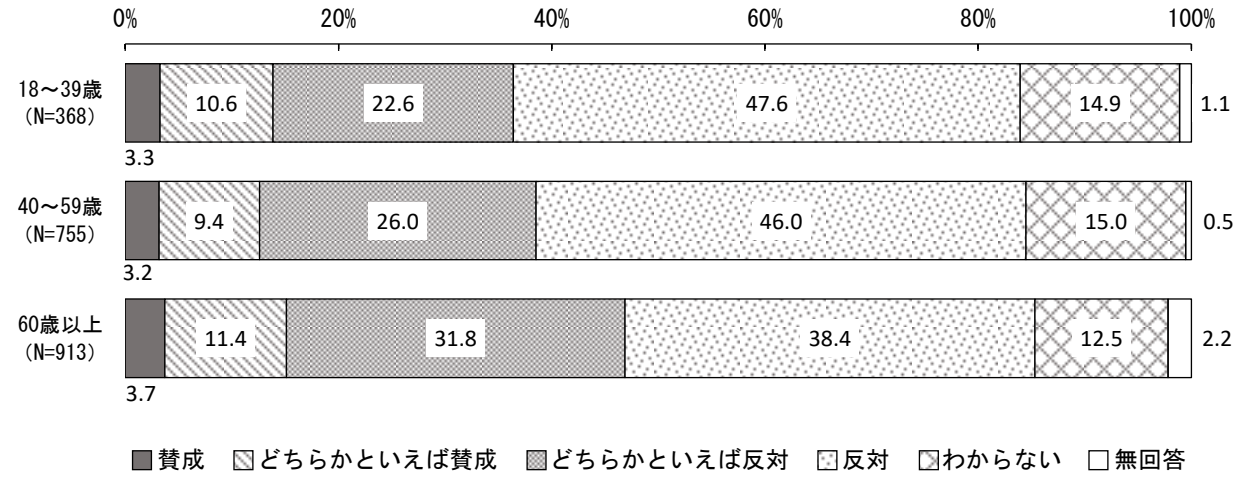
【全体】



【性別】



【年代別】

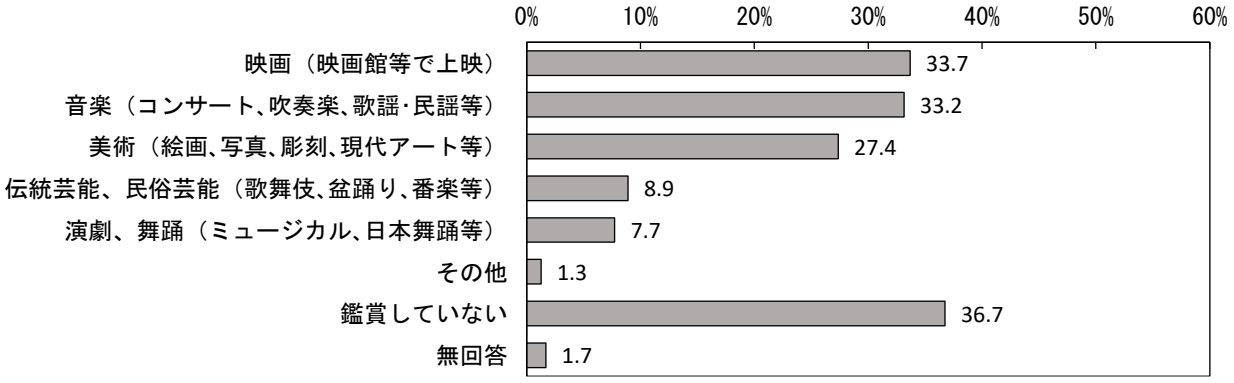


5　文化芸術の鑑賞・活動について

（１）文化芸術の鑑賞の頻度

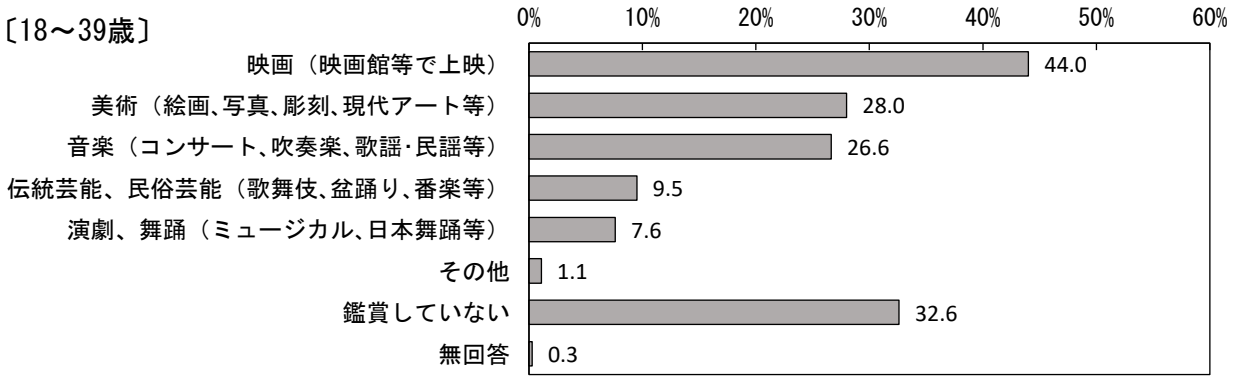
①　あなたは、ここ１年間に文化施設等に出向いて直接鑑賞した文化芸術はありますか（○はいくつでも）。

【全体】

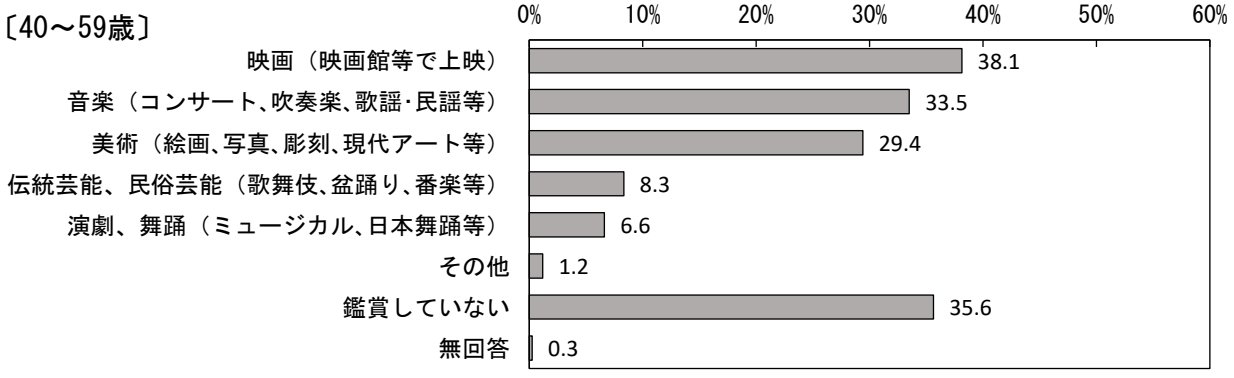


【年代別】

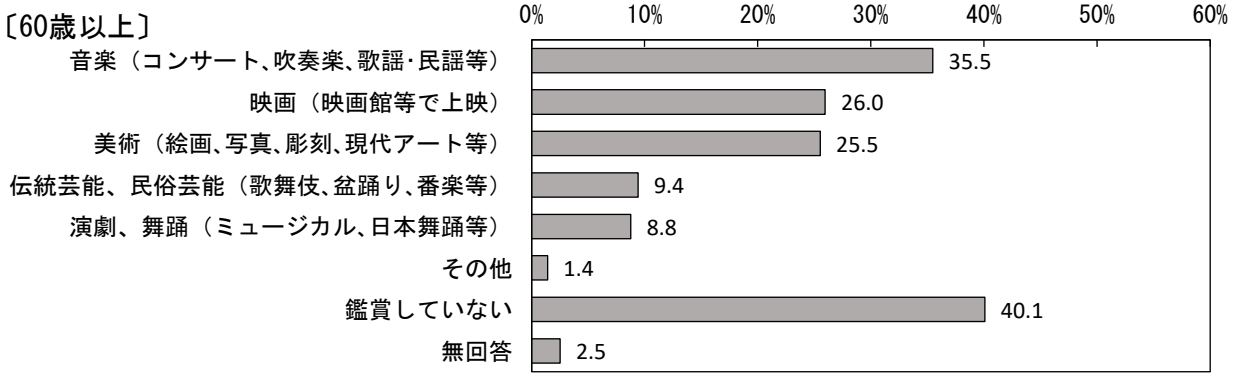
〔18～39歳〕



〔40～59歳〕



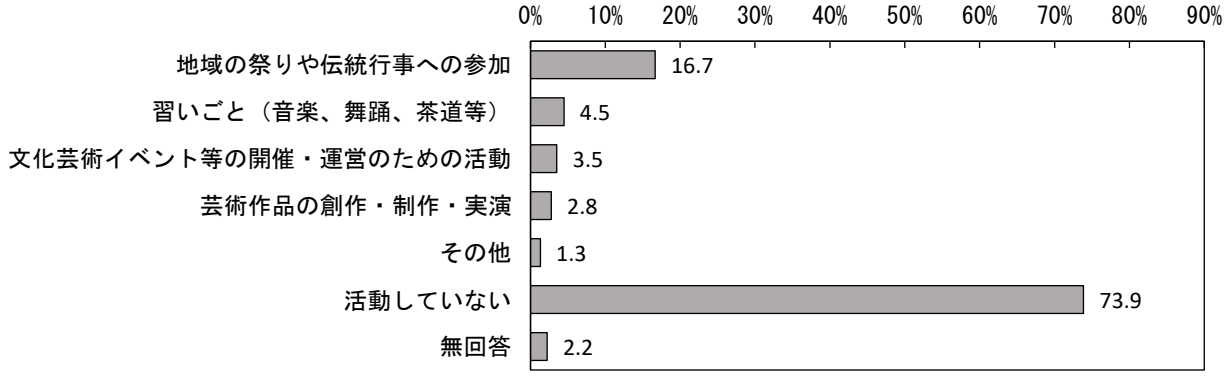
〔60歳以上〕



（２）文化芸術の活動の頻度

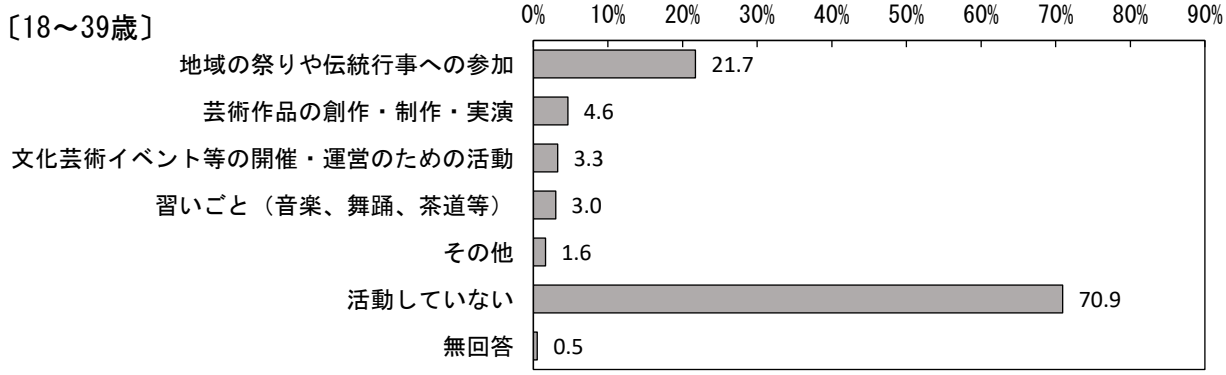
② あなたは、ここ１年間に芸術作品の創作、文化イベントへの出演・参加、文化事業でのボランティア活動などを行いましたか（○はいくつでも）。

【全体】

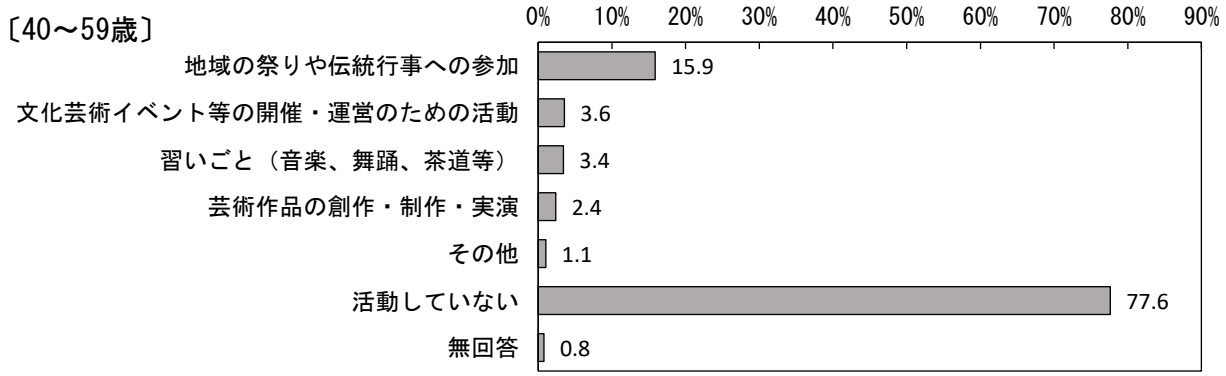


【年代別】

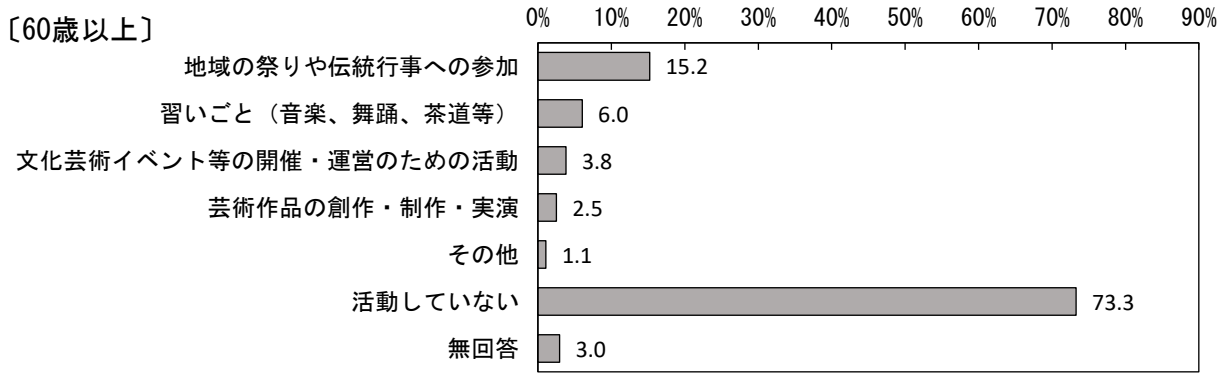
〔18～39歳〕



〔40～59歳〕



〔60歳以上〕



６　読書活動について

（１）読書への興味

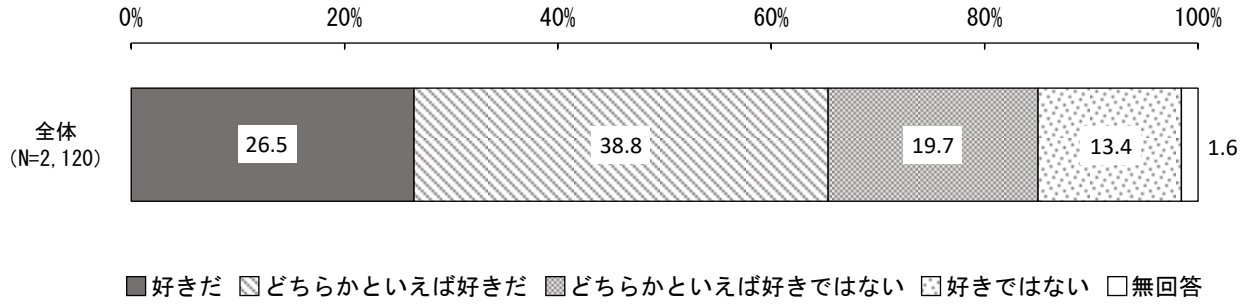
①　あなたは読書（※）が好きですか（○は１つ）。

※読書には、新聞及び雑誌（電子媒体の記事（注１）を含む。）のほか、子どもへの読み聞かせ、オーディオブック（注２）も含みます。

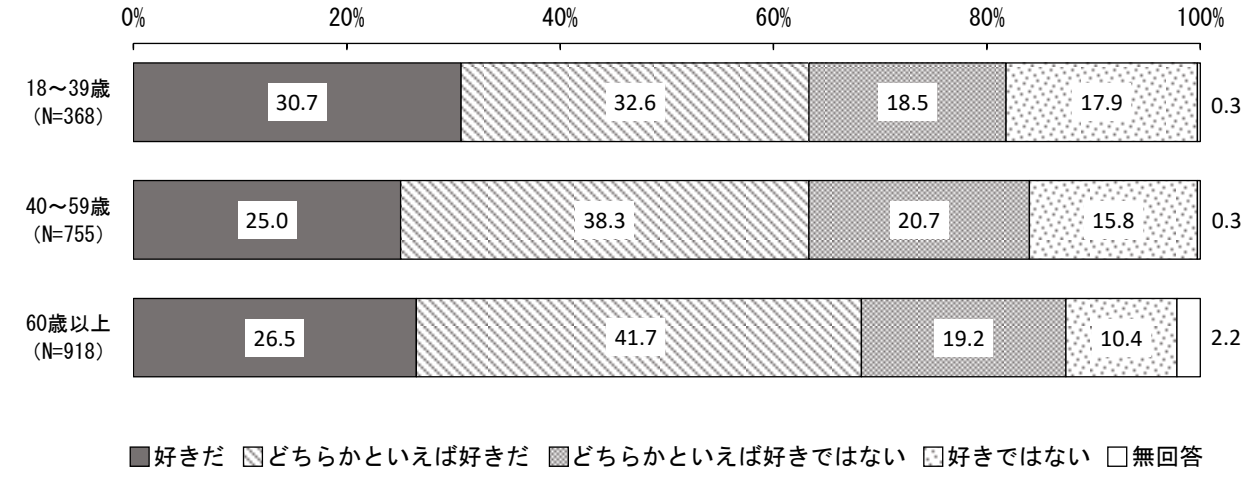
（注１）電子媒体の記事とは、新聞社や出版社等がインターネット上に掲載しているニュースや雑誌記事等のことです。

（注２）オーディオブックとは、書籍を朗読したものを録音したＣＤやカセット、インターネット上で提供されている音声コンテンツのことです。

【全体】



【年代別】



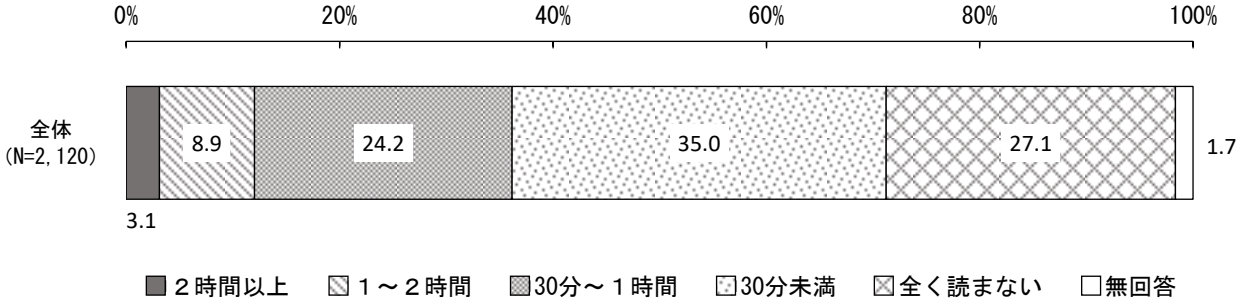
（２） １日の平均読書時間

② あなたは１日平均（※）どれくらい読書をしていますか（○は１つ）。

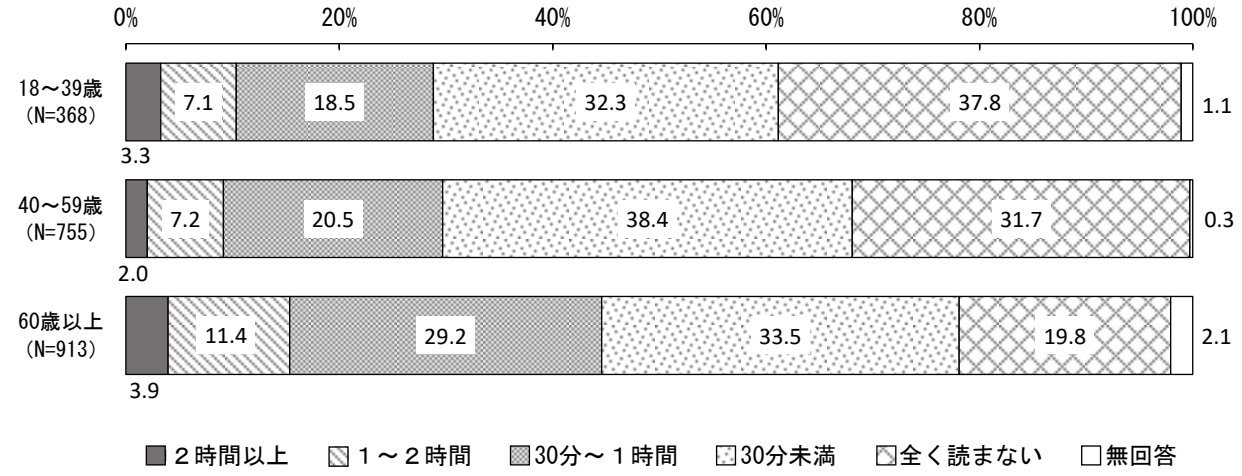
※子どもへの読み聞かせ時間も含みます。

※休日まとめ読みの場合は、１日平均に置き換えてください。

【全体】



【年代別】

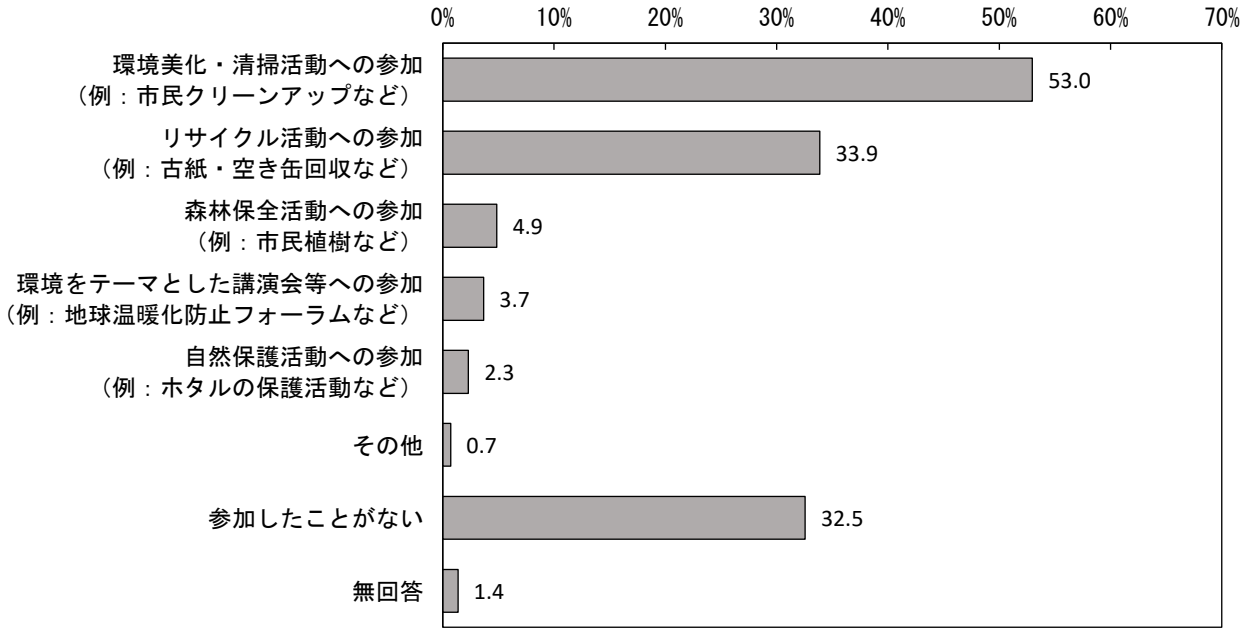


7　環境保全活動について

環境保全活動への参加状況

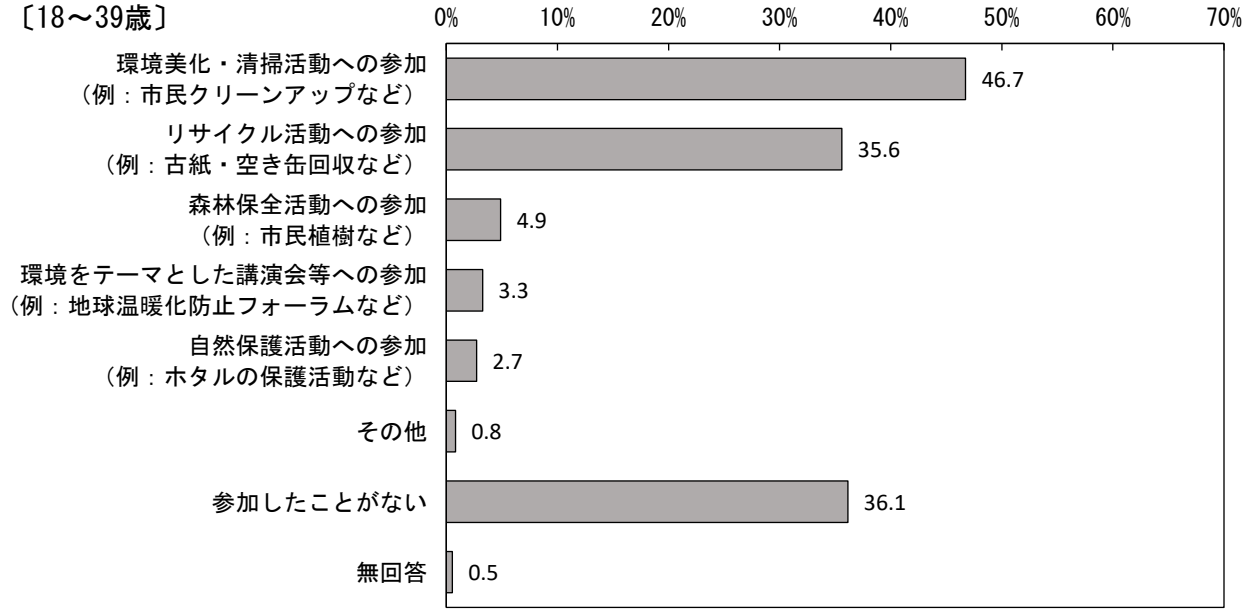
①　あなたは、これまで環境保全活動に参加したことがありますか（○はいくつでも）。

【全体】

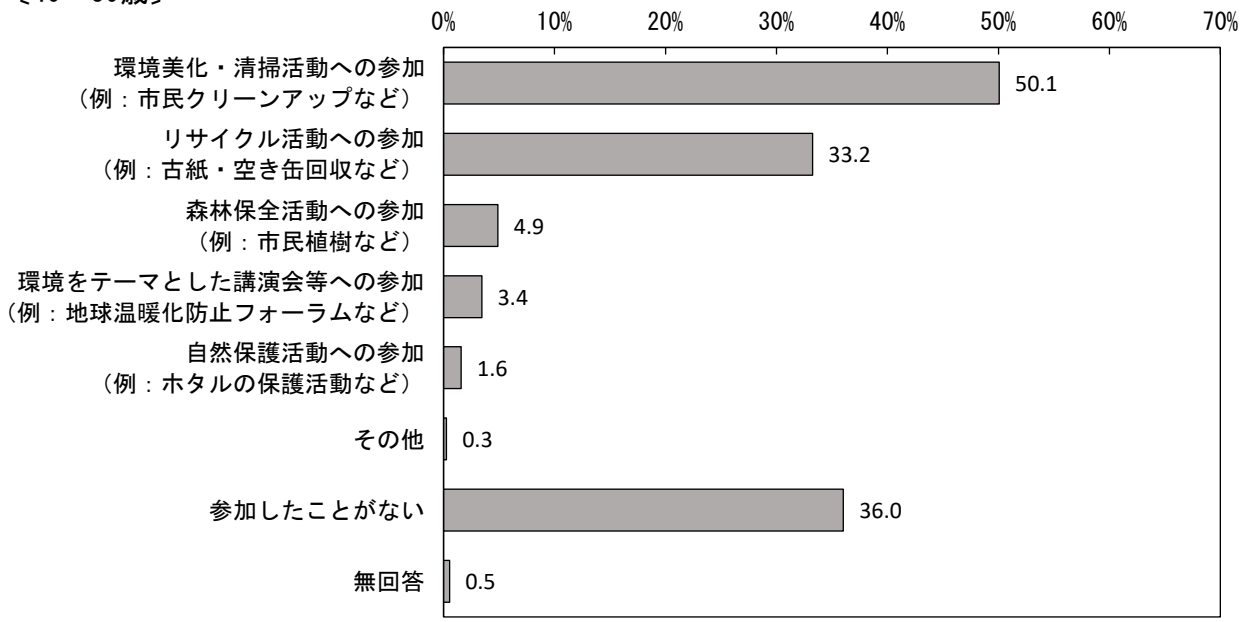


【年代別】

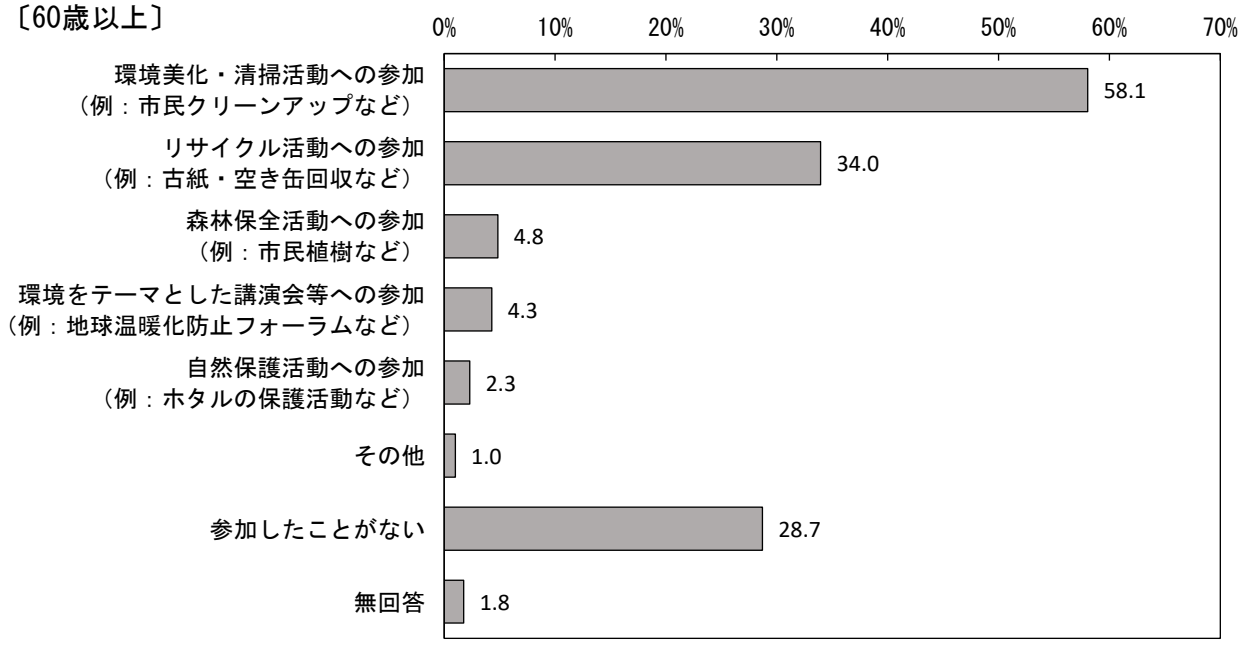
〔18～39歳〕



〔40～59歳〕


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
環境美化・清掃活動への参加
（例：市民クリーンアップなど）
50.1
リサイクル活動への参加
（例：古紙・空き缶回収など）
33.2
森林保全活動への参加
（例：市民植樹など）
4.9
環境をテーマとした講演会等への参加
（例：地球温暖化防止フォーラムなど）
3.4
自然保護活動への参加
（例：ホタルの保護活動など）
1.6
その他
0.3
参加したことがない
36.0
無回答
0.5

〔60歳以上〕


0%
10%
20%
30%
40%
50%
60%
70%
環境美化・清掃活動への参加
（例：市民クリーンアップなど）
58.1
リサイクル活動への参加
（例：古紙・空き缶回収など）
34.0
森林保全活動への参加
（例：市民植樹など）
4.8
環境をテーマとした講演会等への参加
（例：地球温暖化防止フォーラムなど）
4.3
自然保護活動への参加
（例：ホタルの保護活動など）
2.3
その他
1.0
参加したことがない
28.7
無回答
1.8

8　社会活動・地域活動について

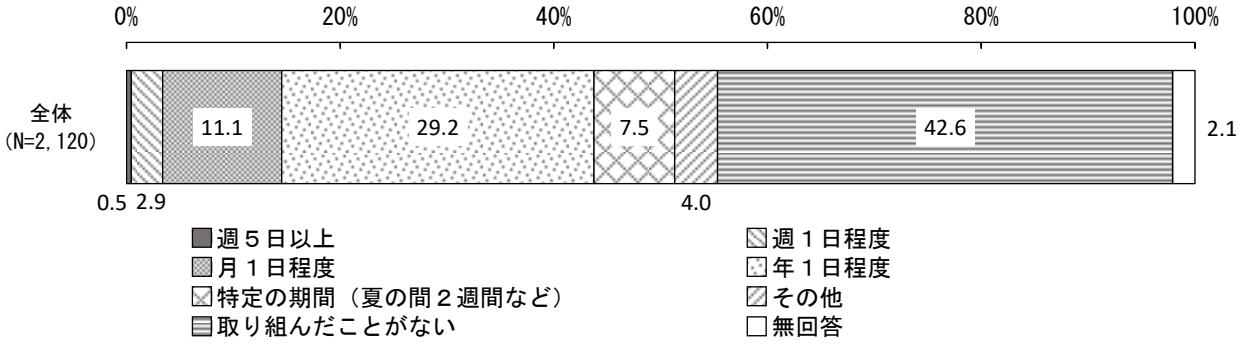
社会活動・地域活動への取組の頻度

① あなたが、ここ１年間に仕事以外の何らかの「社会活動・地域活動」（※）に取り組んだ頻度で、もっとも当てはまるものはどれですか（○は１つ）。

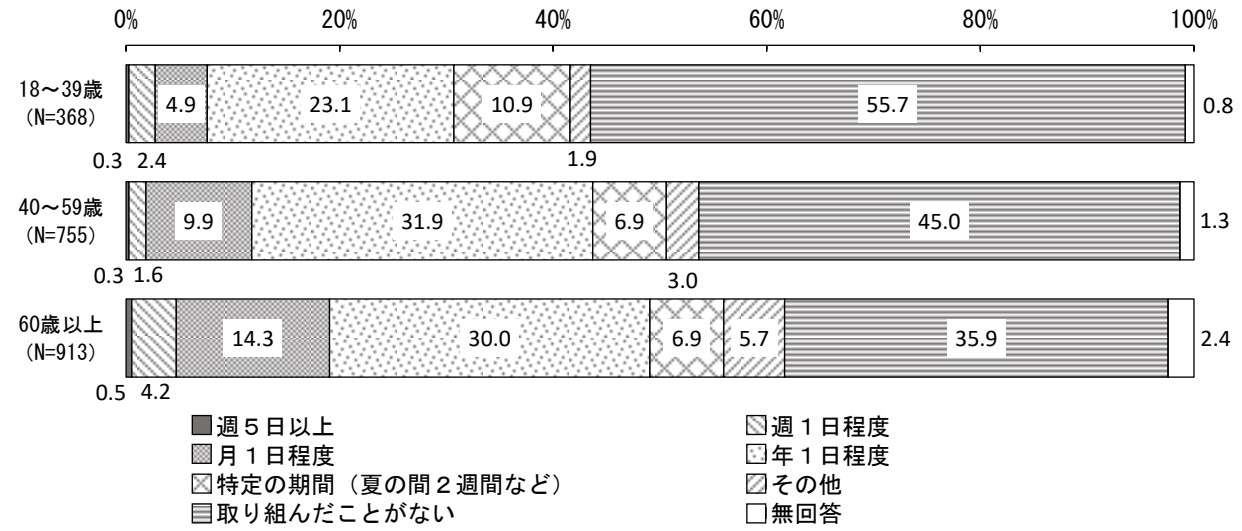
※「社会活動・地域活動」の具体例

地域の公園の花壇の手入れ、町内一斉清掃への参加、河川のごみ拾い、子育て支援、子ども会活動、まちづくりフェスティバル、祭り・伝統芸能の担い手、高齢者宅の除雪の手伝い　等

【全体】



【年代別】

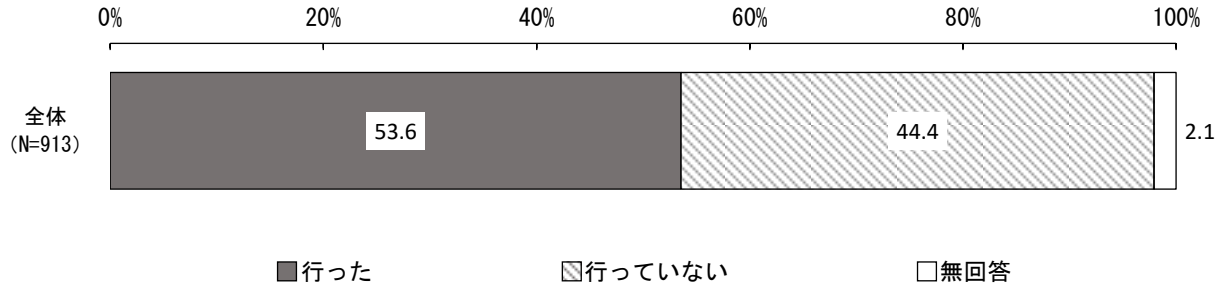


９　高齢者の社会参加について

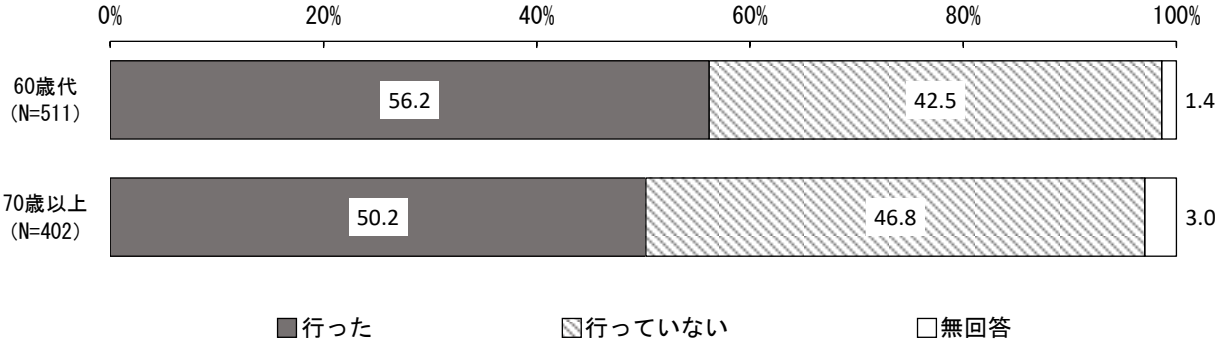
60 歳以上の方の仕事や社会活動等への参加状況（令和６年度）

①　60 歳以上の方にお聞きします。あなたは、令和６年度に仕事や社会活動等（趣味や健康づくり、生涯学習を含む。）を行いましたか（どちらかに〇）。

【全体】



【年代別】

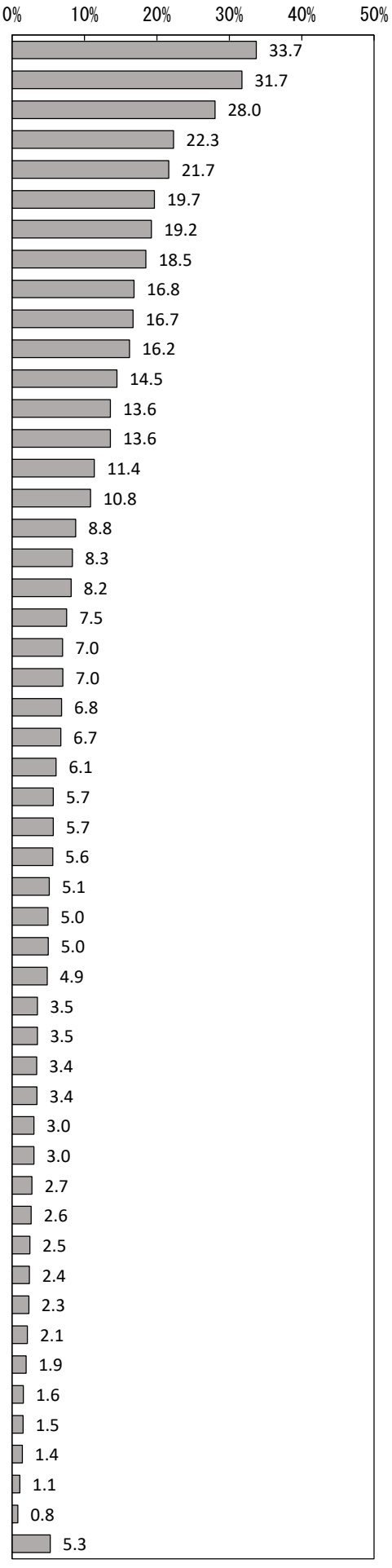


第３章 県政の重要課題について

重要課題として県に力を入れてほしいこと（問４）

今後の県政を推進していく上で、あなたが重要課題として県に力を入れてほしいことは何ですか。５つまで選択して番号を記入してください。

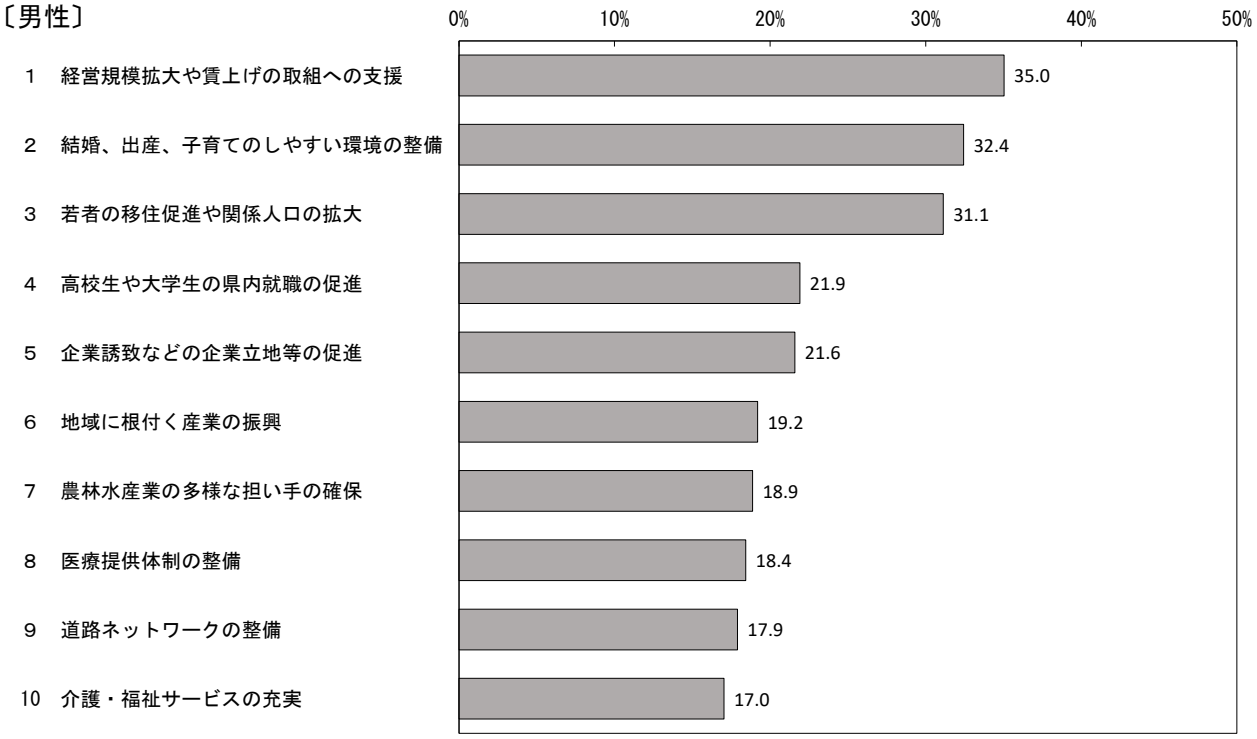
【全体】



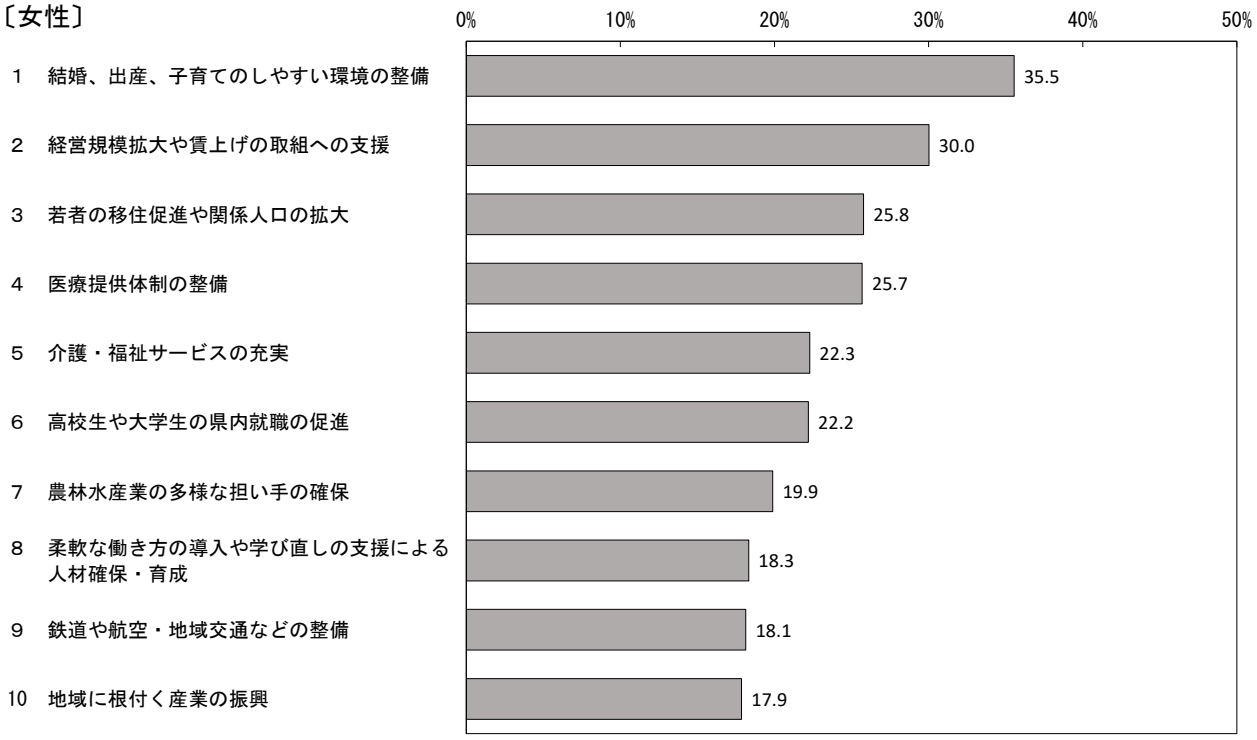
1	結婚、出産、子育てのしやすい環境の整備	33.7
2	経営規模拡大や賃上げの取組への支援	31.7
3	若者の移住促進や関係人口の拡大	28.0
4	医療提供体制の整備	22.3
5	高校生や大学生の県内就職の促進	21.7
6	介護・福祉サービスの充実	19.7
7	農林水産業の多様な担い手の確保	19.2
8	地域に根付く産業の振興	18.5
9	企業誘致などの企業立地等の促進	16.8
10	鉄道や航空・地域交通などの整備	16.7
11	柔軟な働き方の導入や学び直しの支援による人材確保・育成	16.2
12	快適で安らげる生活基盤の整備	14.5
13	地域経済をけん引する企業の創出・育成	13.6
13	道路ネットワークの整備	13.6
15	食品や水道などの安全・安心の確保	11.4
16	災害リスクに対する防災・減災対策の推進	10.8
17	国内外からの観光誘客の強化	8.8
18	犯罪や交通事故の少ない地域づくり	8.3
19	若者のチャレンジへの支援	8.2
20	健やかな体や豊かな人間性を育む教育の充実	7.5
21	スマート農業や環境保全型農業の普及と水田の大区画化の推進	7.0
21	農産物のブランド化と流通・販売体制の整備	7.0
23	スポーツの振興による地域の活力向上	6.8
24	貧困や虐待等、複雑な事情を抱える子どもへの支援	6.7
25	教員の指導力や学校施設など教育環境の整備	6.1
26	野菜や果樹、花き、畜産物等の生産拡大	5.7
26	充実した行政サービスを提供できる効率的な行政運営	5.7
28	健康寿命の延伸に向けた取組の推進	5.6
29	輸送機・新エネルギー・情報・医療分野等の成長分野への参入促進	5.1
30	サキホコレのブランド確立をはじめとした戦略的な米生産	5.0
30	女性の活躍推進や男女共同参画の推進	5.0
32	多様性が認められ、安心して生活できる地域コミュニティの維持	4.9
33	県内企業のデジタル技術の活用促進	3.5
33	引きこもり状態にある人への支援	3.5
35	自殺予防対策の推進	3.4
35	英語教育と国際教育の充実	3.4
37	オリジナル商品の開発や販路拡大による食品産業の振興	3.0
37	自然環境保全対策の推進	3.0
39	再造林の促進と林業・木材産業の振興	2.7
40	動物愛護活動の推進	2.6
41	温暖化防止活動やリサイクル等の推進	2.5
42	文化芸術の担い手の確保と文化による振興	2.4
43	地域防災活動の充実	2.3
44	生涯学習機会や良質な文化芸術に親しむ機会の充実	2.1
45	安定的な漁業生産による水産業の発展	1.9
46	学力向上に向けた取組の充実	1.6
47	農山漁村での交流活動による活力向上	1.5
48	ふるさと教育やキャリア教育の充実	1.4
49	デジタル社会等に対応した専門教育の充実	1.1
50	大学等の地域貢献活動の強化	0.8
51	無回答	5.3

【性別】

〔男性〕

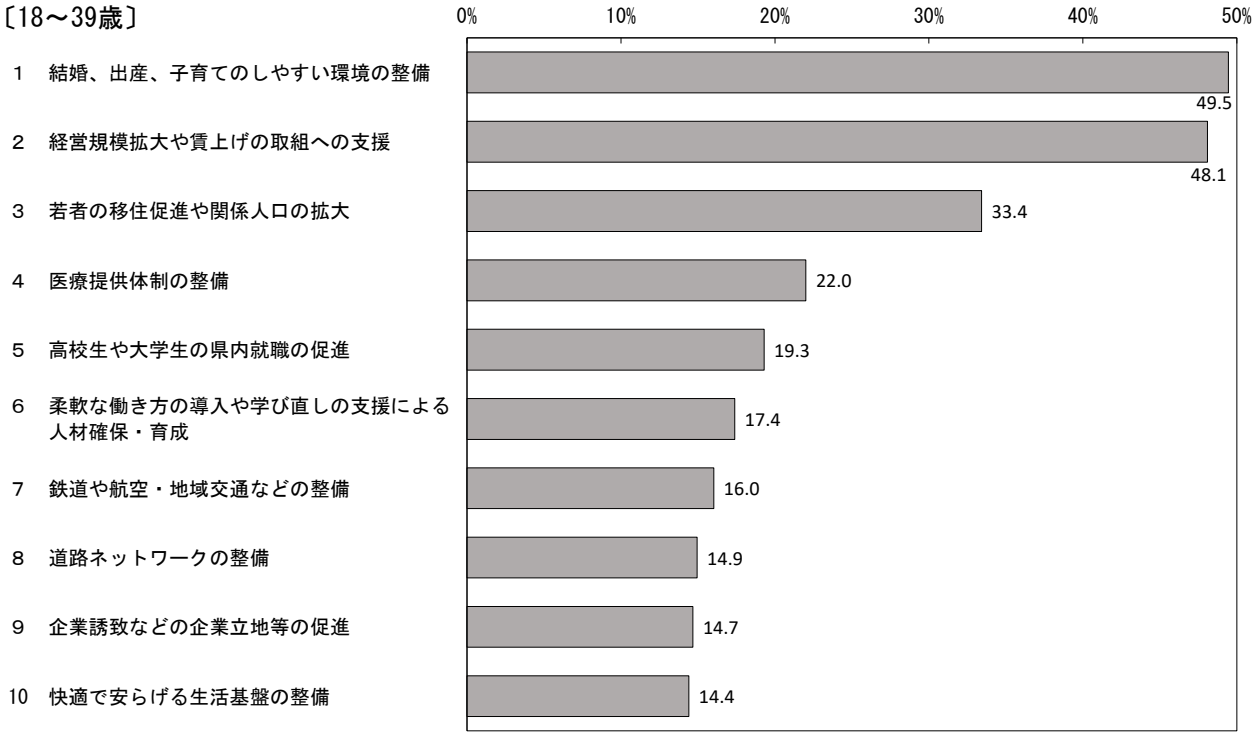

0%
10%
20%
30%
40%
50%
1 経営規模拡大や賃上げの取組への支援
35.0
2 結婚、出産、子育てのしやすい環境の整備
32.4
3 若者の移住促進や関係人口の拡大
31.1
4 高校生や大学生の県内就職の促進
21.9
5 企業誘致などの企業立地等の促進
21.6
6 地域に根付く産業の振興
19.2
7 農林水産業の多様な担い手の確保
18.9
8 医療提供体制の整備
18.4
9 道路ネットワークの整備
17.9
10 介護・福祉サービスの充実
17.0

〔女性〕

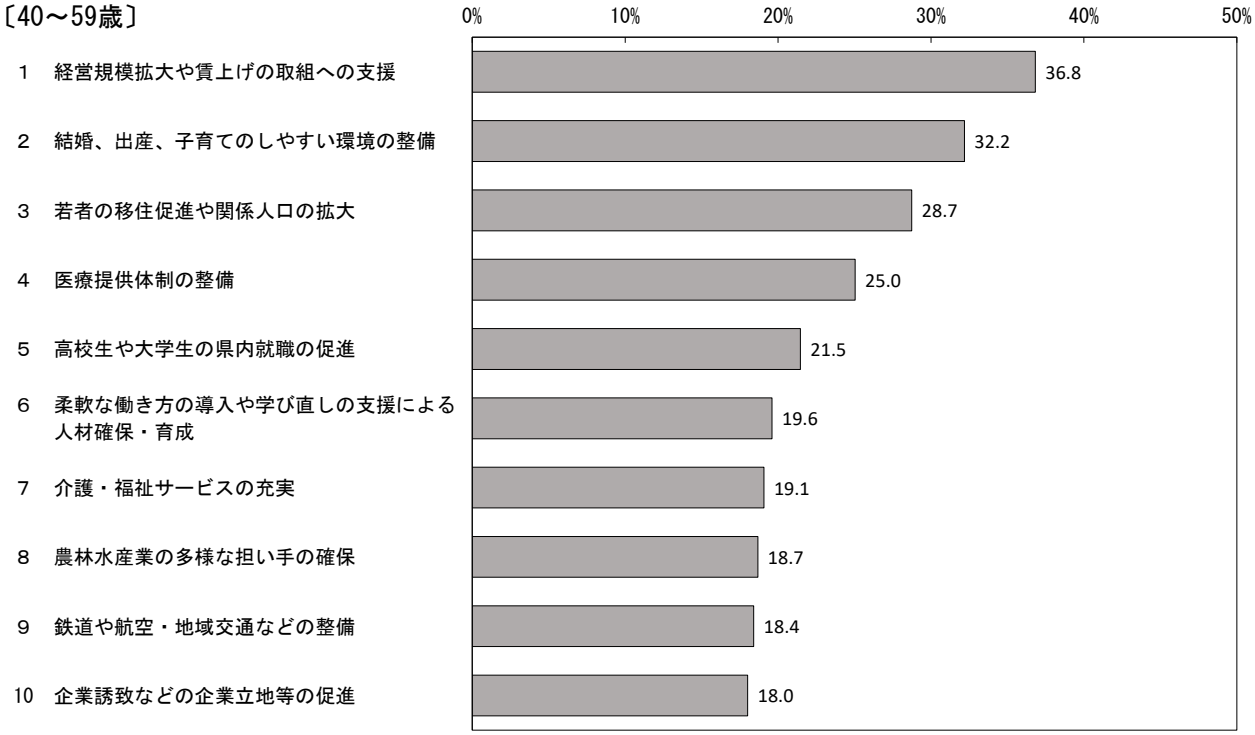

0%
10%
20%
30%
40%
50%
1 結婚、出産、子育てのしやすい環境の整備
35.5
2 経営規模拡大や賃上げの取組への支援
30.0
3 若者の移住促進や関係人口の拡大
25.8
4 医療提供体制の整備
25.7
5 介護・福祉サービスの充実
22.3
6 高校生や大学生の県内就職の促進
22.2
7 農林水産業の多様な担い手の確保
19.9
8 柔軟な働き方の導入や学び直しの支援による人材確保・育成
18.3
9 鉄道や航空・地域交通などの整備
18.1
10 地域に根付く産業の振興
17.9

【年代別】

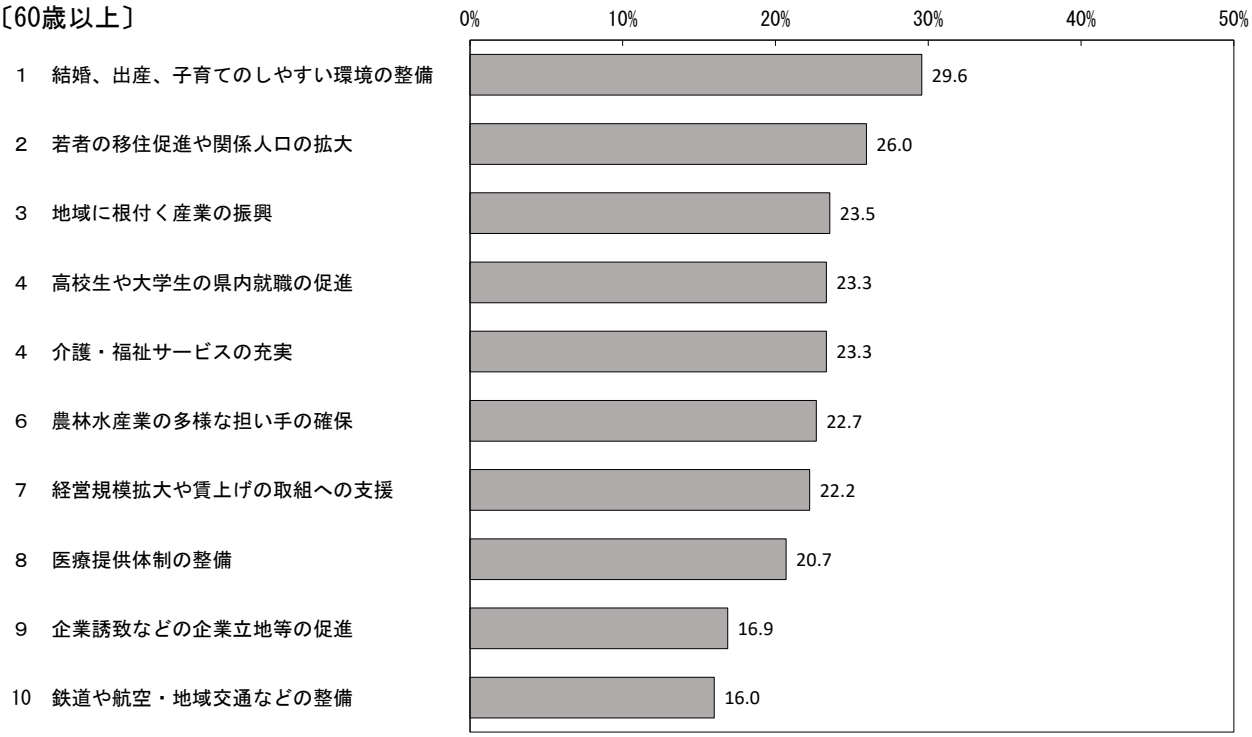
〔18～39歳〕



〔40～59歳〕



〔60歳以上〕


0%
10%
20%
30%
40%
50%
1　結婚、出産、子育てのしやすい環境の整備
29.6
2　若者の移住促進や関係人口の拡大
26.0
3　地域に根付く産業の振興
23.5
4　高校生や大学生の県内就職の促進
23.3
4　介護・福祉サービスの充実
23.3
6　農林水産業の多様な担い手の確保
22.7
7　経営規模拡大や賃上げの取組への支援
22.2
8　医療提供体制の整備
20.7
9　企業誘致などの企業立地等の促進
16.9
10　鉄道や航空・地域交通などの整備
16.0

第４章 県政への自由意見について

県に力を入れてほしいことや、県が取り組むべきだと思うことについて、何でもお気軽にお聞かせください。（問５）

【集計の方法】

回答を内容によりＡ～Ｎの 14 項目に分類した。同一の回答者が複数の意見を記入している場合には、項目を分けて別意見として扱っている。

１　自由意見の項目別件数

項番	項　　目	件数
A	商工業・雇用・労働に関すること	130
B	農林水産業に関すること	55
C	観光に関すること	27
D	文化・スポーツに関すること	39
E	道路・交通ネットワークに関すること	58
F	移住・定住に関すること	36
G	結婚・出産・子育てに関すること	111
H	女性・若者の活躍に関すること	43
I	地域社会の維持・活性化に関すること	35
J	健康・医療・福祉に関すること	77
K	教育・人づくりに関すること	45
L	防災減災に関すること	4
M	生活環境・自然環境に関すること	53
N	県政全般に対する意見・その他	376
合　　計		1,089

２　主な自由意見

777 人から 1,089 件の意見があり、一部を抜粋して掲載する。なお、誤字等は校正しているため、掲載文は回答の原文とは異なる場合がある。

Ａ．商工業・雇用・労働に関すること

●働きたくてもブランクを気にしている方がいると思うので、事情により一定期間働いていない人が気にせず働ける会社が必要だと思う。また、数時間だけ働くなど、少しずつ社会復帰できる場所を作ってほしい。（女性／30 歳代／由利地域）

●会社を経営しているが、経営側も労働者側も昨今の物価高騰により大変苦しい生活を送っている。中小企業とそこで働く労働者へ大きな支援をお願いしたい。（男性／30 歳代／仙北地域）

●物価高が続く中、賃上げがないと子どもを育てるのが困難になるし、結婚をしても子どもを産もうという気持ちになれない。とにかく賃上げが大事だと思う。（男性／30 歳代／仙北地域）

●やりがいのある仕事、それに見合った賃金、地域貢献ができる環境があればいいと思う。（女性／40 歳代／秋田地域）

●早急に建設業の人員確保に取り組み、現在働いている人の負担を少しでも軽減して、働きやすい職場になるようにしてほしい。（男性／40 歳代／秋田地域）

●まずは、秋田県の最低賃金を全国ワーストから改善してほしい。県民の生活が潤っていなければ県としての経済活性化もないのではないか。（女性／40 歳代／秋田地域）

●中小企業の職場で働いているが、働き方改革が中小企業まで行き届いていない。また、有給休暇も、業務量が多いため自由に取れる雰囲気ではない。（女性／40 歳代／秋田地域）

●女性人口が減っているので、女性にも選ばれる県になるべく、スキルのある女性に残ってもらえる・来てもらえるような、魅力のある企業が増えるよう取り組んでほしい。（女性／40 歳代／山本地域）

●若者に人気の高い職種の大企業を誘致し、県内への定着を促進してほしい。（女性／40 歳代／平鹿地域）

●高校を卒業した後、県外へ進学・就職することは、本人の意思なので止めることはできない。ただし、帰ってきたいと思わせる秋田県を作るのは今の大人の責任だと思う。秋田にいながら安心した生活を送ることができれば、東京のみならず全国へ遊びに行くことができるようになることから、賃金が上がり、また、交通機関が充実すればいいのではないかと思う。（女性／50 歳代／北秋田地域）

●秋田は土地も人件費も安く、また、海外の工場を国内に戻す下地は整ってきていると思うので、工場の国内回帰を進めるための制度設計や支援体制を整えてもらいたい。（男性／50 歳代／由利地域）

●高齢者の働き場所を確保してほしい。働く意思のある人が生涯働ける環境が必要だと思う。（男性／60 歳代／秋田地域）

●製造業等について高齢化に伴い廃業が進んでおり、長年培ってきた技術・伝統がなくなってしまう。地元の財産を守る取組や更に発展させていく取組が必要ではないか。（女性／70 歳以上／雄勝地域）

Ｂ．農林水産業に関すること

●米や作物が不足していることよりも、まずは後継者不足が問題だと思う。農業の利益がもっと上がれば、若者も農業を仕事として選ぶのではないか。（女性／30 歳代／秋田地域）

●秋田の食料自給率の高さは強みだと思う。ただ、高齢の方が支えてきた結果なので、全国の若い世代が農業をやりたいと秋田に集まるように環境を整えてほしい。（女性／40 歳代／秋田地域）

●秋田県には美味しい空気、水、自然があり恵まれていると思う。美味しい米をもっとたくさん作るための道筋づくりをするのが県の仕事なのではないか。（その他／50 歳代／鹿角地域）

●秋田はいいものがあるのに、ＰＲが下手だと思う。一次産業を中心とした発展と、人を呼び込むことに力を入れてほしい。（女性／50 歳代／北秋田地域）

●基幹産業である農業を充実させ、六次産業化を図り、地元に根づく会社を育てるべきではないか。（男性／70 歳以上／秋田地域）

●スマート農業の拡大に助成金や補助金があると若い世代もやる気が出るのではないか。（男性／70 歳以上／仙北地域）

C．観光に関すること

●都会に比べて空いている美しい観光地は魅力的だと感じるので、大勢に来てもらうのではなく、単価の高い限定サービスを富裕層に提供できるといいのではないか。（男性／50 歳代／由利地域）

●東北の各県と比較して、秋田県に行ったことがない人が多くいると思うので、「今年は秋田に行こう」と思ってくれる方が増えるよう、もっとたくさんＰＲしてほしい。（女性／60 歳代／秋田地域）

●台湾のチャーター便など海外向けのＰＲもいいと思うが、もっと県外からの誘客を拡大できるよう国内向けにもＰＲしてほしい。（女性／70 歳以上／秋田地域）

D．文化・スポーツに関すること

●秋田県の美味しい食べ物や名産品などを全国にもっとアピールして、地域経済を活性化してもらいたい。（その他／40 歳代／平鹿地域）

●伝統工芸の継承、存続に関する援助が不十分に感じる。また、それを県の魅力として国内外にＰＲする方法も工夫の余地を感じる。それぞれの分野に精通する方々が沢山いるのだから、つながって協力し合えばより良い県になるのではないか。（女性／40 歳代／秋田地域）

●新しいサッカースタジアム建設の後押しもお願いする。どうしたら建設できるのか、市やブラウブリッツと共に考えてほしい。（女性／60 歳代／秋田地域）

●60 歳以上の人たちの健康のためにスポーツや軽い運動などを自由にできる施設があるといいと思う。（女性／70 歳以上／平鹿地域）

E．道路・交通ネットワークに関すること

●他県から秋田へのアクセスが非常に悪いため、もっとアクセスしやすいようにしてほしい。（女性／30 歳代／秋田地域）

●災害が多いため、少しでも安心して住めるように交通網整備に尽力してほしい。（女性／40 歳代／雄勝地域）

●都心部へのアクセスについて、利便性向上と低価格化により、秋田は住むところ、都心部は遊びに行くところという認識になるよう取り組んでほしい。（女性／50 歳代／秋田地域）

●自動運転車両の実現に向けた取組とテストケースを増やしてほしい。また、食料の購入や通院等の際の移動手段（コミュニティバス等）について実験・検討してほしい。（男性／60 歳代／秋田地域）

●最近道路の穴が目立つと感じており、埋めてもまたすぐ掘れてしまうように思う。また、避けて運転する車も見かけるが、危険に感じることがある。（男性／60 歳代／北秋田地域）

●秋田市に気軽に行ける高速バスの運営に力を入れてほしい。鹿角市から秋田市は距離があるが、さまざまな講習が主に秋田市で行われるため、高速バスがあれば助かるし、買いものもできて良いと思う。鹿角市から盛岡市に行く人が多いため、秋田市を身近に感じられるような取組を行ってほしい。（女性／60 歳代／鹿角地域）

Ｆ．移住・定住に関すること

●県内の小・中・高校生が就職などで出ていく前に、地域に興味を持ったり、地域とつながるきっかけが作れる取組があればいいと思う。秋田愛を育んでほしい。（女性／10 歳代／北秋田地域）

●移住者に手厚いのはいいと思うが、秋田県から離れずに頑張っている若者等へも移住者同様の補助や支援があってもいいのではないか。（男性／30 歳代／仙北地域）

●若者が他県へ移住してしまう理由を真摯に受け止め、改善することに力を入れてほしい。（男性／30 歳代／雄勝地域）

●県外に出た若者世代にとって、秋田に戻るメリットがあまりないように感じるので、秋田に人が定着するような政策を実施してほしい。（女性／40 歳代／秋田地域）

Ｇ．結婚・出産・子育てに関すること

●出かけ先で子どものオムツ交換をする時、女性側にオムツ交換台があるのに男性側には無いことが多いため、つけてほしい。（女性／20 歳代／由利地域）

●子どもが楽しく遊べる場所が増えてほしい。（女性／30 歳代／雄勝地域）

●子どもが大きくなるにつれて、遊べる環境が少ないことに気付いた。のびのびと遊べる環境が少なく、雨が降ると遊べる場所がないに等しいと感じる。（女性／30 歳代／秋田地域）

●雨が降った休日に、小さい子どもを連れて行ってあげられる場所がない。商業施設の空きスペース等を県がかけあって、公園のような子どもが遊べるスペースにしてもらえたら子育てしている身としてはとてもありがたい。（女性／30 歳代／仙北地域）

●出産、育児支援が重要であり、病児保育の体制を整えれば、親世代は安心して仕事もできるし、出生率も上がるのではないか。（女性／40 歳代／秋田地域）

●国の少子化対策として、不妊治療など制度は充実しつつあるが、治療に伴う福利厚生的な配慮のある職場は実際には少ないと思う。妊娠可能年齢の方で不妊治療に臨む方には、もっと柔軟な働き方をして、妊活を優先できたら安心できると感じる。（女性／50 歳代／仙北地域）

●もっと男女の出会いや結婚等について真剣に考え、取り組んでほしい。（男性／50 歳代／仙北地域）

●雨天時でも思いきり動いて遊べるような施設があると良いと思う。他県からも人を呼び込めるような施設だと、活性化にもつながるのではないか。（女性／50 歳代／北秋田地域）

●仕事を休めない人はたくさんいるので、市や町が一体となり、子どもの一時預かりがどんなときでも利用できる体制を構築するべきだと思う。（男性／60 歳代／雄勝地域）

●小さな子に対する支援はおおむね実施されていると思うが、一番お金のかかる高校生・大学生の支援は少ないと感じる。今後社会に出て秋田を背負う中学生・高校生をもう少し大事に扱ってほしい。（女性／60 歳代／秋田地域）

●産後ケアや分娩費の無償化はとても大切なことだが、その前に「幸せな分娩体験」をさせてあげる医療現場の改善こそが大切で目を向けてほしいと思う。産科病棟の閉鎖やクリニックの閉院が起きている状況が続くようでは豊かな社会づくりは難しいのではないか。（女性／60 歳代／雄勝地域）

H．女性・若者の活躍に関すること

●「男は仕事、女は家庭」というのをよく聞くが、今は女性も仕事をしたい、活躍したいという人が多い。妊娠のタイミングで仕事を諦めてしまう女性も少なくないため、家庭持ちの女性でも働きやすく戻りやすい、活躍できる環境を増やしてほしい。（女性／20 歳代／仙北地域）

●女性の活躍を推進するためには、男性の積極的な家事や育児への参画が必要だと思う。遊んで終わる育休の取得ではなく、実際に産後の妻の代わりになんでもこなすという意識作りを学校や会社でしてもらいたい。家事は女性がやるものという、古い考えを根絶しなければ、子供を持とうという気持ちにはなれないと思う。（女性／30 歳代／仙北地域）

●若い世代が、秋田にいても何の仕事でもできる、何者にでもなれると感じられるように、秋田がいいと思える取組をし、仕組みをつくり、また、教育をしていかなければ、人口はますます減っていくと思う。（女性／40 歳代／秋田地域）

●これまでの地域活性化の成功事例を見ると、人が人を呼ぶサイクルがうねりとなって周りを巻き込んでいく形となっている。県をはじめ、県内基礎自治体において、次の時代を担う若者がチャレンジできる環境整備に取り組んでほしい。（男性／50 歳代／北秋田地域）

Ⅰ．地域社会の維持・活性化に関すること

●将来を見据えて県全体のあり方を見直し、少しでも暮らしやすいように方策を講じてほしい。（男性／60 歳代／秋田地域）

●各地域が一体となり、東北六魂祭のような秋田の祭りを持ち回りで実施するなど、地域の祭りと一体となり秋田を盛り上げてほしい。（男性／60 歳代／由利地域）

●コロナ前は敬老会や住民運動会など地域の関わりがあったが、コロナが落ち着いても、再び開催されることがなく残念である。人と人との関わりが少なくなっているので、皆が協力し内容を変えるなど、工夫してやってほしいと思う。（男性／60 歳代／雄勝地域）

●子ども達と高齢者が接点をもって楽しめる施設（カフェ）のような場所が必要だと思う。（女性／70 歳以上／平鹿地域）

Ｊ．健康・医療・福祉に関すること

●秋田県内でも、中央と県北では格差がある。県北の医療について、利便性を拡大してほしい。（女性／40 歳代／北秋田地域）

●高齢化が進む中、介護の問題が出てくると思うが、介護職員の賃金を見直すなどして人員を確保し、人手不足にならないように取り組んでほしい。（女性／40 歳代／由利地域）

●「老後は秋田へ移住」というイメージとともに国内外から移住者が訪れるように介護福祉の充実を図ってはどうか。祖父母等が移住すると、子どもたちが秋田を訪れると思う。（男性／40 歳代／秋田地域）

●高齢化が更に進むので、必要な医療を誰でも受けられるような体制が整備されれば、安心して生活できるようになると思う。（男性／40 歳代／秋田地域）

●高齢者にわかりやすい老後サービスや退職者雇用の充実を図り、セカンドライフにおける職業の選択肢の多様化を図ってほしい。（男性／50 歳代／秋田地域）

●大きな病院では予約がないと診てもらえず困った経験が多々あるので、いざという時の病院の診療体制の強化に取り組んでほしい。（女性／60 歳代／北秋田地域）

●小児科医や産婦人科医を招くなど、地域に根ざした医療施設（病院）の充実を図ることで、子どもたちの声が聞こえる社会を築き、それが将来の人口増加及び笑顔の見える地域社会を築いていくことにつながると思う。（女性／70 歳以上／北秋田地域）

●医療、福祉に関して地域格差がないようにしてほしい。（女性／70 歳以上／北秋田地域）

K．教育・人づくりに関すること

●地元雇用を増やすために、保育園や小学校の頃から地元の魅力に触れる機会をつくり、「秋田は田舎じゃない。もっと魅力がある！」ということを知ってもらえれば、県外に行く人は少なくなるのではないか。（女性／10 歳代／山本地域）

●子どもたちが安心して成長し、将来活躍できる場所や活躍できるスキルを身につけられる仕組みを作ってほしい。（男性／40 歳代／平鹿地域）

●学校の先生が余裕をもって子どもたちに接するゆとりが必要。学校では支援員やボランティアにもっと参画してもらうべきではないか。（女性／50 歳代／北秋田地域）

●教職員の数が不足しているという話を聞く。家庭とのトラブル、子どもたちへの対応など難しい問題が多いため、現場の声を生かした対応策を考えてほしい。（女性／60 歳代／秋田地域）

●ひきこもりになっている人が気兼ねなく登校・登園できる場を作ってもらいたい。自由に出入りしたり、交流できる居場所があれば良いと思う。（女性／70 歳以上／仙北地域）

L．防災減災に関すること

●今や子どもの数よりペットの数の方が上回っていると聞くが、もし災害が発生したら、ペットを飼う方の避難場所は確保されているのか。（女性／30 歳代／秋田地域）

●市町村と連携して防災の強化を図ってほしい。（女性／50 歳代／秋田地域）

●大雨・洪水の対策の強化をお願いしたい。（女性／60 歳代／秋田地域）

M．生活環境・自然環境に関すること

●風力発電は、必要だから増えていると思うので仕方ないが、増えすぎてどこへ行っても同じ景色になったので景観を損ねている気がする。また、羽根が折れる事故があったので安全面がとても不安。これからも増やしていくのであれば、安全性が保たれていることを県民にしっかり伝える必要があると思う。（女性／30 歳代／山本地域）

●クマ対策を徹底してほしい。獣害が原因で、見えない収益低下や県民の運動不足等の問題が発生していると思う。（男性／40 歳代／鹿角地域）

●水道管などのインフラ設備の老朽化対策を行ってほしい。（女性／40 歳代／平鹿地域）

●電気料金が高いので、風力・水力発電や太陽光発電に力を入れてほしい。（男性／40 歳代／仙北地域）

●雪が溶けると道路脇のゴミが目立つ。自分たちの町をきれいにするように市民に周知してほしい。（女性／60 歳代／由利地域）

N．県政全般に対する意見・その他

●進学等で県外に一度出た人が、卒業後また秋田県に戻ってきたいと思えるような取組をしてほしい。（男性／20 歳代／雄勝地域）

●県内には働く場所がないから秋田に残らないとか、何もないから出ていくという人が非常に多いように感じる。これからの秋田には働ける場所を増やす取組や、少子高齢化により必要性が増している介護職などの待遇を良くするなど、若者が惹かれるような取組をしてほしい。（男性／20 歳代／北秋田地域）

●自然や食べ物、温泉、秋田美人など、全国・世界にアピールできる素敵なものがたくさんあるのに、生かしきれていないのが本当に残念である。（女性／20 歳代／秋田地域）

●人口が減少し、現在人が住んでいる全ての範囲のインフラの修復や除雪は困難になっていくと思う。可能であれば、人が住む範囲を少しずつその地域の中心に集約するなどして、インフラや除雪、交通を維持していく必要があると思う。（男性／30 歳代／秋田地域）

●県民意識調査で意見を聞く前に、県が何に力を入れて、何を県民と一緒に良くしていきたいのか、その情報発信に力を入れてほしい。（男性／30 歳代／秋田地域）

●秋田の魅力を知ってもらうための県外向けの情報発信はとても重要なことであるが、それと同時に、秋田県民への情報発信が行われなければ、どのような政策・取組も成功しないと思う。（男性／30 歳代／秋田地域）

●色々と一度に手を広げすぎて、県民が恩恵や実感を得られない状態になっていると思う。県民の大多数が恩恵や実感を得られるものを優先して取り組んだ方が良いのではないか。（男性／40 歳代／平鹿地域）

●県へ意見を書くのは言葉を選んでしまい、本音が伝えづらい部分がある。直接、対面で言葉を交わした方が思いを伝えられると思うので、そういった機会を作ってほしい。（男性／40 歳代／山本地域）

●秋田県には「何もない」と県民が口にしていることが大問題である。国内外に誇れる自然と観光資源、伝統文化、農産品、水産品、畜産品、食文化等があるので、しっかりと売り出していってほしい。（女性／40 歳代／秋田地域）

●秋田が元気になるためには、県民が一丸となることが大事だと思う。若者が帰りたくなる秋田、また、県外から見て「秋田はいいな」と思える魅力発信をしたい。魅力はたくさんあるので、いかに話題性をつくるかも大事だと思う。（女性／50 歳代／秋田地域）

●行政で取り組んでいることが県民全体に伝わっていないと思う。もっと「これをやっています」というアピールを何度も繰り返し発信してほしい。（男性／50 歳代／仙北地域）

●具体的な手法は浮かばないが、秋田のイメージを変える意識改革が必要だと思う。（女性／50 歳代／仙北地域）

●広く県民の声に耳を傾けてほしい。（女性／50 歳代／秋田地域）

●県の広報活動は量的には十分と感じるが、それが興味を引くものでないと受け手には届かない。興味を持って受け止められるような発信方法の工夫が必要ではないか。（女性／50 歳代／秋田地域）

●努力しているとは思うが結果が出ていないと感じる。現在のやり方で結果が出ないのであれば別の方法を複数考えて実施してみてはどうか。（男性／50 歳代／仙北地域）

●アンケートも重要だが、県の運営に関わっている職員がどうしたいかをわかりやすく発信することも重要だと思う。（男性／50 歳代／由利地域）

●県の政策について、1 年ごとの目標や目玉政策、スローガン等を示して県民を鼓舞してほしい。また、年度末には、成功しても失敗しても反省点を洗い出し、いかにして次に生かすのか、県民に知らせてほしい。（女性／60 歳代／仙北地域）

●県民の意見が言える「投書箱」のようなものを整備してほしい。（男性／60 歳代／秋田地域）

●県の取組について、今回の県民意識調査で具体的な数値が示されたことにより初めて知ることが多くあった。取り組んでいることが分かるように広く県民に示してほしいと思う。（男性／70 歳以上／秋田地域）

●秋田県民の意識改革も必要。秋田には何もないと嘆くのではなく、ないのなら自分達で作ればいいし、県がそういう人達に手を貸すことができれば、もっと良い何かが生まれてくるのではないか。（女性／70 歳以上／平鹿地域）

付属資料：調査票

秋田県

令和7年度 県民意識調査

令和7年5月

◇ 調査の目的

この調査は、令和4年度からの4年間に、県が取り組むべき政策等を取りまとめた県政運営の指針である「～大変革の時代～ 新秋田元気創造プラン」に関する取組について、県民の皆様の満足度やご意見等を伺い、各種政策の立案等に反映させることを目的としています。

◇ 回答に当たってのお願い

この調査には、宛名のご本人がお答えください。

※ご本人が何らかの事情により回答できない場合、代理の方の回答や連絡は不要ですので、封筒及び調査票は破棄していただいて構いません。

どちらかを選び ご回答ください。

インターネットで回答

回答手順

①「秋田県 電子申請・届出サービス」にアクセス

https://ttzk.graffer.jp/pref-akita/smart-apply/surveys-alias/kenmin-ishiki-r7

こちらから▶

②電子回答ＩＤ(※)を入力し、回答

③送信 **６月２日（月）まで**

(※)電子回答ＩＤは同封の「県民意識調査へのご協力のお願い」に記載しています。

紙の調査票で回答

回答手順

①本紙の次ページから回答

②三つ折りにして同封の返信用封筒（切手不要）に入れる

③ポストに投函 **６月２日（月）まで**

・返信用封筒の宛先は、秋田県が調査を委託した「株式会社フィデア情報総研」となっています。

◇ 調査票の取扱い

調査結果は全て統計的に処理しますので、回答内容について個人が特定されることはありません。電子回答IDは、重複回答を防止するために付しているものであり、回答者個人を特定する趣旨のものではありません。

【問い合わせ先】
秋田県企画振興部 総合政策課 計画・評価チーム
電 話:018(860)1217
メール:seisaku@pref.akita.lg.jp

問１　県では、『～大変革の時代～ 新秋田元気創造プラン』に基づき、様々な取組を進めていますが、次の項目について、あなたはどの程度満足していますか。

ご自身の実感に近いものを「5」（十分）～「１」（不十分）の5段階から選んでお答えください。「わからない」場合は「N」を選んでください。

また、よろしければ、選んだ理由についてお聞かせください。

回答例	生産性が向上するなど、県内産業の競争力の強化が図られている。	5	4	③	2	１	N

[理由]（任意）

（ ●●は～～となっているが、△△と感じており、■■と思うから。 ）

以下、回答の記入をお願いします。

あなたの満足度（１つ選び番号に○をしてください）

産業・雇用戦略に関する項目（参考資料P１参照）		十分	おおむね十分	ふつう	やや不十分	不十分	わからない
１	生産性が向上するなど、県内産業の競争力の強化が図られている。	5	4	3	2	１	N

[理由]（任意）

（ ）

2	輸送機、新エネルギー、情報、医療福祉機器分野等の成長産業への参入が進んでいる。	5	4	3	2	１	N

[理由]（任意）

（ ）

3	地域経済・社会を支える地域産業の活性化が図られている。	5	4	3	2	１	N

[理由]（任意）

（ ）

4	企業の進出に向けた立地環境が整備され、企業誘致が進んでいる。	5	4	3	2	１	N

[理由]（任意）

（ ）

あなたの満足度（1つ選び番号に○をしてください）

農林水産戦略に関する項目 （参考資料P2参照）		十分	おおむね十分	ふつう	やや不十分	不十分	わからない
5	経営力の高い担い手等が活躍するなど、我が国の食料供給に貢献している。	5	4	3	2	1	N

[理由]（任意）

（　　）

6	「伐って・使って・植える」という森林資源の循環利用が進み、林業・木材産業が発展している。	5	4	3	2	1	N

[理由]（任意）

（　　）

7	蓄養殖や水産物のオンライン販売など、水産業での新たな取組が進んでいる。	5	4	3	2	1	N

[理由]（任意）

（　　）

8	農家民宿や農家レストランなど地域資源を生かした多様な農村ビジネスが増え、農山漁村が活性化している。	5	4	3	2	1	N

[理由]（任意）

（　　）

皆様のお考えをお聞かせください。
ご協力よろしくお願いします！

©2015 秋田県んだッチ

あなたの満足度（1つ選び番号に○をしてください）

観光・交流戦略に関する項目 （参考資料P3参照）		十分	おおむね十分	ふつう	やや不十分	不十分	わからない
9	秋田の魅力が向上し、国内外から観光誘客が進んでいる。	5	4	3	2	1	N

[理由]（任意）

（　　）

10	食品産業が発展し、日本酒や発酵食品など、秋田の食品が盛んに流通している。	5	4	3	2	1	N

[理由]（任意）

（　　）

11	国内外に秋田の文化芸術の魅力が伝えられている。	5	4	3	2	1	N

[理由]（任意）

（　　）

12	スポーツを通じて地域に活力とにぎわいがもたらされている。	5	4	3	2	1	N

[理由]（任意）

（　　）

13	国内外との交流を支える高速広域交通や、日々の暮らしを支える地域交通の整備が進んでいる。	5	4	3	2	1	N

[理由]（任意）

（　　）

あなたの満足度（1つ選び番号に○をしてください）

未来創造・地域社会戦略に関する項目 （参考資料P4参照）		十分	おおむね十分	ふつう	やや不十分	不十分	わからない
14	秋田への移住者が増加するほか、若者の県内定着・回帰が進んでいる。	5	4	3	2	1	N

[理由]（任意）

（　　）

15	結婚・出産・子育ての希望がかなう環境づくりが進んでいる。	5	4	3	2	1	N

[理由]（任意）

（　　）

16	女性や若者が、個性や能力を発揮して活躍できる環境づくりが進んでいる。	5	4	3	2	1	N

[理由]（任意）

（　　）

17	多様な主体による協働等を通じて、安心して生活できる地域社会づくりが行われている。	5	4	3	2	1	N

[理由]（任意）

（　　）

18	地域住民、事業者、行政等が連携して、地球温暖化対策に取り組んでいる。	5	4	3	2	1	N

[理由]（任意）

（　　）

19	デジタル化の推進等により充実した行政サービスが提供されている。	5	4	3	2	1	N

[理由]（任意）

（　　）

あなたの満足度（1つ選び番号に○をしてください）

健康・医療・福祉戦略に関する項目 （参考資料P5参照）		十分	おおむね十分	ふつう	やや不十分	不十分	わからない
20	県民の健康づくりに取り組む意識が高まり、元気に生活している。	5	4	3	2	1	N

[理由]（任意）

（　　）

21	どこに住んでいても、必要な医療を受けられる体制が整っている。	5	4	3	2	1	N

[理由]（任意）

（　　）

22	高齢者や障害のある方が、必要なサービスや支援を受けながら、住み慣れた地域で安心して生活している。	5	4	3	2	1	N

[理由]（任意）

（　　）

23	相談体制や支援の充実により、地域や社会から孤立することなく、安心して生活できる社会づくりが進んでいる。	5	4	3	2	1	N

[理由]（任意）

（　　）

質問が続くよ！

©2015 秋田県んだッチ

あなたの満足度（1つ選び番号に○をしてください）

教育・人づくり戦略に関する項目 （参考資料P6参照）		十分	おおむね十分	ふつう	やや不十分	不十分	わからない
24	学校教育を通じて、ふるさとを愛し、社会で活躍しようとする心が育まれている。	5	4	3	2	1	N

[理由]（任意）

（　　）

25	学校教育を通じて、ICTを効果的に活用しながら、自ら考え、判断し、表現する力が育まれている。	5	4	3	2	1	N

[理由]（任意）

（　　）

26	学校教育を通じて、外国文化を理解しようとする態度や、英語でコミュニケーションができる能力が育まれている。	5	4	3	2	1	N

[理由]（任意）

（　　）

27	学校教育を通じて、他人への思いやりなどの豊かな心や健やかな体が育まれている。	5	4	3	2	1	N

[理由]（任意）

（　　）

28	県内の大学等で、地域の活性化につながる教育・研究・地域貢献が行われている。	5	4	3	2	1	N

[理由]（任意）

（　　）

29	県民がライフステージや生活スタイルに応じて学び、文化芸術に触れる機会が提供されている。	5	4	3	2	1	N

[理由]（任意）

（　　）

問2　県では、人口減少問題を克服し、多くの人を惹きつける秋田の実現に向け取り組んでいますが、次の項目について、あなたはどの程度満足していますか。

ご自身の実感に近いものを「5」（十分）～「1」（不十分）の5段階から選んでお答えください。「わからない」場合は「N」を選んでください。

あなたの満足度（1つ選び番号に○をしてください）

		十分	おおむね十分	ふつう	やや不十分	不十分	わからない
1	県内の「賃金水準の向上」に向けた取組が進んでいる。	5	4	3	2	1	N
2	「カーボンニュートラル（※）」の実現に向けた取組が進んでいる。 ※二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出を減らし、「排出量」から、森林などによる「吸収量」を差し引いて、合計を実質的にゼロにすること。	5	4	3	2	1	N
3	県民生活の様々な場面において、「デジタル化」に向けた取組が進んでいる。	5	4	3	2	1	N
4	「若者・女性の県内定着・回帰」に向けた取組が進んでいる。	5	4	3	2	1	N
5	「働く場の確保」や「労働環境の整備」など、魅力的な職場づくりが行われている。	5	4	3	2	1	N

問3 次の質問について、**当てはまる選択肢の番号に○**をつけてください。

県の広報活動について

① あなたは、県の施策・事業等を何から知ることが多いですか（○はいくつでも）。

1　県が発行する広報紙（全戸配布広報紙・新聞広告等）
2　県のウェブサイト（「美の国あきたネット」等」）
3　県政広報番組（テレビ、ラジオ）
4　新聞記事やテレビ、ラジオ等のニュース番組
5　ソーシャルメディア（X（旧ツイッター）、フェイスブック、LINE、YouTube、ブログ　等）
6　その他（　　）

② あなたは、広報紙やウェブサイト、テレビ、ラジオ、ソーシャルメディア等による広報活動は十分に行われていると思いますか（○は1つ）。

1　十分行われている　　2　ある程度行われている
3　あまり行われていない　　4　行われていない
5　どちらともいえない

家庭での防災活動について

① あなたの家庭では、災害時の備えとして、水・食料等の備蓄（※）（家族人数×3日分）をしていますか（○は1つ）。

※備蓄には、普段から家庭で使うために購入・保管している冷蔵庫内の食料品等や、災害時にも活用できるペットボトル飲料水やカップラーメン、缶詰なども含みます。

1　3日分以上の備蓄をしている　　2　備蓄はしているが、2日分以下である
3　備蓄はしていない

② あなたは、災害に備えて日頃どのような防災活動を行っていますか（○はいくつでも）。

1　地域の防災訓練への参加　　2　災害ハザードマップなどによる危険箇所の把握
3　最寄りの緊急避難場所等の確認　　4　緊急避難場所等への避難経路の確認
5　災害時の家族への連絡方法の取り決め　　6　非常時持ち出し品の用意
7　家具等の固定　　8　その他（　　）
9　必要だと思うが取り組んでいない　　10　必要だと思わないため取り組んでいない

差別等について

① あなたは、ご自身や身の回りで差別等を感じることがありますか（○は1つ）。

1　よく感じることがある	2　たまに感じることがある
3　あまり感じることがない	4　まったく感じることがない

② ①で「1」～「3」を選んだ方にお聞きします。どのような差別等を感じることがありますか（○はいくつでも）。

1　性別を理由とするもの	2　障害を理由とするもの
3　感染症の患者及び医療・介護従事者等に対するもの	4　がん等の疾病を理由とするもの
5　性的指向、性自認等を理由とするもの	6　外国人に対するもの
7　年齢を理由とするもの	8　犯罪被害者等に対するもの
9　犯罪をした人等に対するもの	10　ハラスメント
11　いじめ	12　その他（　　）

男女共同参画について

①「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはこれについてどう思いますか（○は1つ）。

1　賛成	2　どちらかといえば賛成
3　どちらかといえば反対	4　反対
5　わからない	

©2015 秋田県んだッチ

文化芸術の鑑賞・活動について

① あなたは、ここ１年間に文化施設等に出向いて直接鑑賞した文化芸術はありますか（○はいくつでも）。

１　音楽（コンサート、吹奏楽、歌謡・民謡等）	２　美術（絵画、写真、彫刻、現代アート等）
３　演劇、舞踊（ミュージカル、日本舞踊等）	４　伝統芸能、民俗芸能（歌舞伎、盆踊り、番楽等）
５　映画（映画館等で上映）	６　その他（　　）
７　鑑賞していない	

② あなたは、ここ１年間に芸術作品の創作、文化イベントへの出演・参加、文化事業でのボランティア活動などを行いましたか（○はいくつでも）。

１　芸術作品の創作・制作・実演	２　習いごと（音楽、舞踊、茶道等）
３　地域の祭りや伝統行事への参加	４　文化芸術イベント等の開催・運営のための活動
５　その他（　　）	６　活動していない

読書活動について

① あなたは読書（※）が好きですか（○は１つ）。

※読書には、新聞及び雑誌（電子媒体の記事（注１）を含む。）のほか、子どもへの読み聞かせ、オーディオブック（注2）も含みます。

（注１）電子媒体の記事とは、新聞社や出版社等がインターネット上に掲載しているニュースや雑誌記事等のことです。

（注2）オーディオブックとは、書籍を朗読したものを録音したCDやカセット、インターネット上で提供されている音声コンテンツのことです。

１　好きだ	２　どちらかといえば好きだ
３　どちらかといえば好きではない	４　好きではない

② あなたは１日平均（※）どれくらい読書をしていますか（○は１つ）。

※子どもへの読み聞かせ時間も含みます。

※休日まとめ読みの場合は、１日平均に置き換えてください。

１　2時間以上	２　１～2時間
３　30分～１時間	４　30分未満
５　全く読まない	

環境保全活動について

① あなたは、これまで環境保全活動に参加したことがありますか（○はいくつでも）。

1　環境美化・清掃活動への参加（例：市民クリーンアップなど）
2　自然保護活動への参加（例：ホタルの保護活動など）
3　森林保全活動への参加（例：市民植樹など）
4　リサイクル活動への参加（例：古紙・空き缶回収など）
5　環境をテーマとした講演会等への参加（例：地球温暖化防止フォーラムなど）
6　その他（　　）
7　参加したことがない

社会活動・地域活動について

① あなたが、ここ1年間に仕事以外の何らかの「社会活動・地域活動」（※）に取り組んだ頻度で、もっとも当てはまるものはどれですか（○は1つ）。

※「社会活動・地域活動」の具体例
地域の公園の花壇の手入れ、町内一斉清掃への参加、河川のごみ拾い、子育て支援、子ども会活動、まちづくりフェスティバル、祭り・伝統芸能の担い手、高齢者宅の除雪の手伝い　等

1　週5日以上	2　週1日程度
3　月1日程度	4　年1日程度
5　特定の期間（夏の間2週間など）	
6　その他（具体的に　　）	
7　取り組んだことがない	

高齢者の社会参加について

① 60歳以上の方にお聞きします。あなたは、令和6年度に仕事や社会活動等（趣味や健康づくり、生涯学習を含む。）を行いましたか（どちらかに○）。

1　行った	2　行っていない

©2015 秋田県んだッチ

問4　今後の県政を推進していく上で、あなたが重要課題として県に力を入れてほしいことは何ですか。**下から5つまで選択して番号を記入**してください。

◆産業の振興

1 経営規模拡大や賃上げの取組への支援
2 県内企業のデジタル技術の活用促進
3 地域経済をけん引する企業の創出・育成
4 柔軟な働き方の導入や学び直しの支援による人材確保・育成
5 輸送機・新エネルギー・情報・医療分野等の成長分野への参入促進
6 地域に根付く産業の振興
7 企業誘致などの企業立地等の促進

◆農林水産業の振興

8 農林水産業の多様な担い手の確保
9 スマート農業や環境保全型農業の普及と水田の大区画化の推進
10 野菜や果樹、花き、畜産物等の生産拡大
11 サキホコレのブランド確立をはじめとした戦略的な米生産
12 農産物のブランド化と流通・販売体制の整備
13 再造林の促進と林業・木材産業の振興
14 安定的な漁業生産による水産業の発展
15 農山漁村での交流活動による活力向上

◆観光・文化・スポーツの振興

16 国内外からの観光誘客の強化
17 オリジナル商品の開発や販路拡大による食品産業の振興
18 文化芸術の担い手の確保と文化による振興
19 スポーツの振興による地域の活力向上
20 鉄道や航空・地域交通などの整備
21 道路ネットワークの整備

◆若者の定着や地域の活力維持

22 若者の移住促進や関係人口の拡大
23 高校生や大学生の県内就職の促進
24 結婚、出産、子育てのしやすい環境の整備
25 女性の活躍推進や男女共同参画の推進
26 若者のチャレンジへの支援
27 多様性が認められ、安心して生活できる地域コミュニティの維持
28 温暖化防止活動やリサイクル等の推進
29 充実した行政サービスを提供できる効率的な行政運営

◆健康づくりや医療・福祉の充実

30 健康寿命の延伸に向けた取組の推進
31 医療提供体制の整備
32 介護・福祉サービスの充実
33 自殺予防対策の推進
34 貧困や虐待等、複雑な事情を抱える子どもへの支援
35 引きこもり状態にある人への支援

◆教育・人づくり

36 ふるさと教育やキャリア教育の充実
37 デジタル社会等に対応した専門教育の充実
38 学力向上に向けた取組の充実
39 教員の指導力や学校施設など教育環境の整備
40 英語教育と国際教育の充実
41 健やかな体や豊かな人間性を育む教育の充実
42 大学等の地域貢献活動の強化
43 生涯学習機会や良質な文化芸術に親しむ機会の充実

◆安全・安心な生活環境の確保

44 災害リスクに対する防災・減災対策の推進
45 地域防災活動の充実
46 犯罪や交通事故の少ない地域づくり
47 食品や水道などの安全・安心の確保
48 動物愛護活動の推進
49 快適で安らげる生活基盤の整備
50 自然環境保全対策の推進

問5　県に力を入れてほしいことや、県が取り組むべきだと思うことについて、何でもお気軽にお聞かせください。

©2015 秋田県んだッチ

問6 あなたご自身について、お伺いします。

回答を統計的に分析するために、あなたご自身のことについてお聞かせください。
（当てはまる選択肢の**番号1つに○**をつけてください。）

① 性別

1 男性　　2 女性　　3 その他（どちらともいえない・わからない・答えたくない）

② 年齢

1 18～19 歳　　2 20～29 歳　　3 30～39 歳　　4 40～49 歳
5 50～59 歳　　6 60～69 歳　　7 70 歳以上

③ 18歳未満の子どもの有無

1 現在 18 歳未満の子どもを養育している　　2 していない

④ ご出身

1 秋田県の出身　　2 秋田県以外の出身

⑤ お住まいの地域

1 鹿角地域（鹿角市、小坂町）
2 北秋田地域（大館市、北秋田市、上小阿仁村）
3 山本地域（能代市、藤里町、三種町、八峰町）
4 秋田地域（秋田市、男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村）
5 由利地域（由利本荘市、にかほ市）　　6 仙北地域（大仙市、仙北市、美郷町）
7 平鹿地域（横手市）　　8 雄勝地域（湯沢市、羽後町、東成瀬村）

⑥ 主なお仕事の業種（主とする業種1つに○）

1 農業　2 林業　3 漁業　4 建設業　5 製造業　6 情報通信業　7 運輸業・郵便業
8 卸売業・小売業(観光関連)　　9 卸売業・小売業(観光関連以外)
10 宿泊業　　11 飲食サービス業　　12 学術研究・学校教育・学習支援
13 医療・保健　14 福祉　　15 公務（1～14 以外）　　16 その他の業種
17 学生　　18 無職

これで調査は終わりです。ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

この線で三つ折りにしてください。

この線で三つ折りにしてください。

ご協力ありがとうございました。
この調査票を三つ折りにし、
同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、
6月2日（月）までに投函してください。

©2015 秋田県んだッチ

秋田県

令和７年度　県民意識調査

〈参考資料〉

©2015 秋田県んだッチ

調査票と合わせてご覧ください。

産業の振興に関する取組の状況

産業構造の変化に対応した県内産業の競争力の強化（問Ⅰ－1）

・新分野進出、規模拡大による生産性及び賃金水準の向上や事業継続を図るため、中小企業のM&Aや事業承継などを促進

・DX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進に向けて、IoTやAI等のデジタル技術の普及啓発を行うとともに、その導入を促進

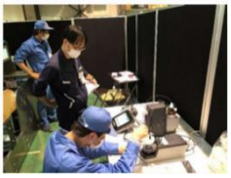
・地域経済を牽引するリーディングカンパニー創出に向けて企業の取組を支援

・企業の海外展開に向けた活動経費を支援

・県技術専門校などにおける職業訓練の実施などにより、在職者の学び直しを支援

◎M&A成約企業数
24 件（R2） ⇒ 53件（R5）

◎技術専門校における在職者訓練の受講者数
489 人（R2）
⇒ 643人（R5）


産業技術センターにおける研究開発支援

地域資源を生かした成長産業の発展（問Ⅰ－2）

・輸送機産業の電動化に対応するため、人材育成や研究開発、設備導入等を支援

・本県の多様で豊富な再生可能エネルギーのポテンシャルを生かし、新エネルギー関連産業への県内企業の参入等を促進

・県内情報関連産業を牽引する企業の創出に向け、県内ICT企業の成長戦略に基づく取組を支援

・医療機関のニーズに沿った新製品の開発や医療福祉関連産業への県内企業の参入を促進

◎輸送用機械器具製造業の製造品出荷額
1,212 億円（R2） ⇒ 1,644億円（R5）

◎風力発電設備の導入量（累積）
648,549kW（R2） ⇒ 895,489kW（R6）

能代港洋上風力発電所（能代市）

歴史と風土に培われた地域産業の活性化（問Ⅰ－3）

・伝統的工芸品の販路開拓、新商品開発、原材料の確保等の取組を支援

・商業・サービス業者等の業態転換、新分野進出、新商品・新サービスの開発等の取組を支援

・建設産業の持続的な発展に向け、人材確保や業界全体のイメージアップなど総合的な支援を実施

・リサイクル施設の整備や研究開発支援等により、リサイクル産業の創出・育成を促進

◎商業事業者の販売額
3,453 億円（R2）
⇒ 3,629億円（R5）

◎ICT活用工事の実施件数
28 件（R2） ⇒ 44件（R5）

秋田県中小企業応援キャラクター「がんばっけさん」

産業振興を支える投資の拡大（問Ⅰ－4）

・積極的な誘致活動等により、成長産業の企業や若者定着の受け皿として期待される企業を誘致

・洋上風力発電の拠点の形成に向けたふ頭用地等の整備を推進

◎企業の誘致件数及び誘致済企業等による施設・設備の拡充件数
25 件（R2） ⇒ 25 件（R6）

◎洋上風力発電における港湾の利用件数（累積）
2 件（R2） ⇒ 4件（R5）

大手製材会社進出の能代工業団地

農林水産業の振興に関する取組の状況

農業の食料供給力の強化（問1−5）

・農業経営の法人化や生産規模の拡大を目指す意欲的な経営体を育成

・県外からの移住者や新規学卒者・Uターン者など、多様なルートと幅広い年代からの新規就業者を確保・育成

◎農業法人数(認定農業者)
788 法人（R2） ⇒ 884法人（R5）

◎新規就農者数 252 人（R2） ⇒ 275人（R5）

・スマート農業の普及拡大による生産の効率化や、持続性が高い環境保全型農業、災害に強い産地づくりの取組拡大を推進

・水田の大区画化や排水対策を図るほ場整備を実施

◎環境保全型農業の取組面積
4,204ha（R2） ⇒ 4,740ha（R6）

◎ほ場整備面積（累積）
90,981ha（R2） ⇒ 93,052ha（R5）

・ 園芸メガ団地や大規模な畜産団地を整備

・「えだまめ」や「しいたけ」など、全国トップクラスとなる園芸品目の産地づくりを支援

・「秋田牛」や「比内地鶏」のブランド力強化に向けた取組を推進

◎メガ団地等大規模園芸拠点の整備数（累積）
41 地区（R2） ⇒ 56地区（R6）

◎秋田牛の出荷頭数
2,844 頭（R2） ⇒ 3,111 頭（R5）

・「サキホコレ」のブランド確立をはじめとした秋田米の戦略的な生産・販売の推進

◎サキホコレの作付面積
80ha（R3） ⇒ 1,625ha（R6）

・国内外に通用するトップブランド農産物の創出

・台湾・タイへの秋田牛やリンゴの輸出を促進

・6次産業化による県産農産物の付加価値の向上

◎農産物の輸出額
2.9 億円（R2） ⇒ 5.1 億円（R5）

ほ場整備による
水田の大区画化

台湾トップセールス

林業・木材産業の成長産業化（問1−6）

・資源の循環利用を図るため、低コスト再造林を推進

・ICT を活用したスマート林業の普及などにより、低コストな素材供給体制づくりを促進

・住宅や非住宅建築物への県産材利用と輸出の促進

◎再造林面積
332ha（R2）
⇒ 610ha（R5）

◎素材生産量（燃料用含む）
1,425 千㎥（R2）
⇒ 1,443 千㎥（R5）

植栽作業

水産業の持続的な発展（問1−7）

・漁業体験や技術習得研修の実施による新規就業者の確保・育成

・トラフグ等の種苗放流やサーモン等の蓄養殖の取組を推進

・加工品の開発や漁師直売・オンライン販売の取組を支援

◎新規漁業就業者数（60歳未満）
10 人（R2） ⇒ 12人（R5）

◎蓄養殖等に取り組む漁業経営体数（累積）
17 経営体（R2）
⇒ 64経営体（R5）

漁業体験研修

農山漁村の活性化（問1−8）

・農家民宿・レストランの起業や、そばなどの地域資源を生かした多様な農村ビジネス創出の取組を促進

・農山漁村での都市住民との交流活動や新たな兼業スタイル「半農半X」の取組を促進

・農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、草刈りや景観作物の植栽など地域住民による共同活動を支援

◎農村関係人口
6,518 人（R2）
⇒ 11,968 人（R5）

◎農地保全活動面積
101,908ha（R2）
⇒ 103,273ha（R5）

そば打ち体験交流

観光・文化・スポーツの振興に関する取組の状況

「何度でも訪れたくなるあきた」の創出（問1−9）

・デジタルプロモーションや冬季観光キャンペーン、秋田の冬の観光の魅力発信により、県外からの誘客を拡大

・台湾からの秋田空港直行便の運航継続のほか、タイや欧州など誘客が期待できる国・地域への情報発信により、海外からの誘客を推進

・宿泊施設におけるデジタル技術の導入や高付加価値化など観光産業の生産性向上を促進

◎観光地点等入込客数（延べ人数）
1,836 万人（R2）
⇒ 2,835 万4千人(R5)

秋田県公式観光サイト アキタファン AKITA FUN
秋田県公式観光サイト
(https://akita-fun.jp/)

「美酒・美食のあきた」の創造（問1−10）

・日本酒や発酵食品等の更なる高品質化とブランド力の強化を促進

・食品事業者への支援により競争力を強化

・商談会等の実施により、国内外への販路を拡大

◎加工食品・日本酒の輸出金額
6 億 6,800 万円（R2）
⇒ 9億 6,000 万円（R5）

商談会への出展（千葉）

活気あふれる「スポーツ立県あきた」の実現（問1−12）

・ジュニア層の強化を競技力向上の柱に据えた一貫指導体制を確立

・トップスポーツチームなどのスポーツコンテンツを活用した情報発信等によるスポーツツーリズムの推進

・スポーツ合宿やトップスポーツ大会の開催支援により交流人口を拡大

・新県立体育館の整備・運営を行う事業者を選定し、事業に着手

◎成人の週1回以上のスポーツ実施率
58.5%（R2）
⇒ 47.5%（R5）

新県立体育館（イメージ）

芸術の力による魅力ある地域の創生（問1−11）

・あきた芸術劇場ミルハスにおいて質の高い文化芸術の鑑賞機会を提供し、地域のにぎわいを創出

・「青少年音楽コンクール」や「あきたの文芸」など県民の発表機会の提供と、優れた文化活動や作品等に対する顕彰により文化芸術活動を推進

・次代を担う人材の育成と文化団体の活動支援

・秋田ならではの文化の魅力発信や民俗芸能イベントの実施、東北の祭りをモチーフとしたミュージカルの公演等により、交流人口を拡大

◎文化事業への来場者数
5 万 4,435 人（R2） ⇒ 52万3,376人（R5）

ミルハス県出身音楽家等コンサート

国内外との交流と住民の暮らしを支える交通ネットワークの構築（問1−13）

・日本海沿岸東北自動車道「遊佐象潟道路」、「ニツ井今泉道路」及び東北中央自動車道「横堀道路」、「真室川雄勝道路」の整備を促進

・重要港湾秋田港と秋田自動車道秋田北 IC を結ぶ「秋田港アクセス道路」の事業を推進

◎県内高速道路の供用率
92%（R2） ⇒ 92%（R5）

・羽田発着枠政策コンテストによる大館能代～東京羽田線の3往復運航を継続中

・秋田新幹線新仙岩トンネルについて、国への積極的な要望活動等を実施し、実現に向けた取組を推進

・市町村と連携し、JRローカル線や三セク鉄道、乗合バスの持続的な運行を確保

◎秋田県と県外間の旅客輸送人員数（自動車を除く）
136 万 8 千人（R2）
⇒ 401万9千人（R5）

国内定期便（大館能代空港）

若者の定着や地域の活力維持に関する取組の状況

新たな人の流れの創出（問1－14）

・高校生向けの県内企業の職場見学や企業ガイダンス、大学生等向けの合同企業説明会などの開催、学生と県内社会人が秋田で働き・暮らすこと等を語り合う交流会の開催

・高校生や県内外の大学生・保護者等に対する、県内企業や秋田暮らしの魅力の発信

・東京駅近くに総合相談窓口「アキタコアベース」を設置し、本県への移住や就職に関するきめ細やかな相談対応を実施

・県内就職者に対する奨学金返還助成や移住世帯に対する助成の実施

◎移住者数（県関与分）
576人（R2）
⇒ 834人（R5）

移住・定住総合ポータルサイト
（https://www.a-iju.jp）

結婚・出産・子育ての希望がかなう社会の実現（問1－15）

・あきた結婚支援センターの運営支援を通じて結婚を希望する独身者をサポート

・市町村が地域の実情やニーズに応じて行う子ども・子育て支援事業に対して支援

・保育料や副食費への助成など、子育て世帯への経済的支援

・家族参加型イベントを開催し、男性の家事・育児参画を促進

◎婚姻件数
2,686 組（R2） ⇒ 2,351 組（R5）

◎出生数
4,499 人（R2） ⇒ 3,611人（R5）

女性・若者が活躍できる社会の実現（問1－16）

・女性自身の意識改革と、企業経営者の理解促進のための啓発や、女性の地域活動への参画拡大に向けた気運の醸成

・「あきた女性活躍・両立支援センター」による普及啓発や相談対応、一般事業主行動計画策定等の指導・助言、アドバイザー派遣等の企業支援

◎民間事業所の女性管理職割合（課長相当職以上）
19.5%(R2) ⇒ 22.2%（R5）

◎民間事業所における男性の育児休業取得率
10.7%（R2） ⇒ 32.6%（R5）

変革する時代に対応した地域社会の構築（問1－17）

・集落機能を維持するため、複数の集落からなる新たな生活圏や活動主体となる地域運営組織の形成を支援

・地域課題の解決に向けた多様な主体との連携・協働を推進

◎社会活動・地域活動に参加した人の割合
57.3%（R2）
⇒ 62.4%（R5）

地域の将来についての検討会

脱炭素の実現を目指す地域社会の形成（問1－18）

・県や10市町村におけるカーボンニュートラル宣言のほか、省エネ家電購入支援、事業者省エネ診断、脱炭素経営セミナーなど、温暖化対策を推進

・エコフェス、学生による脱炭素社会を実現するアイデアコンテストを開催

・飲食店で食べきれなかった食品の持ち帰り事業の実施

・プラスチックごみや食品廃棄物に係る市町村及び事業者による資源循環の取組を支援

◎温室効果ガス排出抑制計画書の目標達成事業者の割合
79.3%（R2） ⇒ 84.0%（R5）

◎廃棄物の最終処分量（公共関与分）
94 千t（R2） ⇒ 91千t（R5）

行政サービスの向上（問1－19）

・県民の利便性向上のため、電子申請・届出サービス等を用いた行政手続のオンライン化を推進

・県民や企業等が二次利用しやすい形式（エクセル等）によるデータ公開を進めるため、オープンデータカタログサイトを充実

◎行政手続の電子化率
59.6%（R3） ⇒ 78.1%（R5）

◎オープンデータ化した県有データ数
87 件（R2） ⇒ 223件（R5）

健康づくりや医療・福祉の充実に関する取組の状況

健康寿命日本一の実現（問1−20）

・市町村や民間団体、保健医療団体、報道機関など、多様な主体と連携した健康づくり県民運動を推進

・「秋田スタイル健康な食事」メニュー認証制度の普及啓発などにより、「減塩」や「野菜・果物摂取」を推進

・アプリを活用した、職場や家族等で参加が可能なチーム対抗型ウォーキングイベントの開催により、運動習慣の定着化を促進

・秋田県版健康経営優良法人認定制度の普及による県内企業における健康経営の促進

・子どもたちに健康づくりについて考えてもらう子ども健康会議の開催等により、子どものときからの健康的な生活習慣に向けた取組を推進

◎健康寿命
男性 71.21 年、女性 74.53 年（H28）
⇒ 男性 72.43 年、女性 75.67 年（R4）

子ども健康会議における子どもたちの
健康づくりに関するアイデア発表

あきた健康応援大使とあきた健康チャレンジ大使による
健康づくりに関する情報発信

高齢者と障害者の暮らしを支える体制の強化（問1−22）

・介護職員の処遇改善や人材育成等に積極的な事業所を県が認証する「介護サービス事業所認証評価制度」の普及を推進

・介護業務の改善に関する相談対応や専門家による伴走型支援、介護テクノロジーの導入支援等により、介護サービス事業所の業務効率化を促進

・支援者研修会、県民公開講座の実施、民間支援団体等との意見交換会を通じたひきこもり当事者の身近な地域における相談支援体制の整備を促進

◎介護施設等の介護職員数
23,283 人（R2） ⇒ 22,672人（R5）

安心で質の高い医療の提供（問1−21）

・がん診療連携拠点病院等を中心とした、がん診療提供体制を強化

・脳卒中等の急性疾患発生時に、専門医が不在の地域でも迅速で正確な診断が受けられるよう、病院間の急性期診療ネットワーク整備を支援

・各地域における在宅医療の提供体制を整備

・訪問看護ステーションによる安定的な看護サービスの提供を支援

◎脳血管疾患による人口 10 万人当たり年齢調整死亡率
34.7（R2） ⇒ 32.9（R5）

◎がんによる人口 10 万人当たり 75 歳未満年齢調整死亡率
76.8（R2） ⇒ 73.4（R5）

誰もが安全・安心を実感できる地域共生社会の実現（問1−23）

・民・学・官・報の連携による自殺予防街頭キャンペーン等の普及啓発活動を推進

・学校でのSOSの出し方講座、教職員のSOSの受け方研修会などを実施

・若者を中心に多くの県民が利用しているSNSによる相談体制の強化

◎自殺による人口 10 万人当たり死亡率
18.0（R2） ⇒ 19.4（R5）

・子どもの貧困対策に取り組む支援者のネットワークを強化し、子ども食堂等の立ち上げを支援

・児童相談所の体制強化に継続的に取り組むほか、毎年11月の児童虐待防止推進月間に合わせた街頭キャンペーンを実施

・里親制度の普及啓発から、里親の育成、養育開始後のサポートまでを包括的に支援する体制を整備し、里親委託を促進

◎里親委託率
17.6%（R2）
⇒ 25.4%（R5）

秋田県里親PRキャラクター

教育・人づくりに関する取組の状況

秋田の将来を支える高い志にあふれる人材の育成（問1−24）

・ふるさとを学びのフィールドとした勤労観・職業観を育む活動や地域の活性化に貢献する活動を推進

・県立高校などに職場定着就職支援員を配置し、就職支援、県内就職の促進、職場への定着支援などの取組を実施

◎高校生の県内就職率
72.5%（R2）
⇒ 73.5%（R6）

産業教育フェアでの販売体験

確かな学力の育成（問1−25）

・主体的に問題発見・解決する「探究型授業」の充実を図るため、学校訪問等により授業改善を推進

・少人数学習によるきめ細かな教育や社会人等外部人材の活用による専門性の高い教育を展開

・学校と地域の協働活動を推進する人材の育成や、地域と連携した安全教育活動を展開

・ICT活用による質の高い学びの推進及び教職員のICT活用指導力向上を図るための研修を実施

◎学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる児童生徒の割合（小6・中3）
86.5%（R3） ⇒ 86.5%（R6）

グローバル社会で活躍できる人材の育成（問1−26）

・英語コミュニケーション能力の育成に向け、外国語指導助手（ALT）や外部試験を活用

・小学校3年生から高校3年生までを対象に県内各地でイングリッシュキャンプを開催

◎英検3級相当以上の英語力を有する中学3年生の割合
39.1%（R1） ⇒ 44.9%（R5）

イングリッシュキャンプ

豊かな心と健やかな体の育成（問1−27）

・スクールカウンセラー等の専門家の配置により教育相談体制を充実

・地域人材を活用し、授業の充実を図るとともに部活動を支援

◎自分にはよいところがあると思っている児童生徒の割合（小6・中3）
86.0%（R1）
⇒ 86.7%（R6）

◎運動やスポーツをすることが好きな児童生徒の割合（小5・中2）
61.5%（R3）
⇒ 63.4%(R6)

地域人材を活用した体育授業

地域社会の活性化と産業振興に資する高等教育機関の機能の強化（問1−28）

・各大学等の多様な資源を活用し、地域社会や産業の課題解決に向けた取組を推進

・高校教育と大学教育の連携など学生の確保に向けた多様な取組を推進

◎県内高等教育機関による県内企業等との共同研究・受託研究・受託事業数
144件（R2） ⇒ 155件（R5）

◎県内高卒者の県内大学・短大・専修学校等への進学率
33.7%（R2） ⇒ 31.8%（R5）

生涯にわたり学び続けられる環境の構築（問1−29）

・県民の生涯学習に取り組む機会の確保や読書活動の充実に向けた支援

・本県の優れた文化芸術を発信し、鑑賞・創作体験等の機会を提供

・地域の歴史・文化を生かしたまちづくりに向け、文化財の総合的な保存・活用の方針などを示した「秋田県文化財保存活用大綱」を策定

◎県立美術館・近代美術館・県立博物館・農業科学館の利用者
169,596人（R2）
⇒ 262,755人（R5）

中高生を対象とした読書イベント

令和７年度　県民意識調査報告書

令和７年８月

発　　行　秋田県　企画振興部　総合政策課
〒010-8570　秋田県秋田市山王四丁目１番１号
TEL 018-860-1217　FAX 018-860-3873

調査機関　株式会社フィデア情報総研
〒010-0951　秋田県秋田市山王三丁目４番23号
TEL 018-883-0200　FAX 018-883-0209